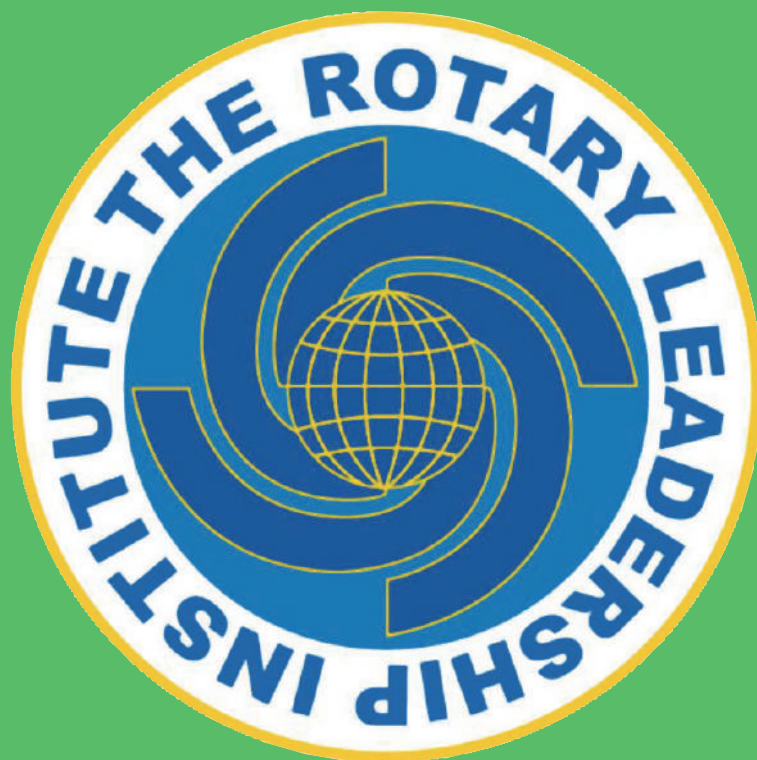


ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute(RLI)

RLI 参加者テキスト



RLI
2023~25

RLI 日本支部

カリキュラム委員会

ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute (RLI)

RLI 参加者テキスト

目 次

日本語版テキスト発刊にあたり R L I 日本支部委員長	北 清治	4
日本版カリキュラムについて R L I 日本支部カリキュラムチームリーダー	刀根 荘兵衛	5
6つのカリキュラム・フレーム		6
R L I カリキュラムの内容		
パート I		7
1. ロータリーにおけるリーダーシップ		10
2. 私のロータリー世界		12
3. 倫理と職業奉仕		18
4. 財団 I 私たちの財団		22
5. 会員の参加を促す		26
6. 奉仕プロジェクトを創造する		46
パート II		53
1. 成功に導くための計画		55
2. 会員を勧誘する		72
3. チームづくりとクラブコミュニケーション		79
4. ロータリー米山記念奨学事業		88
5. ロータリー財団 II 目標とする奉仕		92
6. 強いクラブを創る		99
パート III		115
1. ロータリーの機会		117
2. 効果的なリーダーシップ戦略		123
3. ロータリー財団 III 国際奉仕		127
4. 公共イメージ		130
5. 規定審議会・決議審議会		134
6. 変化をもたらす		139
卒後コース		141
卒後コースについて RLI日本支部カリキュラムチームサブリーダー	井原 實	142
1. ロータリーの歴史		144
2. ロータリーの理念		163
3. ロータリーの新しい流れ		176
4. クラブを元気にしよう		190

日本語版テキスト編集発刊にあたり

RLI日本支部委員長 北 清治（第2770地区）

この度、RLI日本語版テキスト（2023-25年度）が編集発刊されますことを大変嬉しく思います。今回の編集発刊にあたり日本支部カリキュラムチーム皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

本テキストはRLI本部の指針に沿えながら、日本のロータリアンに適応した内容で編集されております。

2023年7月1日付で発刊されました、RLIファシリテーターガイドブックと一体として、RLIの学習の機会にご活用頂き一層成果が上がることを願っております。

RLI日本支部は、その目的を、RLIの理念に従ってリーダーシップの学びを通じて、ロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養することを目指しております。

RLIは1992年アメリカ・ニュージャージー州第7510地区において、元RI理事デビット・リンネット氏の発案で始められた研修組織であります。

日本では、2008年6月元RI理事南園義一日本支部委員長の下でスタートしております。2011年7月元RI理事黒田正宏氏に日本支部委員長が引き継がれ、2015年7月不肖私が日本支部委員長をお引き受けし今日に至っております。

現在、世界で400以上の地区が参加しております。日本では80%以上の地区が参加しております。日本の全地区の参加によって、ロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されることを期待致しております。

特に、地区内においてテキストの活用とファシリテーター養成の必要性が強く求められております。一日も早く大きな成果が上がることを願っております。

本RLIは、国際ロータリーの理事会において2002年2月RLIの名前にロータリーの名前を使うことを許可し、ロータリーの地区によって管理されている草の根のプログラムとして認められております。

また、2013年の規定審議会でRIのプログラムとするよう決議（13-168）されましたが、既に充実したプログラムとして成功していること、などの理由で、現状の姿を求めています。2014-15年度ゲーリー・ホアンRI会長はコメントを出し、RLIの成功を評価すると共に同じ認識を示しております。RLI本部とRI理事会も共通認識を持っていることを申し添えておきます。

日本版カリキュラムについて

RLI 日本支部 カリキュラムチーム
チームリーダー 刀根荘兵衛

2024-25 年度 RLI 日本支部カリキュラムチーム委員長を拝命致しております刀根荘兵衛でございます。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

既にご存じのように、2023 年 3 月の RI 理事会決定により、ロータリーでは、研修（トレーニング）文化から参加者中心の学習（ラーニング）文化へと移行が決定されました。

今後、RI の研修スタイルは急速にラーニングスタイルに変化していくこととなりますが、実は、この RI のラーニングスタイルへの変更を、30 年以上前から先取りしているのが RLI ということになります。今後、学習（ラーニング）文化への変更を推進するための指導者育成が急務となりますが、このことに最も大きく貢献できるのが RLI プログラムではないかと考えております。

さて、このたび、4 年ぶりに RLI 本部カリキュラム改訂が行われました。今回の改訂では、RLI の基本的なカリキュラム構成は変化がないものの、各セッションの設問内容や資料は大きく変更されました。

私ども日本支部カリキュラムチームでは、早速、RLI 本部の新テキストを参考に、各セッションの設問内容を検討するとともに、所謂、直訳の翻訳ではなく、日本語らしい適切な表現となるよう議論を重ねて参りました。

また、各セッションに付随する資料についても、日本のロータリアンにとってより理解しやすい資料に変更するとともに、日本支部独自の資料も追加致しました。

現在、RLI のカリキュラムは、本部推奨の標準プログラム以外に、各支部が独自のセッションを追加することが認められております。今回の改訂版でも、従来通り、日本独自のプログラムである「米山記念奨学会」と「規定審議会・決議審議会」のセッションを追加掲載致しております。

RLI はパート I からパート III までの一連のコースの学習を通じて、最終的に「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指す」こととなりますが、日本版 RLI 参加者テキストでは、さらに日本支部独自の卒後コースも 4 セッション提案致しております。この卒後コースは参加者のロータリー観をさらに広げる機会となりますので、今まで卒後コースに取り組んでこられなかった地区におかれましても、是非この機会に、卒後コースにチャレンジして戴ければ幸いに存じます。

今後、皆様からのご意見を賜りながら、RLI がより効果的な研修ツールとなるよう努力して参りたいと存じます。

皆様の変わらぬお力添えをよろしくお願い申し上げます。

RLI ファシリテーターの皆様へ

RLI ファシリテーターガイドブックの第 3 章「RLI 参加者テキストをどう読み解くか／ひとつの例として」は旧参加者テキスト(2022~23 年版)のセッションの問いに基づいて解説しています。

今回の改訂版のセッションの問いとは一部異なっている場合がありますので、ご確認の上セッションの進行をご検討ください。

6つのカリキュラム・フレーム

標準カリキュラムセッション

<p>ロータリーの基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 私のロータリー世界 ① ➢ ロータリーの機会 ③ ➢ 強いクラブを創る ② ➢ <u>規定審議会</u> ③ 	<p>リーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ロータリーにおけるリーダーシップ ① ➢ 効果的なリーダーシップ戦略 ③ ➢ <u>チームづくり</u> ② ➢ 変化をもたらす ③ 	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 20px; height: 40px; margin: auto;"></div> <p>合体</p>
<p>奉仕と財団</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 財団Ⅰ 私たちの財団 ① ➢ 財団Ⅱ 目標とする奉仕 ② ➢ 財団Ⅲ 国際奉仕 ③ ➢ 奉仕プロジェクトを創造する ① ➢ <u>ロータリー米山記念奨学事業</u> ② 	<p>クラブコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>クラブコミュニケーション</u> ② ➢ 公共イメージと広報 ③ 	
<p>倫理と職業</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 倫理—職業奉仕 ① 	<p>会員基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 会員の参加を促す ① ➢ 会員を勧誘する ② ➢ <u>成功に導くための計画</u> ② 	

注記：日本支部では、規定審議会とロータリー米山記念奨学事業のセッションを追加し、チームづくりとクラブコミュニケーションを合体して、パートⅡの『チーム作りとクラブコミュニケーション』の1つのセッションにまとめました。

各パートの位置付け

- パートⅠ ロータリアンとしての私
- パートⅡ 私たちのクラブ
- パートⅢ 私のロータリーの旅



ゴールは、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立

卒後コース

改めてロータリーを学び、ロータリーをさらに深める



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2023 - 25

パート I

ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI プログラムについて

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI)は、世界中の地域支部に組織化された会員のための、草の根による多地区合同リーダーシップ開発プログラムです。RLI プログラムは RI 理事会によって推奨され、また 3 年ごとに開催される 3 回の規定審議会で、力強く支持されました。

RLI は、最近クラブに入会した新会員を含めて、将来のクラブ役員候補者やその他のクラブ会員のために、質の良いリーダーシップ開発コースを実施してきました。

RLI の各コースは、リーダーシップ技能や世界中のロータリーの知識を強調しています。すべてのコースは、すべて対話型となっています。RLI は、このリーダーシップ研修によってロータリーに対する情熱が湧き、ロータリーにさらに熱心に取り組むことで、会員維持にプラスの影響が出てくるものと信じています。RLI に関する詳細な情報は、ウェブサイトをご覧ください。(www.rotaryleadershipinstitute.org)

RLI 推奨プログラム

RLI はすべての地域支部に概要と指導者資料を含めて、標準カリキュラムを提供しています。

カリキュラムは数年ごとに改定されます。RLI の拡大により、各支部において、指導者がカリキュラムに適応したり、またカリキュラムの翻訳を行うために各支部が十分な時間的余裕が持てるように、4 年ごとに大きな改定が行われます。すべてのカリキュラム資料や翻訳版は RLI ウェブサイトに掲載されています。(www.rlifiles.com)

RLI カリキュラム委員会

RLI は、専門のカリキュラム編集者から成る国際委員会を組織し、RLI のカリキュラムを審査しています。RLI は、国際的な専門家委員会を組織し、世界各地から集まった専門家のボランティアによって資料を検討し、翻訳しています。これらの委員会では、ボランティア委員を募集しています！newsletter@rotaryleadershipinstitute.org までご連絡ください。

2023～2025 年度 カリキュラム委員会

RLI パート I — ロータリアンとしての私 目 次

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムですが、公式なプログラムではありません。

私たちの使命： ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。



1. ロータリーにおけるリーダーシップ(My Leadership In Rotary)10

ロータリークラブはリーダーの集まりであり、ロータリアンである私はリーダーです。さあ一緒に、リーダーシップの特徴や組織を動機づける手法やリーダーシップのスタイルを探求しましょう。どうしたら一番うまくリーダーシップを発揮することができるでしょうか？



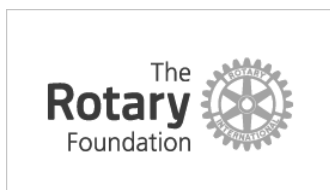
2. 私のロータリー世界(My Rotary World)12

ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。ロータリーの目的や組織構造を正しく理解しましょう。これらのリソースは私を支援してくれるでしょうか？



3. 倫理と職業奉仕(Ethics - Vocational Service)18

私は倫理的な人間です。他の人に倫理の大切さを理解し実践してもらいます。自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。私がロータリアンであることをあなたは理解できるでしょう。



4. 財団 I — 私たちの財団 (Our Foundation)22

私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。財団に関する基本的な目標、やプログラムを学びましょう。私は世界で良い事をする力となるでしょう。



5. 会員の参加を促す(Engaging Members)26

私が積極的に参加することでクラブをより強くします。クラブに引き込まれている会員は楽しく過ごし、友人を作り、効果的な奉仕活動を行います。これが私がロータリーに入会した理由です。



6. 奉仕プロジェクトを創造する(Creating Service Projects)46

私は職業人や専門職、更には社会のニーズを満たすボランティア活動のリーダーで構成される世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。私は奉仕事業を企画、運営し、そして奉仕を促進します。

1 ロータリーにおけるリーダーシップ

ロータリークラブはリーダーの集まりであり、ロータリアンである私はリーダーです。



優れたリーダーシップには、思考力、計画性、準備、責任感、新しいことに挑戦する意欲、過去にとらわれない姿勢、リスクを取る信頼感が必要です。RLI は、リーダーシップには生まれつきの資質がある一方で、リーダーシップのスキルを向上させるという意味で、リーダーシップは教えられるものだと考えています。

セッションの目標

- リーダーシップの特徴を探る
- リーダーシップのスタイルを見直す
- 自分のリーダーシップスタイルが、クラブ内のほかのリーダーやロータリークラブのニーズとどのように関係があるかを検討する

セッションの問い

- 1) 優れたリーダーシップの特徴とは？
- 2) リーダーシップの特徴の中で、最も重要なものはどれですか？
- 3) ビジネスにとって最も重要なものはどれか？
- 4) ロータリーやボランティア組織にとって最も重要なものはどれですか？
- 5) ビジネスで重要なリーダーシップとロータリーやボランティア組織で重要なリーダーシップは、なぜ違うのでしょうか？

- 6) すべてのロータリアンがリーダーであるならば、個人のリーダーシップは重要でしょうか？

リーダーシップの種類

- 参加型：ほかの人々に参加してもらおうと努める。
- 臨機応変型：状況により方法を変える。
- 取引型：階層（ヒエラルキー）構造と賞罰制度に基づいて導く。
- 転換型：活力と熱意を分かち合いながら、相手の心をつかみ導く。
- サーバント型：仕えてもらうより自らが仕える。

- 7) あなたのクラブでは、どのタイプのリーダーシップが最も成功すると思いますか？

- 8) この情報を、クラブまたはあなた自身にどのように生かすことができますか？

まとめ

- リーダーシップは習得できるスキルであり、個人的にも選択できます。
- リーダーシップには、よく考え、計画し、準備し、新しいことに挑戦する意欲が必要です。
- ボランティアを指導することは、社員を指導することとは異なることがあります。

パート II のセッション 3 「チーム作りとクラブコミュニケーション」では、ボランティアリーダーシップの資質と特徴をさらに発展させます。

2 私のロータリー世界

ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。



セッションの目標

- ロータリーの使命について議論する。
- ロータリーの組織構造について理解する。
- ロータリーの組織は、ロータリアンとしての私をどのように支えているかを考える。
- ロータリーのビジョンと戦略優先項目を理解する。

セッションの問い

- 1) ロータリーに入会した理由は何ですか？
- 2) ロータリーは何を目指していますか？
- 3) そのこととロータリーに入会した理由はどのように関連しますか？

-
- 1) ロータリーはどのような構造になっているのでしょうか？
 - 2) なぜロータリーはこのような構造になっているのですか？
 - 3) これらの人たちは、あなたやあなたのクラブにどんな形で貢献できるのでしょうか？
 - 4) ロータリー財団は、RIの中核的価値観をどのように支えていますか？

以下の文章は正しいですか？間違っていますか？

1. 私のクラブは自律的です。
クラブがクラブであり続けるためには何をしなければなりませんか？
クラブの目的は何ですか？何をやるクラブですか？
2. 会費はクラブのためにのみ使われます。
会費はどこに使われていますか？
3. 私はロータリアンです。国際ロータリーに所属しています。
4. 地区は、私たちのクラブを支援するために存在します。
地区はクラブのために何をしてくれますか？
5. 私たちのクラブを訪問したガバナー補佐は、次に地区ガバナーになる候補者です。
ガバナー補佐の役割は何でしょうか？
6. オンラインで地区の情報にアクセスできます。
地区にはウェブサイトがありますか？ゾーンにもありますか？
7. 私は単なる会員です。RI のウェブサイトには、私にとって有益な情報はあまりありません。
ウェブサイトをご覧になったことがありますか？
ウェブサイトにアクセスしたことのある人はおられますか？
そこで何を知ることができましたか？
8. ゾーンは地区に対し、何をすべきかを指示します。
ゾーンは何をしているのでしょうか？
9. 国際ロータリーは、地区に何をすべきか指示します。
RI は何をしているのでしょうか？
10. このセッションが終わったら ロータリーのことなら何でも分かるようになります！
どこに行けば答えが見つかりますか？

まとめ：

- ロータリーの構造は、クラブとロータリアンに奉仕する仕組みです。
- ロータリーの目的は、私たちみんなに目標を与えてくれます。
- ロータリーのあらゆるレベルから支援が得られます。

セッション2 資料1

ROTARY



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善平和を推進すること。

INTERNATIONAL

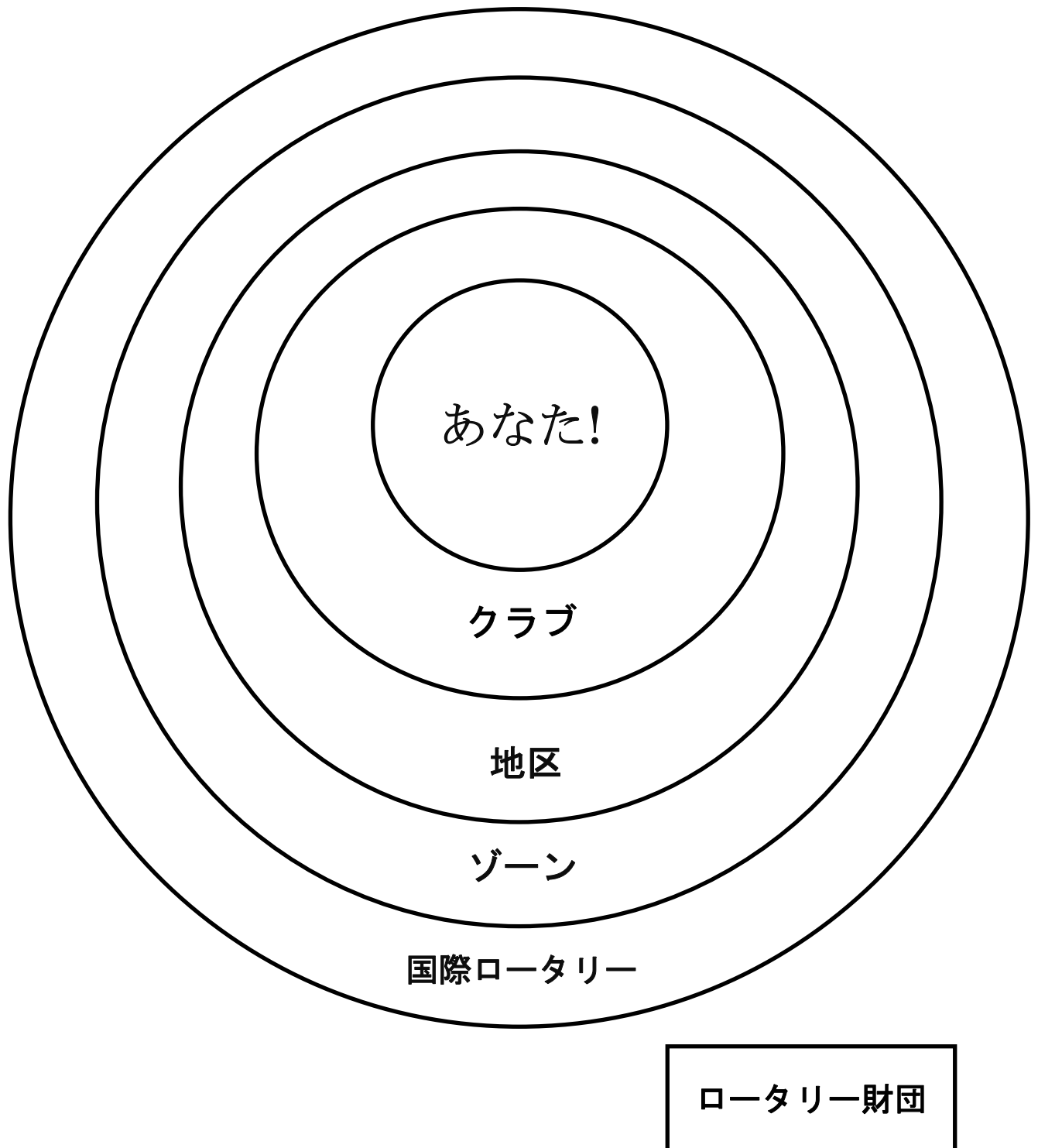
ROTARY

INTERNATIONAL

ROTARY

INTERNATIONAL

セッション2 資料2
ロータリーの組織構造



セッション2 資料3 ロータリーのしくみ

ロータリーは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の三つの部分から成ります。ロータリークラブとローターアクトクラブは、国際ロータリー（RI）というグローバルな連合体に加盟しています。国際ロータリーは、世界的な取り組みやプログラムを取りまとめ、全世界のクラブをサポートします。ロータリー財団は、地元の奉仕プロジェクトから世界的なイニシアチブまで、ロータリーの人道的活動に補助金を提供します。

クラブ

ロータリーのしくみにおいて最も大切な土台となるのがクラブです。200以上の国と地域に36,000以上のロータリークラブと10,000以上のローターアクトクラブがあり、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な変化を生むために活動する人びとを結びつけています。ローターアクトクラブはロータリークラブと似ていますが、大学生や若い職業人を主に対象としています。各クラブは自主的に活動しているため、会員が得られる体験もクラブによって異なります。ただし、すべてのクラブには役員がおり、クラブの運営を助ける委員会が設置されているなど、全クラブに共通することもあります。ロータリークラブとローターアクトクラブは、国際ロータリーの加盟クラブとみなされます。クラブが充実していれば、地域社会での奉仕活動やクラブ会員の経験もより一層豊かなものとなります。

地区とゾーン

クラブが集まって形づくられた「地区」が世界に約520あり、地区ガバナーが地区のリーダーとしての役割を担います。ガバナーは、リーダーとしてのスキル、ロータリーでの経験、奉仕への熱意

に基づいて、地区内のクラブによって指名されます。ガバナーとなる会員は、就任に先立ち、日本国内での研修と、海外で実施される国際協議会に出席します。ガバナーの任期は1年で、ガバナー補佐および地区委員会と協力して、地区内クラブを支援・強化し、奉仕プロジェクトに対



36,000以上のロータリークラブと10,000以上のローターアクトクラブがあり、これらのクラブが約520の地区に分けられている。これらの地区は、地域ごとに34ゾーンに分けられている。

する会員の熱意を高めます。ガバナーはまた、就任年度中に各クラブを（直接またはバーチャル形式で）訪問し、新クラブの設立を監督し、地区大会やその他の特別行事の計画を立てます。

全世界の地区が34のゾーンに分けられ、各ゾーンのロータリアン数はほぼ同数となっています。各ゾーンから国際ロータリー理事が選出されます。

RI 資料 699-JA-(417)「ロータリーの基本情報」より抜粋

セッション2 資料4 あらゆるレベルでの支援

地区

ガバナー
ガバナー補佐
地区ロータリー財団委員長
地区公共イメージ委員長
地区会員増強委員長
その他の地区委員長！

ゾーン

理事
ロータリーコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター
ロータリー公共イメージ・コーディネーター
ポリオ根絶コーディネーター
恒久基金／大口寄付アドバイザー

国際ロータリー

会長
理事会
事務総長
ラーニングセンター — Web サイト (www.rotary.org)
ロータリー財団チーム
ブランディング・チーム
規定審議会 (COL) と決議審議会 (COR)
ロータリーの管理運営に関する文書 — Web サイト (www.rotary.org)
国際ロータリー定款 (COL により更新)
国際ロータリー細則 (COL により更新)
標準ロータリークラブ定款 (COL により更新)
推奨ロータリークラブ細則 (クラブにより変更)
ロータリー章典 (RI 理事会会合の後、毎回更新)
ロータリー財団章典 (ロータリー財団管理委員会の会合後に更新)
標準ローターアクトクラブ定款 (RI 理事会により更新)
推奨ローターアクトクラブ細則 (クラブにより変更)
手続要覧 (COL により更新)

3 倫理と職業奉仕

私は倫理 (Ethics) を大切にしています。社会の倫理の向上に努めます。
自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。



セッションの目標

- ロータリーの指導原則に含まれる倫理観を学ぶ。
- 私たちが共有できる価値観は何か。
- これらの価値観が、自分自身や自クラブとどのような関わりがあるか。

セッションの問い

- 1) あなたはどのようなことを大切にしてお仕事をされていますか？
*参加者全員に、それぞれの職業観を聞いてみましょう。
- 2) ロータリーの目的 (資料1:P19 ロータリー指導原則) の第2項に記されている職業上の高い倫理基準や職業の高潔性をどのように考えますか？
- 3) 「四つのテスト」は、ロータリーの職業倫理についての声明です。
「四つのテスト」はロータリーの職業奉仕をもっとも簡潔に表した言葉だと言われます。あなた自身の職業に、四つのテストをどのように反映されていますか？
- 4) 「職業奉仕のアイデア」 (資料3:P21) はRI が推奨する「職業奉仕」の活動事例です。
あなたの「職業奉仕」観は広がりましたか？

まとめ：

- 職業奉仕は、ロータリーの創立の大きな動機の一つであり、職業や専門的なスキルを社会のために役立てることです。
- クラブは、プロジェクトの立案と実施において、会員それぞれのスキルを生かすことを重視すべきです。
- ロータリアンは、ロータリーの目的の理念と指導原則を積極的に推進、実践すべきです。

セッション3 資料1：ロータリーの指導原則

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬものであるということで、RI理事会の意見が一致した。

四つのテスト (The Four-Way Test)

ロータリーの初期のころから、ロータリアンは彼らが生活の糧としている職業における高い倫理的水準に引き上げることに関心を持ってきました。世界で最も広く印刷され、引用される職業倫理の声明のひとつに四つのテストがあります。

それは1932年にロータリアンである、Herbert J Taylor (後のRI会長) が倒産の危機に直面していた会社を任されたときに、彼によって起草されたものです。

実業生活や専門職生活の中で雇用者が実践すべき、この24の単語からなる四つのテストは、販売や製造、広告業においても、またその他、販売者と顧客との全ての関係において指導書となりました。そして企業の生き残りはこの簡単な哲学に帰すると言うことになりました。

四つのテストは1943年ロータリーによって採用され、百以上の言語に翻訳され、色々な形で出版されています。それは次のような四つ質問を尋ねています。

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

原文：The Four-Way Test

Of the things we think, say or do:

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

ロータリアンの行動規範

(Rotarian Code of Conduct)

全会員（ロータリアンおよびローターアクター）には以下のことが求められる：

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 他者に公平に接し、敬意をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) の行動規範」を遵守することが含まれる。
- 3) ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリー関連行事では、すべての行動規範に従う。

五大奉仕 (The five Avenues of Service)

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際の規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を实践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

セッション3 資料2

ロータリーDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)行動規範 (2021年)

国際ロータリー理事会は、ロータリーの中核的価値観を反映した新しいDEI行動規範を承認しました。

この行動規範は、ロータリーの会員が、協力的で前向きな、誰にとっても健全な環境を作り、維持するための指針となるものです。

DEIの行動規範は、誰にとっても協力的で、前向きで、健全な環境をロータリー会員が築き、維持するのを支える枠組みとなるものです。

この行動規範はロータリー会員に以下のことを求めています：

- 他者を尊重する言葉を使う
- サポートを示す
- 温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する
- 多様性を重んじる

表現の自由は大切ですが、私たちの言動には重大な責任が伴います。ロータリーは、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認に基づくバイアス（偏った考え方）、差別、偏見、ヘイト（憎悪）を促進する言動をロータリーが容認しないという共通の立場を取ります。

クラブ会長、ガバナー、理事と管理委員など、ロータリーのすべてのリーダーには、自らの言動がほかの人に及ぼす影響について責任をもつとともに、他者にも言動に責任をもつよう促すなど、DEIの行動規範を一貫して適用することが求められます。

(DEI行動規範より抜粋)

<https://www.rotary.org/ja/about-rotary/diversity-equity-and-inclusion>

セッション3 資料3：職業奉仕のアイデア

1. 職場における高い倫理基準を促進する

- a. 雇用や研修および手順の復習において誠実、責任、公正、尊敬を議論し強調する
- b. 内部のコミュニケーションにおいて、就業内外の模範的な行動を称賛し、奨励する
- c. 顧客や仕入業者や仕事の協力者に対して、高い倫理基準への公約を宣言し、実証する

2. 職業分類の原則

- a. あなたのクラブで職業意識を推進させるために職業分類について話をする
- b. 若者や従業員に商品価値のある技能を増進させるためのクラブプロジェクトを開始する最初の段階で、職業分類の話をする
- c. 会員企業の職場訪問を計画することはそれぞれの会員の職業の価値を認識するもう一つの方法です。
- d. 会員の事業所で移動例会を持つ計画を立てる
- e. 若者を特別な職業奉仕の会合に招待する

3. 高い倫理基準へのロータリーの公約を推進する

- a. 地域社会で目立つ広告掲示板に四つのテストを掲示する
- b. 四つのテストやロータリアンの職業宣言をあなたの事務所や職場に掲示し、それについて社員に話をする
- c. あなたの職場や地域社会や家庭における行動が高い倫理基準への公約を実証することで、“有言実行”を実践する
- d. 四つのテスト・エッセイコンテストを後援する
- e. 子供たちのための共同”文字ベースの識字率プログラム”を後援する
- f. 倫理について特に強調する RYLA 事業を指導する
- g. 職場で高い倫理基準を維持することについて、討論や分科会を開催し、ロータリアンでない経営者たちをその会議に招待する

4. 有益な職業の価値を認識し推進する

- a. あなたのクラブのプログラムとして、職業分類の話や職場訪問を行う
- b. あなたの職業に関連するロータリー親睦活動に参加したり、新しく組織したりする
- c. ロータリアンが若者の就職を助けるキャリアデイを後援する
- d. 専門技能の開発を支援する
- e. 事業上の連携における指導的役割を会員が取るように奨励する
- f. 小規模な起業家のためのセミナーを後援する
- g. 会員が地域の専門職の人と出会い、彼らをロータリーに導く、専門職業人のための非公式なネットワーク・イベントを開催する
- h. 失業あるいは、不完全雇用の成人に求人市場で競う必要のある技能を持たせるための職業相談プログラムを始める

5. あなたの職業におけるボランティア活動をする

- a. 若い会員を個人指導する
- b. あなたの特別な職業技能を必要とするプロジェクトを探すために、ロータリープロジェクト・リンクのデータベースを利用する

4 財団 I 私たちの財団

私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。



セッションの目標

- ロータリー財団の使命、プログラム、および資金調達について理解する
- ロータリー財団の重要性と価値について議論する
- ロータリアンがロータリー財団 (TRF) へ寄付をする必要性

セッションの問い

- 1) 財団と聞いて何を連想しますか？
- 2) ロータリー財団は何故創られたのでしょうか。
また、ロータリー財団は、何故必要なのでしょうか。
- 3) ロータリー財団と国際ロータリーの違いは何でしょうか？
- 4) ロータリー財団の使命は何でしょうか？
- 5) ロータリー財団への寄付には、どのようなものがあるのでしょうか？
また、あなたのクラブでは、財団に対する寄付をどのように集めていますか？
- 6) 自分自身の財団寄付額がどのくらいあるか知っていますか？
寄付額をどのように調べることができますか？

まとめ：

- ロータリー財団は、世界に大きな変化をもたらす力を与えてくれます！

セッション4 資料1

ロータリー財団がチャリティナビゲーターから 15年連続で最高評価を受ける

ロータリー財団は、15年連続で、米国の慈善団体の格付けを行っている独立団体「チャリティナビゲーター」より、最高の四つ星評価を獲得しました。

財団は、慈善部門におけるベストプラクティスを遵守し、財務的に効率のよい方法で使命を遂行し、財務の健全性および説明責任と透明性へのコミットメントを示したことが評価されました。

チャリティナビゲーターのマイケル・サッチャー会長兼 CEO は、「ロータリー財団の卓越した運営を裏付ける第三者からの認定を提供できることをうれしく思う」と話しています。「四つ星評価は、組織が達成しうる最高の評価です。ロータリーがこの先何年にも渡って成し遂げていく優れた活動を見守っていきたいと思います」

チャリティナビゲーターは、「コストに対する慈善事業のインパクト」、「透明性、効率性、持続可能性を含む組織のガバナンスと財務の健全性」、「リーダーシップ能力、戦略的展開、内外の変化への適応力」、「全体的な文化とその構成員（会員）やコミュニティとのつながり」を含む四つの主な指標に基づいて非営利団体の業績を評価しています。

- Oct 2023



セッション4 資料2

ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう」 (Doing Good in the World)

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

ロータリーの7つの重点分野



国際ロータリーの使命

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである。

ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

国際ロータリーとロータリー財団の 2024-25 年度年次目標

優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025年までに20億2,500万ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項 2「参加者の基盤を広げる」の目標

4. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
5. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
6. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
7. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項 3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
9. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
10. 職業上のつながりを育み、リーダーシップ・スキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先事項 4「適応力を高める」の目標

11. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
12. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

5 会員の参加を促す

私が積極的にロータリーの活動に参加することで、クラブをより強くします。



セッションの目標

- クラブ会員にロータリー活動の参加を促すことの重要性
- 会員の参加を促す方法を探る。
- あなたにとってのロータリーの魅力を確認する。

セッションの問い

- 1) あなたはロータリークラブのどこに魅力を感じて入会し、なお今も在籍しているのでしょうか？あなたがロータリーを続ける理由は？
入会の動機と継続の理由について考えましょう。(資料1～6：P27～45)
- 2) あなたがクラブに入会した時のことを思い出してください。オリエンテーションや新会員研修の機会がありましたか？新会員に対して、どのような参加を促す工夫があったらよかったと思いますか？
- 3) あなたのクラブは会員の参加を促すためにどのような工夫をしていますか？例会の工夫は？奉仕プロジェクトへ参加させる工夫は？
同好会などがありますか？その活動は活発ですか？
- 4) クラブ会員の参加を促し満足度を高めるために何が必要だと思いますか？

まとめ：

- 会員がより深く知り、参加すればするほど、クラブは強くなります。

セッション5 資料1

奉仕と親睦で結ばれて

国際ロータリー会員調査の結果からロータリーの現状と今後の方向性を探る

1921年にエジンバラ（スコットランド）で開かれた年次大会で、ポール・ハリスは次のように述べました：「ロータリーの原動力は親睦です」。盛大な拍手を受けたこの発言に、100年経った今のロータリー会員たちもうなずきます。



Woolloongabba Pride ローターアクトクラブは多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）を実践しています

写真提供：Rotary Down Under

ロータリー会員を対象とした最近の年次調査で、回答者の 45%が、ロータリーにとどまり続ける理由として「友情」を挙げています。また、ロータリーを通じて友人とのつながりを維持できることについては、84%が「満足している」と答えています。さらに、回答者の 42%がロータリーにとどまる理由として「地域社会に貢献する機会」を挙げており、ロータリー創設者ハリスがそれを知ったらきっと喜んだことでしょう。

ロータリーが全会員を対象に毎年実施する調査の目的は、このような情報を集めることです。国際ロータリーが昨年秋に実施した 2021 年調査では、ロータリアンとローターアクト7 万人近くが回答しました。調査への回答は、ロータリーの行動計画と戦略的イニシアチブの長期的な成功のために役立てられると同時に、ロータリーのリーダーが新会員やベテラン会員の期待と体験をよりよく理解し、対応することを可能とします。地域レベルでは、この情報を活用してクラブと地区が入会への関心を高め、既存会員の参加をさらに促すことができます。



ロータリーの会員基盤：スナップショット

- 65
男性ロータリアンの平均年齢
- 59
女性ロータリアンの平均年齢
- 25
ローターアクターの平均年齢（男女）
- 24%
全ロータリアンのうち女性が占める割合
- 50%
全ローターアクターのうち女性が占める割合

自分のクラブについて好きな点……

- ・ 友情と親睦
- ・ 卓話で新しい知識を学べること
- ・ 興味深いトピックに関するディスカッション
- ・ 地元で奉仕活動に参加する機会
- ・ ハイブリッド式例会（多様な卓話ゲストを招くことができる、対面式での出席が難しい会員も参加できる）

……好きではない点

- ・ 対面での交流がないバーチャル例会
- ・ リーダーが頼りない・無反応
- ・ 卓話の内容に自分との関連性や関心がない
- ・ 時間管理ができていない（開始・終了時間が遅れる）
- ・ 派閥
- ・ 排他的で多様性がない
- ・ 儀礼や不必要な形式的慣習（祈祷、斉唱など）

なぜクラブにとどまるのか

- ロータリー会員の 93%が、今後 12 カ月間にクラブに留まり続ける可能性が「極めて高い」（78%）または「おそらく留まる」（15%）と回答
- 61%が、クラブは地域社会に貢献したと思うと回答
- 2021 年 10 月までの 12 カ月間にロータリー会員がボランティアを行った合計時間数は 4,820 万時間
- ロータリアンの 59%がプロジェクトの立案、ボランティア活動、寄付を通じてグローバル補助金に参加

なぜ退会するのか

- 2016 年に入会したロータリアンのうち、61%が 2020 年までに退会

その理由

- 自分の価値観とクラブの価値観が合わない
- クラブが地域に貢献していない
- 会費
- 個人的な事情
- クラブ内での対立
- 時間的拘束

- ロータリー会員の 53%が、クラブでの会費の使い道について「かなり知っている」と回答



データから学んだこと

新会員の積極的参加を引き出す方法：例会でなんらかの役割を担当してもらい、ほかのクラブ会員に紹介する、委員会やプロジェクトでリーダー的役割を務めることを勧める。

- 会費が負担となっている場合、会費を減額するか、柔軟な会員種類の選択肢を提供する。
- 親しい仲間のグループ以外の人びとに入会を誘うことで、会員基盤を多様化する。
- クラブでの居心地がよければよいほど、ロータリー会員としての満足感も高まる。このため、会員がクラブで歓迎され、尊重され、価値ある存在として大切にされていると感じられるようにすることが大事。

82%

友人、同僚、ほかの会
員を通じてクラブにつ
いて知った新会員

1～3回

大半の入会候補者がク
ラブ入会を決める前に
出席した例会の数

1～3年

新会員が退会するリス
クが最も高い入会後の
期間

『Rotary』誌 2022年8月号に掲載された記事

RI Web サイト 「奉仕と親睦で結ばれて ～国際ロータリー会員調査の結果からロータリー
の現状と今後の方向性を探る」より抜粋
<https://www.rotary.org/ja/united-friendship-and-service>

会員の満足度を 高める： 会員満足度アンケート



会員がクラブで得られる体験は、クラブに対する会員の気持ちに影響します。会員の声に常に耳を傾けて変化を取り入れ、全員の協力を得ながら理想のクラブづくりを目指すことが大切です。会員満足度調査は、会員がクラブでの活動に満足できるように、会員の意見を集めるためのツールです。

目的

次のような目的でこの評価を実施し、その結果に基づいて対応します。

- クラブについて会員が満足している点、不満に感じている点は何かを知る
- 会員が満足している点をさらに強化し、不満な点を改善するための行動計画を立てる

準備

満足度アンケートの実施には、専任のグループが必要です。会員増強委員会、または有志の会員でもかまいません。例会中にアンケートを実施し、会員の満足度について話し合うこともできます。または、アンケート用紙を配布するかEメールで送信して各自に時間をかけて回答してもらうこともできます。満足度調査の実施のみを目的とした特別例会を開くのも一案です。その場合は、リラックスした雰囲気の中で率直な意見を集められるようにすることが重要です。



結果の分析と話し合いの際には、匿名性を守り、回答者がわからないよう配慮しましょう。

はじめよう

ステップ1: アンケートをカスタマイズ

以下の質問サンプルを使用して、クラブ独自の会員満足度アンケートを作成してください。

ステップ2: アンケートを配布

会員にアンケートを配布するか、オンラインのアンケートプラットフォームを使用します。回答は匿名で集計され、現会員と入会候補者の双方にとってより良いクラブづくりに役立てられることを伝えてください。

ステップ3: データを分析

アンケート実施専任グループが、回答を確認します。回答結果を極秘とすること、あらゆる意見を尊重することをあらためて強調します。

ステップ4: 結果を発表、行動計画を立案

アンケート結果を発表し、クラブで話し合います。会員からの質問を受け、アンケート結果に基づいて対応のアイデアを出し合います。会員の積極的な参加を促すための行動計画を立て、実施スケジュールを組みます。

ステップ5: 計画を実行

最後のステップは、行動計画の実施です。会員と話し合い、できるだけ多くの会員に協力してもらい、クラブに貢献していることを実感してもらいましょう。



インターネットを使ってアンケートを行うこともできます。無料（またはごく少額）で便利な機能を利用でき、回答データも簡単に管理できます。

そのほかの調査・アンケート

会員関心事アンケート

多様性調査

入会候補者情報の収集

会員維持調査・分析

退会者アンケート

補遺1の「クラブの行動計画」を使用して、会員増強の取り組みを記録しましょう。



スケジュールを組む際には、あらかじめ十分な時間を見積もっておきましょう。各ステップに1週間以上かかる場合もあります。

会員満足度アンケートの 質問のサンプル

クラブでの日ごろの経験に関する本アンケートへのご協力をお願いいたします。ご回答は、クラブをより良くするための参考とさせていただきます。正しい答え／間違った答えはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

1. 本クラブの会員であることにどのくらい満足していますか。

- 満足している
- ある程度満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- 満足していない

2. 本クラブの雰囲気、会員、例会について、各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
例会を楽しんでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは新会員 が打ち解けられ るよう配慮して いる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会員は互いへの 思いやりをもっ ている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは地元地 域の多様性を反 映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
クラブは各会員 の関心、スキル、 都合に応じてで きるだけ活動に 参加するよう呼 びかけている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
寄付・募金活動 の量は適切であ る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは温かく 迎え入れる雰 囲気がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブで自分の 意見を自由に表 明できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
このクラブの会 員であることを 誇りに思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

3. 例会について以下の各点を評価してください。

	非常に良い	良い	まあまあ	あまり 良くない	良くない	該当せず
国際ロータリーの最新情報の紹介	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
長さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
頻度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
形式（オンライン、対面、またはハイブリッド）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交流に充てる時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職業的人脈を広げる機会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
主題の多様さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
場所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
例会曜日と時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食事や飲み物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
意見を述べたり話し合ったりする機会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

4. 本クラブの奉仕プロジェクトについてご意見をお聞かせください。

	ちょうどよい	多すぎる	少なすぎる
奉仕プロジェクト(全般)の数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会奉仕プロジェクトの数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国際奉仕プロジェクトの数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	そう思う	そう思わない	特に意見なし
奉仕プロジェクトはよく運営されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは奉仕プロジェクトを通じて世界や地域社会に貢献している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕プロジェクトへの参加は自分にとって意義がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案:

5. 本クラブのコミュニケーションと対応について、以下の各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
会員に十分な連絡が行われている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは会員の声に十分耳を傾けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは会員からの意見やアイデアを積極的に募っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは会員の意見やアイデアに基づいて運営されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは会員のニーズに合わせて手続きや規定を更新している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブは時代に即したペースで変化を取り入れている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

6. 会員であることの価値について、以下の各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
私はクラブで 歓迎されてい ると感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私はクラブの会 員と一緒にいる ときに、自分ら しくいられる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブの会員 は私のことを 理解し、大切に してくれる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブを通じて 貴重な人脈が できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブで自分 の才能やスキル を生かす機 会がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私はクラブでリ ーダーシップを 発揮する機会 がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
会員としての経 験は、会費を 支払う価値が ある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ロータリー会 員としての経 験は、時間を費 やす価値がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
私がロータリー会員であることの価値を家族も認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私がロータリー会員であることの価値を友人も認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ロータリーを通じて地域のために貢献できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ロータリーを通じて世界のために貢献できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

7. クラブへの参加について、以下の各項目で該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わない
私は、クラブの行事に家族、友人、同僚をよく誘う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私は、入会候補者に入会を誘っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私は、クラブの活動／プロジェクト／プログラムに頻繁に参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私は、このクラブを誇りに思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

8. 会員が払う費用について、以下の各項目につき該当するものに印を付けてください。

	低すぎる	ちょうどよい	高すぎる	該当せず
クラブ会費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
例会の食事代	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クラブ入会金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奉仕活動用に求められる寄付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ロータリー財団のために求められる寄付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご意見・ご提案：

9. 上記の質問にない内容で、当クラブで始めたい、廃止したい、または継続したいことは何ですか。

セッション5 資料3

参加促すアイデア — ロータリアンの維持

課題：

ロータリーを退会する会員のうち、不本意な理由（死亡、転居など）で退会するのは約7%に過ぎない。

対策：

会員を惹きつけるアイデアを見つける。特に新会員は、地域社会に奉仕し、ネットワークを広げ、新しい友人を作るために入会したと考えられます。

私たちのアイデア：

バディ・システム

新会員と経験豊富な会員をメンターとして組ませ、新会員がクラブの雰囲気に対応し、「ノウハウを学ぶ」のを助ける。

RLI 仲間

新会員をRLIに派遣する費用をクラブが負担することを検討しましょう。

親睦委員会

新会員を委員会委員に任命し、全員が楽しめるような活動を行います！
地元のアトラクションやコンサート、演劇をグループで訪れるのもよいでしょう。
例会中に新しい楽しい行事を行うこともできます。

アドプト・ア・クラス*（出前授業）

地元の小学校と提携し、読み聞かせや指導などの活動を行う。

ロータリーミニット

すべての会員に、1分間の自己紹介をしてもらいます。
ロータリーの“ハッ”とした瞬間や、“あなたを知る”瞬間でもよい。

インターアクト

インターアクト・グループを結成するか、既存のクラブに参加する！

パーティープランニング

委員会を結成し、例会以外の社交行事を手配する。

職業ミニット

すべての会員に、自分の職業や職業分野に関する情報について短いプレゼンをしてもらいましょう。

あなたのアイデア：

【訳者注】**Adopt A Class***は、学校の教育に関するプログラムです。このプログラムは、学校の教育に関心を持つ企業や個人が、学校のクラスルームを「Adopt（承認、公認）」し、そのクラスルームの教育に貢献することを目的としています。このプログラムは、学生たちに職業に関する知識を提供し、彼らが将来のキャリアに向けて準備するのを支援することを目的としています。

セッション5 資料4

会員維持のための12のポイント

1. 会員サービス委員会の設置
2. クラブの会員参加の歴史及び会員維持率を調査測定する
3. 入会前のオリエンテーション・プログラムを準備する
4. 歓迎する一職務を割り当てる一会員に紹介する
5. メンターを選任し、教育プログラムの開発をする
6. 新会員の歓迎会を行う
7. 初年度の新会員の活動を記録する
8. 1年目以降 一 表彰と面談
9. 新会員が活躍する機会を奨励する
10. 会員の職業上の発展の機会を提供するネットワークを構築する
11. 退会の危険な兆候に注目し、参加促進に関する問題を解決する対策を講じる
12. 革新的であれ 一 私たちがクラブ会員であり続ける理由を強調する

セッション5 資料5

既成概念にとらわれない - クラブ例会の活性化！

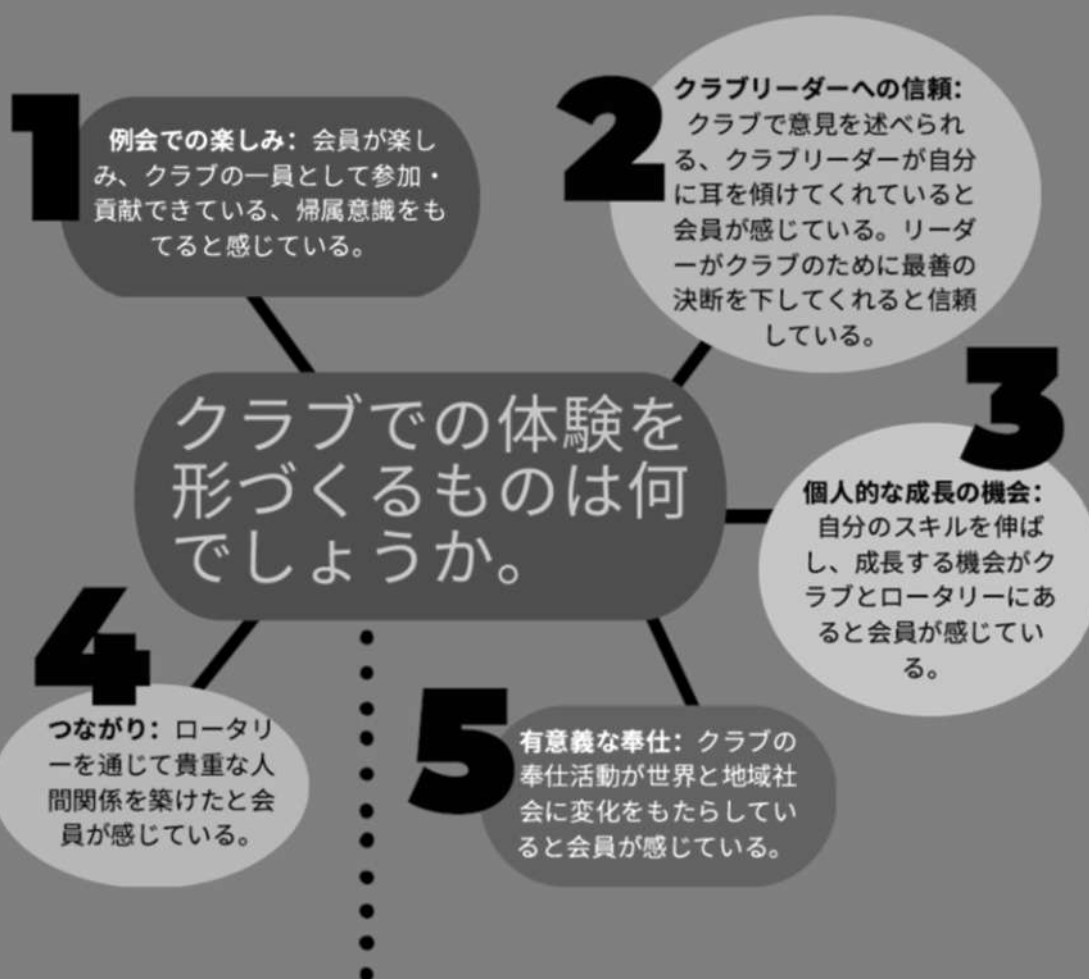
1. ロータリアンの配偶者、パートナー、あるいは子供たちに例会を運営してもらう。
2. 近隣のクラブの会長と交代してもらい、その会長に例会を担当してもらう。
3. 会場のレイアウトを全面的に変更する。
4. 通常の議題の順序を逆にする。
5. 新会員を招待して例会を企画 してもらう。
6. 会議の運営にプロのコーチを招く。
7. クラブを去った元会長を再び招き、長年のロータリーの変化を振り返ってもらう。
8. 例会を取りやめ、会員に地域の他クラブに出席してもらい、そのクラブがどのように運営されているかを見てもらい、アイデアを持ち帰ってもらう。
9. 例会にロータリーラーニングセンターのビデオを使用する。
10. 例会時間を変更する。
11. 職業能力開発に焦点を当て、会員がどのように事業を始め、どのような問題に直面したかについて語る。
12. クラブ例会で何が期待されるかを知ってもらうために、講演者に事前に渡す広報資料を作成する。(マーケティングのためでもある)
13. 正式な例会の代わりに地元企業を訪問する。
14. 予定されていた講演者が来なかった場合に備え、「予備のプレゼンテーション」を用意しておく。それは、ビデオでも、準備しているクラブ会員でも、簡単なプロジェクトでもよい。
15. 会員向けの「スピード・ネットワーキング」*イベントを企画し、地域社会の人々を招待する。
16. 芸術イベント、スポーツ大会、地元の学校の活躍など、地域の何かを祝う。
17. 例会の代わりに親睦会を開く。
18. スポーツ、博物館、美術館、演劇など、地域のイベントにグループで参加する。
19. 雑学コンテストをする。
20. ロータリーの月間テーマについて話し合う。

*スピード・ネットワーキング (Speed Networking) は、プロの連絡先を効率的に作成するための効果的な方法です。このイベントでは、異なる分野の多くの個人が集まり、プロフェッショナルな繋がりを築くことができます。スピードネットワーキングイベントは、異なる分野の多数の個人に人々がアクセスできるようにします。

セッション5 資料6

最も大切なのは「クラブでの体験」

ロータリーが最近行った調査によると、会員満足度を高める最も重要な要素はクラブでの体験であることがわかっています。



会員の関心とニーズに基づく体験を生み出すために、会員満足度アンケートを含む「会員増強のための評価ツール」をお役立ていただけます。

6 奉仕プロジェクトを創造する



私は、職業人のニーズを満たす世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。

セッションの目標

- あなたのクラブの奉仕プロジェクトをどのように立案し、遂行することができるかを学ぶ。
- 奉仕プロジェクトの成功を評価する方法を学ぶ

セッションの問い

1) あなたのクラブにおける、過去 3 年間の社会奉仕活動や国際奉仕活動の例を挙げてください。

- ① それは、どのような事業ですか。それは、いままでの事業と比較して何か創造的あるいは独創的な内容でしたか。それは、どういった理由から始められた事業ですか。
- ② そのための資金はどのようにして調達しましたか。
- ③ その事業に対し、クラブの会員はどのように関わりましたか。
- ④ その事業により、どのような成果が上げられましたか。その事業は今後も継続していく予定ですか。

*上記の質問に対する答えを意識することで、クラブの奉仕プロジェクトの全体像や課題を整理することができます。

2) もし、「あなたが奉仕プロジェクト委員長に任命されたら…」、どのような活動を実行してみたいとお考えですか。

地域のニーズや世界のニーズを捉えていますか。

新規性、創造性、独創性、実行可能性、クラブ会員の協力を得られるか、資金調達の可能性、被奉仕者への影響（事業の成功性）、継続性、持続可能性などを考慮して考えてみましょう。

まとめ

優れたロータリー奉仕プロジェクトには以下が必要です。

- 地域社会が特定した現在のニーズに応えること
- 創造性
- 持続可能性
- リスクをとること
- 新しいアイデア
- まだ必要とされている場合のみ、以前のプロジェクトを継続する。

セッション6 資料1 奉仕プロジェクトの事例

奉仕プロジェクトA

ロータリアンと地域社会のリーダーは、地元地域社会に10代の若者のためのレクリエーション施設や活動がないことを憂慮していました。何もすることもなく、ぶらぶらする場所もなく、10代の若者たちはショッピングモールや街の広場に集まっており、時々トラブルに巻き込まれたり、年配の人や他の10代の若者に嫌がらせをしていました。

ロータリアンたちは市長を訪ねましたが、市長は、10代の若者のためにもっとレクリエーション施設や活動が必要だが、町の予算からは若者のためのセンターのための、資金を提供できないことを認めました。町には、ある目的のために寄付するか、使用することができる建設用地があると市長は述べました。また、空き家となってる2部屋の学校もありました。ただ、それはもう何年間も使われておらず、あまり良い状態ではありません。10代の若者が使用するために、ことによると修理が必要になるかもしれません。

奉仕プロジェクトB

あなたのクラブの会員は、可能性のあるプロジェクトについて地域の厚生福利部門の責任者と話をしました。そこで、彼女は、自分の家の前まで、5、6歩を歩けないために、家での生活を大きく制限されている高齢の夫婦のことを話しました。また、彼らは寝室まで階段を上げられず、しばしばソファや床にまで寝てしまうこともありました。厚生福祉部門の責任者は、何とか、ロータリーにその夫婦を支援してもらえないかと尋ねました。

奉仕プロジェクトC

あなたのクラブの会員は、生徒にとっての重要な課題は何かを学ぶために、町の小学校で校長、先生、指導カウンセラーと話し合いました。残念なことに、多くの問題がありますが、教育者たちは、最も重要な問題は3年生のある者たちは読解力が著しく劣っており、また全く読むことができない者も何名かいることが最も大きな問題であると信じています。あなたのロータリークラブはこの学校に対して何ができるのでしょうか、またすべきでしょうか？もし、行うとするなら、何をしますか？

奉仕プロジェクトD

あなたのクラブの会員は、道路脇の生垣の草刈りが環境や地元の野生生物に与える影響を懸念しています。また、地元の小川の水質についても大きな懸念があります。地元の政治家に相談したところ、支持はしてくれるものの、具体的な計画はないとのことでした。これらの問題に取り組むために、ロータリークラブにできることは何でしょうか。

奉仕プロジェクト E

あなたは、地元地域の多くの高齢者が、自宅で一人暮らしをしているか、老人ホームに入所しているため、孤独な生活を送っていることを知りました。高齢者の多くは、社会に参加したくても参加できる場がありません。

また、地域社会には、やりたいことがなく、根無し草のように歩いている若者もいます。ロータリークラブとして、老人が参加でき、若者が有意義な活動を見つけられるような、若者と老人の共通の出会いの場を見つけるために、どのような貢献ができるでしょうか。

奉仕プロジェクト F

近年、祝日になると多くの若者が街に集まり、明らかにアルコールやその他の薬物の影響を受けています。何人かは 16 歳以下で、酒を飲んだり買ったりすることは禁じられています。

この前の祝祭日には、多くの若者が市街地に集まり、警察は否定的な若者文化に警鐘を鳴らし、このような日には市街地にもっと冷静な大人の模範となるよう呼びかけました。

ロータリーとして、中心市街地のマイナスの発展を防ぐために、また、より多くの高齢者に参加してもらうために、どのようなことができるでしょうか。

奉仕プロジェクト G

多くの若者は、中学校を卒業したら何を勉強するのか分からず、高校でどのようなコースを選ぶべきか迷っています。

ロータリアンの多くは、さまざまな職業で長い経験を積んでおり、職業生活での経験を若者に伝えることができます。

ある中学校が地元のロータリークラブに連絡を取り、若者が自分の目標を達成するためにどのような教育を選択すればよいのかアドバイスを受けることができるキャリアデイを開催することになりました。

ロータリークラブは、中学校と協力して、どのようにキャリアデイを開催できるでしょうか。

セッション6 資料2

奉仕プロジェクトについての質問

1. ロータリークラブは何か支援することができますか？
2. もしそうだとしたら、ロータリアンはその支援のためにどんな奉仕の実践ができるでしょうか？
3. どれくらい資金は必要でしょうか？
資金募集は？
4. プロジェクトはどのように計画されますか？
何が必要ですか？
5. プロジェクトはクラブの良い広報となりますか？
6. 会員はプロジェクトに” 夢中になる” ことができますか？
7. これは単年度のプロジェクトですか、あるいは継続プロジェクトですか？
8. 他の地域社会のリソースが何か利用できますか？あるいは他の組織を巻き込むべきですか？
9. プロジェクトを前進させるために必要な手順は何でしょうか？

我々を必要とする人々に奉仕をするために捧げる時間は、奉仕される人たちの生涯の分岐点だけでなく、我々自身の生涯における分岐点ともなります。

1980～81年 RI 会長 Rolf Klarich
時間を捧げよう奉仕のために

The Rotarian 1980年7月

セッション6 資料3

ジョン・コッターの変革を導く8つのステップ

<https://www.kotterinc.com/methodology/8-steps/>

1. 危機感を醸成する

大胆で意欲的な機会を達成するために、情熱と目的を持って行動するよう、人々を鼓舞する。

機会を与える。説得力のある（そして明確な）未来のビジョンを共に追い求めようという気運を高める。未来のビジョンと一緒に追い求める気運を高める。

2. 指導的連携を築く

ボランティア・ネットワークには、それを指導し、調整し、活動を伝える、献身的な人々の連合組織（仲間から生まれる）が必要である。

3. 戦略的ビジョンの策定

未来が過去とどう違うのかを明確にし、ビジョンに直結した取り組みを通じて、その未来を実現する方法について賛同を得る。

4. ボランティア“軍団”を集める

大規模な変革は、大勢の人々が共通の機会を求めて結集したときにのみ起こりうる。個人レベルでは、積極的に貢献したいと思わなければならない。集団としては、共に目標を達成しようとする一体感が必要である。

5. 障害を取り除くことで行動を可能にする

物事を遅らせたり、前進を阻む障害物を取り除く。人々がイノベーションを起こし、組織内の壁を越えて機敏に働き、迅速にインパクトを生み出せるようにする。

6. 短期的な成果を生み出す

勝ちの結果の分子である。進捗状況を把握し、ボランティアに活力を与えて継続させるためには、このような成果を認識し、収集し、早い段階で頻繁に伝えなければならない。

7. 持続的な加速

「困難な変化において成功を確実にする方法は... どのステップも学習も省略しないことである」

8. 変化を定着させる

新しい行動と組織の成功とのつながりを明確にし、古い習慣に取って代わるほど強くなるまで継続させる。システムとプロセスを評価し、マネジメントの実践が、投資した新しい行動、考え方、仕事のやり方を強化することを確認する。

セッション6 資料4

Toxic Charity by Robert Lupton A Synopsis 『有害な慈善活動』ロバート・ラプトン著 あらすじ

有害な慈善活動

『有害な慈善活動』はボブ・ラプトンが 2011 年に出版した本である。出版当時、ボブ・ラプトンと妻のペギーはアトランタに 40 年近く住み、働いていた。ボブが設立した組織は当初、ファミリーコンサルテーション・サービスと呼ばれ、制度的不正の影響を色濃く受けたアトランタの近隣地域の活性化に取り組んでいた。

アトランタで隣人たちとともに暮らすうち、ボブは多くの慈善活動が、よくても役に立たず、最悪の場合、まさに品位を落とすものであることに気づき始めた。同時に彼は、慈善活動のために近所にやってくる人々は皆、正しい場所に心を置いていることを知っていた。彼らの多くは本当に助けたいと思っていた。彼らはただ、自分たちのしていることが有害だということを知らなかっただけなのだ。

ボブは、ほとんどが白人で、ほとんどが中流階級や上流階級で、ほとんどが高学歴で、圧倒的にクリスチャンである仲間たちに、何が起きているのかという現実を説明するために『有害な慈善活動』を書いた。彼は彼らに、自分たちのチャリティの真の効果を知ってもらい、新しいモデルを提供したかったのだ。

有害な慈善活動とは何か

有害な慈善活動の核心は、一方的な危機救済を通じて、慢性的に続く貧困に対処しようとしていることである。おもちゃのプレゼント、学用品の配布、食料配給所などのような一般的な慈善モデルは、資源の移転に焦点を当てた短期的な解決策の例である。

こうした慈善活動が扱う問題は、より広く、より大きく、より体系的なものである。その結果、一方的な慈善が根本的な問題を解決することはほとんどなく、一方的な授受が繰り返されることになる。

残念なことに、有害な慈善活動は、与える側と受け取る側に関する思い込み、すなわち、受け取る側の核心的な問題は、アイテムやリソースが「不足している」ことであり、それらを提供してくれる誰かを「必要としている」ことである、という考えを強化することになりかねない。このパラダイムは、低所得者はお金の管理方法を知らないとか、十分に働いていないというような、より深い偏見を助長する可能性がある。

有害な慈善活動は、「与える側」や「与えるプログラム」が、与える相手と地理的・関係的にほとんど結びつきがない場合、さらに危険なものとなる。手当てをするために近所に通うことは、尊厳と信頼に基づいた関係を形成することを難しくする。

よくある有害な慈善活動の間違い

私たちは毎日、本当に変化を起こそうとしているチェンジメーカーたちと話をしている。

ここでは、よくある有害な慈善活動の間違いをいくつか紹介しよう：

リソースの移転にのみ焦点を当てる

時には、少し威厳のある方法でだけ、資源を移転しようとする誘惑に駆られることがあります。例えば、子どもたちにクリスマスプレゼントを配ることは、親にとって本当に恥ずかしいことであり、それは有害な慈善活動であることに気づいたチェンジメーカーに出会ったことがある。そこで彼らがとった次のステップは、クリスマスショップを開催し、親たちが子供たちのためにおもちゃを選び、ラッピングして子供たちに渡すというものだ。これは絶対に改善されたモデルであり、私たち自身も毎年『Pride for Parents』で利用している！

重要なのは、おもちゃ屋が物質的なニーズを解決するものではないことを知っていることだ。資源譲渡は健全なエコシステムであり、組織が関与するための方法であることは間違いないが、それ自体、私たちが追求している解決策ではない。このおもちゃ屋だけが、アトランタ歴史地区サウス・アトランタに私たちが協力する唯一の方法ではないのだ。

関係性のない開発へのシフト

近接性、つまり感情的、物理的、地理的に、仕事をしたい地域と一体化することは、絶対に不可欠である。変化は信頼のスピードで進む。近隣との関係を築くことなしに、信頼関係を築くことは不可能だ。耳を傾け、学び、理解しようとする時間がなければ、関係は浅いものになる。人間関係に投資することなく、その場所の制度的な現実を変えたいと思うこともあるだろう。しかし残念なことに、近隣住民と協力することなく制度的なレベルで活動することは、住民の同意なしに開発を行うようなものだ。新しい道路や企業を建設することは素晴らしいことかもしれないが、地域社会の賛同なしに完成させた場合、それが変化をもたらすことはほとんどなく、害をもたらす可能性さえある。

隣人の有害性を見極める

私たちは誰でも偏見を持っている。信頼できるパートナーになるためには、それを疑うことが重要である。私たちが見てきたよくある間違いのひとつは、変革者が自分自身の心を変えることなく、彼らのモデルを変えようとするることである。隣人や近隣に欠陥があると見なしたまま、変化を起こそうとする人々も見てきた。有害な慈善は、受け手が貪欲であったり怠け者であったりするから有害なのだという結論に達する人たちと、私たちは厳しい会話を交わしました。このような偏見は、信頼と真のパートナーシップの邪魔になる。このような信念は、地域の歴史や制度的不正の現実を無視する傾向もあります。私たちはすべての人に、自分の中にあるバイアスを検証し、制度的不正の歴史を検証するよう勧めている。私たちは皆、ある人を抑圧し、ある人を有利にするシステムの一部なのです。私たちは皆、自分が持っている偏見や思い込みを学んでいるのです。それは旅路なのです！



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2023 - 25

パート II

RLI パートⅡ — 私たちのクラブ 目 次

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムですが、公式なプログラムではありません。

私たちの使命： ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。



1. 成功に導くための計画 (Planning for Success) ……55
洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。自クラブを良く見ることによって、問題の改善にどのように関わることができるでしょうか。



2. 会員を勧誘する (Attracting Membership) ……72
貴方のクラブの地域における特徴的な位置づけや、貴方のクラブが惹き付ける会員の特性を再評価するよう勧めましょう。会員は、クラブの中の最良の会員と一緒に活動したいと思っています。



3. チーム作りとクラブコミュニケーション (Team Building & Club Communication) ……79
クラブ会員や地域の会員候補者に対する効果的なコミュニケーションを促進します。あなたの技能に磨きを掛けてください。私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対して私たちのクラブとの協働を促進することができます。



4. ロータリー米山記念奨学事業 (Rotary Yoneyama Memorial Foundation) ……88
日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。



5. ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕 (Targeted Service) ……92
ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することができます。財団のプログラムの重要な概念を理解しましょう。



6. 強いクラブを創る (Building A Stronger Club) ……99
私のロータリーの旅を進めるに従い、私はロータリーの約束を実現することに手を貸すことができます。

1 成功に導くための計画

洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。



セッションの目標

- 戦略計画の価値とプロセスを理解する。
- 自クラブを分析する。
- 改善点を検討する。
- 具体的な改善方法について話し合う。

セッションの問い

- 1) あなたの地域において、あなたのクラブの強み、弱み、個性、独自性はどのようなものだとお考えですか？（資料 5 : P61）

- 2) あなたのクラブの問題点や課題をお聞かせください。（資料 5,6 : P61～71）

- 3) あなたのクラブは、将来像やビジョンをお持ちでしょうか？（資料 3,4,5 : P58～63）

- 4) あなたのクラブの戦略計画の効果的な立案プロセスを考えてみましょう。（資料 2 : P57）

まとめ

- 今、計画を立てることで、未来が決まる。
- すべて会員の声聞くべきである。

**「ビジョンなき行動は無意味であり、行動なきビジョンは夢でしかない。
ビジョンのある行動は世界に希望をもたらす」**

1996-97 年度 RI 会長、ルイス・ビセンテ・ジアイ
- 1996 年ロータリー国際大会での講演、
カナダ、アルバータ州カルガリー

セッション1 資料1 SMARTゴール

S Specific 具体的な

M Measurable 測定可能な

A Attainable 達成可能な

R Relevant 適切な

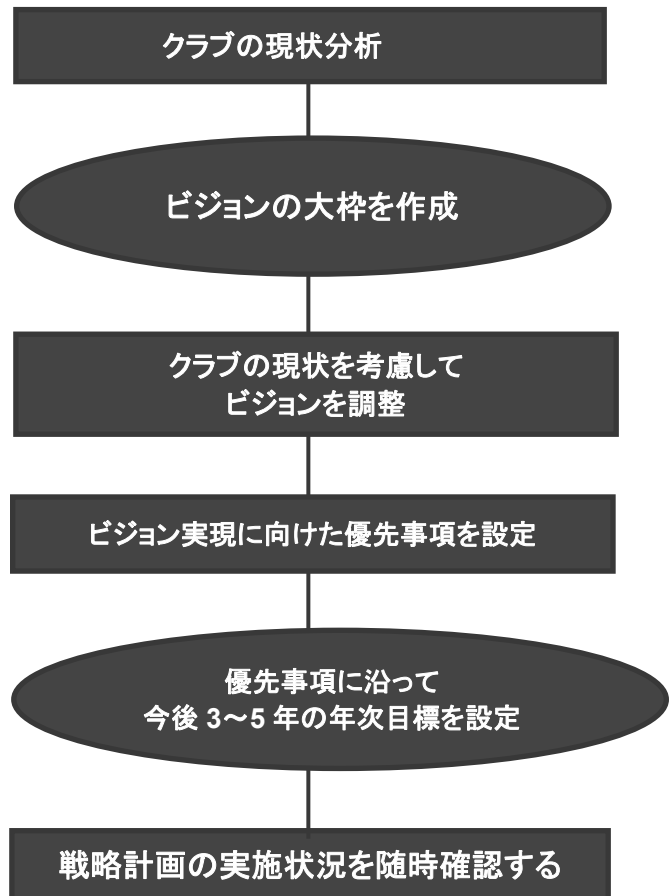
T Time Stamped 期限がある

セッション1 資料2

戦略計画の作成と実施のプロセスの概要

戦略計画立案モデル

戦略計画の立案は、まずクラブのビジョンとその実現に向けた優先事項の設定から始まります。次に、優先事項を達成するための年次目標を定めます。



セッション1 資料3 戦略計画立案のワークシート

戦略その1： より大きなインパクトをもたらす	
科学的根拠に基づくプログラムは、私たちのインパクトを定義し、測定します。 プロジェクトと成果を改善し、より効果的な変化を生み出します。	
戦術	初年度の目標

戦略その2： 参加者の基盤を広げる	
私たちは、さまざまな経験、文化、考え方を持つ行動的な人々を歓迎し、参加させることによって、クラブのよいことを行う能力を拡大することができます。	
戦術	初年度の目標

戦略その3： 参加者の積極的なかかわりを促す

私たちは、会員の多様なニーズに応え、個人的な目標や仕事上の目標を達成する手助けをしながら、会員の参加意欲を維持することができます。会員の積極的かつ意図的な参加によってクラブは強化され、有意義な関係を築くことができます。

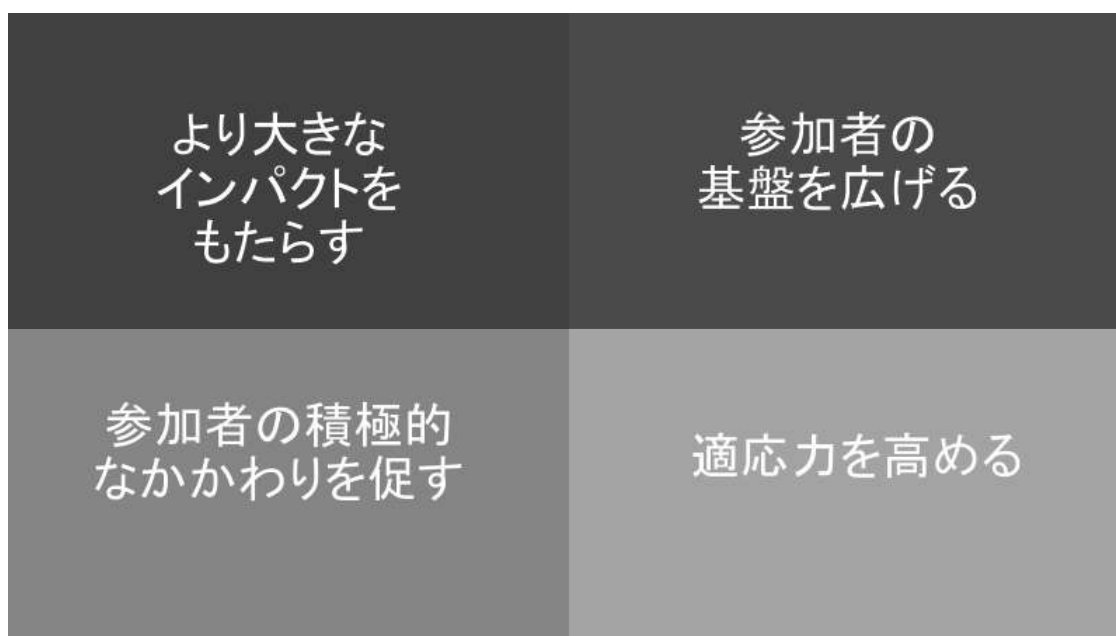
戦術	初年度の目標

戦略その4： 適応力を高める

新しいプロジェクト、新しいクラブ、新しい視点は、私たちのつながりを維持し、変化をもたらす能力を維持する。

戦術	初年度の目標

セッション1 資料4 行動計画の4つの優先項目



各活動を、ロータリー行動計画の4つの「戦略」のいずれかに当てはめます。

現時点でのクラブのニーズや抱負に最も適しているのはどれか、あるいは、クラブのビジョンに最も適しているのはどれか。

該当する場合は、クラブのニーズや願いに合うよう、提案された活動のいずれかを修正し、4つの戦略のいずれかと関連付けます。

1. 地域社会の主な問題／関心／ニーズを特定する。
2. クラブが新しい技術を利用しているか（または利用していないか）を確認する
3. 会員にアンケートを実施し、クラブでの体験で何が重要かを確認する
4. クラブが地域社会によりよく対応できるよう、新しいアイデアや 取り組みを予算化する
5. ロータリークラブ例会の一環として、ロータリーラーニングセンターのコースを利用する。
6. ソーシャルメディアを活用して、クラブの活動を地域社会に伝える
7. プロジェクトを支援するために、地区補助金やグローバル補助金に申請する
8. クラブの活動を見直し、どの活動を効率化または廃止すれば、影響力のある活動に時間を割くことができるかを判断する
9. 利用可能な柔軟なモデルのいずれかを利用して新クラブを設立することを念頭に、地域社会を調査する。
10. クラブの後継者計画を年次プロセスの一部とする。

セッション1 資料5：戦略計画ガイド（SWOT）

このガイドは、クラブのビジョンを支える長期的な優先事項と目標を設定するのに役立ちます。ロータリークラブ用に作成されたものですが、地区も利用することができます。戦略計画を立てる際には、以下のヒントを参考にしてください。

- クラブの元指導者、現指導者、次期指導者から成るチームを結成し、計画の立案と活用を監督してもらおう。
- 公平なファシリテーターに戦略計画会議の運営を依頼する。
- 多様なクラブ会員を参加させ、多様な視点を取り入れる。
- クラブの目標が、地区やロータリーの長期計画にどのように反映されているかを確認する。

戦略計画ワークシート

1. 現在の状況。

地域社会が直面する機会と課題を挙げてください。

クラブの現状を確認する際には、「ロータリークラブセントラル」、「クラブの健康診断」、「会員増強評価ツール」、「地域別クラブ評価ツール」などを活用してください。

クラブの現状を確認する際には、「ロータリークラブセントラル」、「クラブの健康診断」、「会員評価ツール」、「元気なクラブになろう」（地域版）を利用し、クラブの良い点や改善点を確認します。

クラブの強み	クラブの弱み
地域社会における会員増強の機会 (新規産業、人口増加)	地域社会が直面する課題（経済の衰退、競合するサービスなど）

2. どのようなクラブになりたいですか？

今から3～5年後、クラブが備えてほしい特徴を5～10個挙げてください。
次に、一文のビジョン声明を発表します。必要に応じてチームで修正し、クラブ会員がそれを支持するかどうかを確認します。(例：「私たちのビジョンは、地域社会で最も国際的に多様な奉仕クラブになることです」、「私たちのビジョンは、地域社会で最も青少年を支援する奉仕クラブになることです」など)。

3. どのようにしてそこに到達するのか。

- クラブのビジョンを達成するための戦略的優先事項を設定します。
 - クラブの強みと弱み
 - RI 長期計画の目標、地区の目標、地域会員の目標
 - 国際ロータリーとロータリー財団のプログラムと使命
 - 地域社会の機会と課題
 - 会員の意見
 - 3～5年後の達成可能性
- クラブがビジョンに向かって活動する上で、最も大きな影響を与える優先事項を選びます。
- 最優先事項を支える年間目標を特定する。
- 各戦略的優先事項の下で、年度目標を達成するために必要な作業や活動、スケジュール、リソース、人材をリストアップする。
- 目標の設定と達成状況の確認には、ロータリークラブセントラルをご活用ください。

戦略的優先事項 1: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 2: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 3: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 4: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

4. 進捗状況はどうですか？

- 戦略計画チームに、目標達成の進捗状況を定期的に監視させ、必要に応じて計画の更新を提案させる。
- ビジョン声明や優先事項を含め、戦略計画を毎年クラブ会員とともに見直し、修正を希望するかどうかを確認する。
- クラブの決定事項が計画の目標を支援していることを確認し、その結果について戦略計画チームと話し合う。
- 計画を達成するために十分なリソースを配分する。
- 3～5年ごとに戦略計画のステップを繰り返し、新しい計画を作成するか、現在の計画を維持します。

セッション1 資料6

戦略計画とクラブの分析

(8ページ)

ロータリークラブ 自己評価表

この書式は自己評価を行い、あなたのクラブの現在の実績(成果)と運営を再検討するためのものです。決して、あなたのクラブを『採点』するためのものではありません。むしろ、あなたのクラブの強みを発見し、改善できる余地を確認するメカニズムを提供することです。多くの質問によって、合理的な評価が得られます。質問に対して、四つのテストに従って最適な判断でお答えください。

クラブ管理

スコア

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

1. 私の所属するクラブはクラブリーダーシッププランを導入している _____
2. 各会員の閲覧が可能な細則がある _____
3. クラブ理事会のメンバーは定期的に会議を開いている _____
4. クラブは短期・長期の活動計画を持っている _____
5. クラブはメールアドレスを持っている又は最新の情報を載せたウェブサイトを持っている _____
6. 国際ロータリー公式名簿がある _____
7. 役員・会員・委員会・委員長の名簿がある _____
8. クラブは年度を通じて会員とパートナーの為のイベントを計画している _____
9. 欠席の続いている会員や病気の会員に積極的に連絡を取っている _____
10. 過去3年の間にクラブ優秀賞(旧会長賞)を受賞した _____
11. 会員が承認した年間予算がある _____
12. 最低年1回は収入支出に関する報告書を受け取っている _____

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

13. クラブ例会の開催場所や開催地域は _____
14. 例会中に出される食事は _____
15. 通常の例会のスピーカーやプログラムの質は _____
16. 例会は定刻に始まり、定刻に終わり、例会プログラムの使用は _____
17. 理事会はクラブに対し理事会報告をする _____
18. 会員に対する重要なロータリーの情報伝達は _____
19. 会員のクラブ負担金の支払いは _____
20. 地区や国際ロータリーの負担金の支払いは _____
21. クラブニュースレターやクラブ会報の情報とその内容は _____
22. クラブの使用する音響システム、講演台、装飾、旗、バナー、その他ロータリーの備品は _____
23. 定期的な会合や、理事会あるいは会員への報告に関するクラブ委員会システムの運用は _____
24. 地区協議会、地区大会、国際大会や特別な会議についてのクラブのプロモーションは _____

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

- 25. RI テーマや RI 会長のメッセージと強調事項のクラブでの活用は _____
- 26. 来訪ロータリアンに対する挨拶やもてなしは _____
- 27. 例会時のゲスト紹介は _____
- 28. クラブ協議会での情報と話題の質は _____
- 29. 地区ガバナーの公式訪問時のクラブの待遇と歓迎は _____
- 30. ロータリーソングの歌唱は _____
- 31. クラブ内でのロータリー精神や友愛の程度は _____
- 32. 出席表彰などの個人表彰に対するクラブの努力は _____
- 33. 会員は毎週異なるテーブルに座る _____
- 34. 会員の特別なイベントや誕生日に関するクラブの配慮は _____

次の中から当てはまるものを選択してください：

- 35. 私たちのクラブはスピーカーを 毎週(5点)、毎月(3点)、一度もなし(0点) 迎えている _____
- 36. クラブニュースレターは 毎週(5点)、2週間に1回(3点)、毎月(1点)、一度もなし(0点) 発行している _____
- 37. クラブ協議会を 毎月(5点)、年に4回(3点)、年に2回(1点)、一度もなし(0点) 開催している _____
- 38. 国際ロータリーの“出席”に関する規定を 常に(5点)、たいてい(4点)、時折(3点)、たまに(2点)、一度もなし(0点) 守り、実施している _____
- 39. 会員は欠席に対するメイクアップを 常に(5点)、たいてい(4点)、時折(3点)、たまに(2点)、一度もなし(0点) 実施している _____
- 40. クラブは出席率 100%の会員に対する表彰を 定期的に(5点)、時折(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点)行っている _____
- 41. 私のクラブは地区ガバナーの候補者を 過去 1~5年の間に(5点)、6~10年の間に(4点)、11~15年の間に(3点)、16年以上前(0点)、知らない(DK) 輩出している _____
- 42. 私のクラブはガバナー補佐を 過去 1~5年の間に(5点)、6~10年の間に(3点)、一度もなし(0点)、知らない(DK) 輩出している _____
- 43. 前回の国際大会に私のクラブから次の会員が出席した。5名以上(5点)、3~4名(4点)、1~2名(2点)、0名(0点)、知らない(DK) _____
- 44. 前回の地区大会に私のクラブから次の会員が出席した。10名以上(5点)、5~9名(4点)、2~4名(3点)、1名(2点)、0名(0点) _____
- 45. 直近の地区研修・協議会に私のクラブから次の会員が出席した。5名以上(5点)、2~4名(3点)、1名(1点)、0名(0点)、知らない(DK) _____
- 46. 地区の主催する特別なイベント(例；セミナー、奉仕活動)に私のクラブから通常 10名以上(5点)、5~9名(3点)、1~4名(1点)、0名(0点) 出席している _____
- 47. 会長エレクトは PETS に いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) 出席している _____

※Q1~47までの点数を計算して下さい(各5点)

クラブの管理 _____ 点
DK(わからない) _____ 数

会員増強

スコア

次の中から当てはまるものを選んでください：

1. 例会の月平均出席率は 90-100%(5点)、80-89%(4点)、70-79%(3点)、60-69%(2点)、50-59%(1点)、知らない(DK) _____
2. 会員の平均年齢は 35-40歳(5点)、41-50歳(4点)、51-60歳(3点)、61-70歳(2点)、71歳以上(1点)、知らない(DK) _____
3. 今年の会員数は増加した(5点)、同じ(3点)、減少した(0点)、知らない(DK) _____
4. 今年の会員数の見込みは増加する(5点)、同じ(3点)、減少する(0点)、知らない(DK) _____
5. 新クラブ設立の支援を 過去 1~3年以内(5点)、4~8年以内(4点)、9~12年(2点)、知る限りない(0点)、知らない(DK) 行った _____
6. 会員が他の土地に転勤したときはいつも(5点)、時々(3点)、一度もなし(0点) 転勤先近くのロータリークラブに知らせている _____
7. 新会員がクラブで活動し易いようにいつも(5点)、時々(3点)、一度もなし(0点) 支援している _____
8. クラブは会員候補者を発掘するために しばしば(5点)、時折(4点)、たまに(2点)、一度もなし(0点) 茶話会や飲み会などの特別な親睦会を行っている _____
9. クラブは いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリーの基金集めやイベントの際、ロータリーに参加する情報や資料を持っている _____

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

10. クラブに対して定期的に報告を行う会員増強委員長がいる _____
11. クラブは会員の職業分類制度を利用している _____
12. クラブには会員の関心事項調査の用紙がある _____
13. クラブは新会員の関心のある事項に基づき、委員会への配置を行う _____
14. クラブは達成可能な無理のない会員増強の目標を毎年定めている _____
15. クラブは“メンター”プログラムを利用している(新会員に対して教育役をつけている) _____
16. 新会員用の入門キット(入門資料一式) がある _____
17. 新会員が歓迎されたと感じるクラブ特有のプログラム(レッドバッジ、歓迎会など)がある _____
18. 新会員のためのオリエンテーション会合を行う _____
19. クラブは新会員が RLI に出席する際、経費を負担する _____
20. クラブは退会する会員に対し“退会時面接”を行って理由を聞いている _____
21. クラブは通常新会員に対し友人などをロータリークラブに紹介してもらうよう依頼している _____
22. 会員でないスピーカーを招き、ロータリーについての情報を提供している _____

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

- 23. 会員増強に対するクラブのプロモーションは _____
- 24. クラブの職業分類リストの活用は _____
- 25. 地域における事業種別と人口に対するクラブ会員のバランスは _____
- 26. クラブの人種や性別或いは民族を問わず、質のよい会員を加入させる努力は _____
- 27. 新会員のためのオリエンテーション会議の内容は _____
- 28. 新会員入会時の入会式の内容は _____
- 29. クラブの指南役（教育役）プログラムの内容は _____
- 30. クラブは会員維持のための特別なプログラムを持っている。その内容は _____
- 31. 地区会員増強セミナーへのクラブの出席は _____
- 32. すべての会員にむけての RLI 参加への奨励は _____
- 33. 総合的にクラブの会員増強と退会防止への取り組みは _____

※Q1～33までの点数を計算して下さい（各5点）

会員増強 _____ 点
DK(わからない) _____ 数

ロータリー財団について 1～21 まで _____ スコア

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

- 1. クラブは財団の委員長を有し、会員に定期的に財団活動の報告を行っている _____
- 2. 毎年、寄付金の目標を設定し達成している _____
- 3. 各会員にポール・ハリス・フェローになることを奨励している _____
- 4. 会員のロータリー財団への寄付にクラブがマッチングをする _____
- 5. 新しくポール・ハリス・フェローになった人のために特別のプレゼンテーションを行っている _____
- 6. ポール・ハリス・フェロー全員の名簿を配布している _____

当てはまるものに、○をしてください：

- 7. ほとんどすべての(5点)、多くの(4点)、何人かの(3点)、ほとんどない(2点)、0名(0点)の会員は、R財団に送る寄付金が3年後に地区に還元されることを知っている _____
- 8. ロータリー財団の情報は 毎月(5点)、3ヶ月に1回(3点)、半年に1回(1点)、一度もなし(0点) 報告されている _____
- 9. すべての(5点)、ほとんどすべての(4点)、多くの(3点)、何人かの(2点)、ほとんどない(2点)、0名(0点)の会員はポール・ハリス・フェローのことを知っており、どのようにしてその一員になるのかを知っている _____
- 10. ほとんどすべての(5点)、多くの(4点)、何人かの(3点)、ほとんどない(2点)、0名(0点)の会員は、EREYプログラムに参加し寄付を行っている _____
- 11. 私のクラブは、過去1～3年(5点)、過去4～6年(3点)、知る限りない(0点)、知らない(DK)の間にVTTチーム、財団奨学生、又は世界平和フェローの支援を行った _____
- 12. 私のクラブは来訪VTTチームを過去1～5年(5点)、過去6～8年(3点)、知る限りない(0点)、知らない(DK)の間にホストした _____
- 13. 私のクラブは国際パートナーと共にグローバル補助金の申請を、過去1～3年(5点)、過去4～6年(3点)、知る限りない(0点)、知らない(DK)行った _____

14. 私のクラブは地区補助金の申請を 過去 1 年以内(5 点)、過去 2～3 年(3 点)、知る限り
ない(0 点)、知らない(DK) 行った _____
15. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない
(2 点)、0 名(0 点) は、ポール・ハリス・フェローである _____
16. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない
(2 点)、0 名(0 点) は、毎年財団への寄付を継続している _____
17. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない
(2 点)、0 名(0 点) は、R 財団の遺贈友の会のメンバーである _____
18. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない
(2 点)、0 名(0 点) は、R 財団のベネファクターである _____
19. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない
(2 点)、0 名(0 点) は、ポール・ハリス・ソサエティーのメンバーである _____
20. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない
(2 点)、0 名(0 点) は、メジャードナーである _____
21. クラブの現 PHF の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんど
ない(2 点)、0 名(0 点)は、引き続いて R 財団に寄付を行っている _____

※Q1～21 までの点数を計算して下さい (各 5 点)

R 財団	_____	点
DK(わからない)	_____	数

奉仕プロジェクト

スコア

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

1. 職業奉仕を推進するクラブの姿勢は _____
2. クラブと地域における 4 つのテスト (4-Way Test) の推進は _____
3. 地域の学校において学生が職業選択をする場合、これを支援するクラブの職業開発プ
ログラムの活用は _____
4. クラブと地域において、高い倫理基準、専門職の尊厳または奉仕活動の実践を進める
クラブの努力は _____
5. 毎年新しい地域奉仕活動を行っているクラブの努力は _____
6. 毎年新しい国際奉仕活動を行っているクラブの努力は _____
7. 奉仕活動への会員の資金・人材・資源の活用は _____
8. 奉仕活動へのコミュニティーリーダーからの資金・人材・資源の活用は _____
9. 地域や国際的な奉仕活動に対するクラブの活動について _____
10. クラブが**過去 3 年の間**に行ったプロジェクトがあった場合、3 点を加えて下さい。
クラブは次の分野のプログラムやプロジェクトを行った。
 - 薬物使用の予防とリハビリに関する支援 _____
 - ポリオ根絶と地域の免疫に関する活動 _____
 - 環境保護活動 _____

- 識字に関するプロジェクト _____
- きれいな水に関するプロジェクト _____
- 飢餓問題に関する支援 _____
- 障害者・高齢者サポートに関する支援 _____
- 地域や世界に対する保健・医療に関する支援 _____
- 地域再建に関する支援 _____
- 貧困地域に関する支援 _____
- 地域社会における経済的、社会的な生活の質の向上 _____
- 職業訓練に関する支援 _____
- 青少年指導育成に関する支援 _____
- ローターアクトあるいはインターアクトの設立と支援 _____
- 通常のプロジェクトで他の奉仕団体との共同活動 _____
- 通常のプロジェクトで他の RC との共同活動 _____
- 学力向上に関する支援 _____
- 交通安全や高速道路の安全に関する支援 _____
- 動物保護に関する支援 _____
- 災害援助プログラムやプロジェクト _____
- その他 _____

Q10 合計点 _____

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

11. 財団の奉仕プログラムを支援するため、クラブは種々の募金活動を行っている _____
12. 財団の奉仕プログラムへの募金は主に会員の寄付に依存している _____
13. クラブは過去 2 年間に国際奉仕プロジェクトに参加している _____
14. クラブは青少年交換プログラムに参加している _____
15. クラブは青少年交換の学生を例会に招いている _____
16. 通常、会員は来日の青少年交換学生に対してホストペアレントのように振舞っている _____
17. クラブは青少年交換プログラムに義務付けられた『人物経歴調査』を制定し、協力する計画がある _____
18. クラブは優秀な学生又はリーダー的な学生を顕彰している _____
19. クラブは毎年少なくとも 1 つのグローバル補助金プロジェクトを支援している _____
20. クラブは国連本部で行われる Rotary UN (国連) day に参加している _____
21. クラブは過去 3 年の間、ロータリー友情交換に参加している _____
22. クラブは過去 3 年の間に、世界で 1 つ以上のロータリークラブとのツイン都市クラブプロジェクト、姉妹クラブプロジェクト又はマッチドクラブプロジェクトなどに参加した _____
23. クラブは過去 3 年の間に、RYLA に学生を派遣した _____

※Q1~23 までの点数を計算して下さい (各 5 点)

奉仕活動 _____ 点
DK(わからない) _____ 数

ロータリーの広告と広報

スコア

1. クラブは地元メディアに対し、いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリー活動の記事や写真などを提供している _____
2. クラブは いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリー活動を広報するため公共のメディアを利用している _____
3. 会員は いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリーピンを着用している _____
4. クラブは例会の日時や場所を書いた 多くの(5点)、いくつかの(3点)、1つの(1点)、なし(0点) 看板を設置している _____
5. 他の組織に資金提供をする際、相手に いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) 地元メディアに寄付を公表するよう要請している _____

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

6. クラブは例会場に“ロータリー例会場はこちら”という看板を置いている _____
7. クラブは過去 2 年の間に看板・新聞・地域パンフレットなどを利用し、広報活動を行っている _____
8. 昨年、会員は地元のラジオやテレビの取材を受けたことがある _____
9. クラブにはメディアの職業分類をもつ会員がいる _____
10. クラブは、広報用のクラブの紹介とその活動を記載した小冊子がある _____
11. 地域奉仕プロジェクトが完了した際、ロータリーロゴとクラブ名がわかるものを設置している _____

※Q1～11 までの点数を加算して下さい (各 5 点)

ロータリーの広報 _____ 点
DK(わからない) _____ 数

ボーナス質問 (1～6 まで評価：はい—5点 いいえ—0点)

1. 私は毎月ロータリー地域雑誌 (ロータリーの友) を購読している _____
2. 私はガバナー月信を受け取りこれを読んでいる _____
3. 私は過去 2 年の間に新会員を紹介した _____
4. 私は R 財団の SHAER システムを理解している _____
5. 私はポール・ハリス・フェローであり、継続して寄付している _____
6. 私は過去 2 年の間に奉仕活動に参加するか、または奉仕活動への寄付を行った _____
7. 私はクラブ又は地区又は RI ウェブサイトを 毎日(5点)、毎週(4点)、毎月(3点)、時に(2点)、一度もない(0点) 見ている _____
8. 私は例会欠席時のメイクアップを 毎回(5点)、時々(3点)、一度もなし(0点) 行っている _____
9. 私は地区委員を 過去 1～5 年(5点)、過去 6～10 年(3点)、それ以前又は一度もなし(0点) の間に務めた _____
10. 地区大会・国際大会に 昨年(5点)、過去 2～5 年(3点)、5 年以上前(1点)、一度もなし(0点) 出席した _____
11. R 財団に 昨年(5点)、過去 2～3 年(3点)、4 年以上前(1点)、一度もなし(0点) 寄付を行った _____

※Q1～11 までの点数を計算して下さい

ボーナス質問 _____ 点
DK(わからない) _____ 数

各合計

クラブ管理 (質問 47)	_____ / 235 点	DK 数 _____ / 38
会員増強 (質問 33)	_____ / 165 点	DK 数 _____ / 29
R財団 (質問 21)	_____ / 110 点	DK 数 _____ / 10
奉仕活動 (質問 23)	_____ / 173 点	DK 数 _____ / 22
ロータリー広報 (質問 11)	_____ / 55 点	DK 数 _____ / 6
ボーナス質問 (質問 11)	_____ / 55 点	

総合計 _____ / 793 点
総 DK 数 _____ / 105

評価

700 点以上	最優秀
600 点～699 点	優秀
500 点～599 点	普通
400 点～499 点	努力が必要
300 点～399 点	注意：クラブとして援助が必要かもしれません
300 点以下	早急な援助が必要です

DK (Don't Know) が多くても自分で点数を調整したりしないでください。点数はあくまで参考です。

1-10 DK's	普通
11-20DK's	注意—もう少し自身のクラブに注意を向けましょう
21-35 DK's	危機—自身のクラブについてもっと知る必要があります
36 以上	絶望—新加入の会員であれば別ですが、自身のクラブについて全くとい (容認できない) っていないほど知識がありません。しっかり勉強してください。

これはあなたのクラブに対する非科学的で非加重調整していない分析結果で、この結果はあなたやあなたのクラブが欠けているものを確認するためのみに使用してください。クラブやロータリアンの活動にマイナスの影響を与えると捉えるべきではありません。

2 会員を勧誘する



私たちのクラブが所在する地域社会における、クラブに対する特徴的な見方を再点検していくと共に、新会員を勧誘するためにクラブ会員の質を高めていきます。

セッションの目標

- よいロータリアンの特性を定義する。
- どうしたら、私たちのクラブがよいロータリアンを勧誘することができるかを探る。

セッションの問い

- 1) あなたのクラブにとって「よいロータリアン」とはどのような特性を持った人でしょうか？
- 2) 潜在的な「よいロータリアン」を私たちの住む地域社会のどこで見つけ出すことができるでしょうか？
- 3) あなたのクラブの会員構成（年齢・性別・職業等）は、地元の地域社会の実態を反映していますか？ 職業分類のバランスは？ 新しいタイプのクラブは？
- 4) 会員候補者にとってあなたのクラブはどれくらい魅力的でしょうか？
また、それを阻害するものがあるとしたら、それは何で、どうやってそれを解決しますか？
- 5) 会員勧誘の委員会活動やそのほかの具体的な方法はありますか？（資料1：P73）
会員勧誘の成功事例があれば教えてください。

まとめ

- 強いクラブづくりは、新会員を惹きつけます。
- 歓迎されていると感じ、その一員であると感じることが、強いクラブを築きます。

セッション2 資料1

新会員の勧誘

- 「会員を惹きつける」という概念は、ロータリークラブが活気にあふれ、地域社会に知られ、会員候補者にとって魅力的であるべきだということです。
- ロータリークラブへの入会は、会員の推薦とクラブによる招待によって行われます。
- ロータリークラブは、国際ロータリーと呼ばれる組織の会員であり、会員に関する国際ロータリーの定款と細則の要件（修正がない限り）に従います。
- ロータリークラブは独自に会員を選出しますが、管轄する地域の法律と会員に関するロータリーの方針に従います。
- 2016年規定審議会は、会員勧誘の分野においてクラブが最善の方法を決定できるよう、いくつかの変更を可決しました。
その一部をご紹介します：
 - クラブは、例会の時間を変えることができる。
 - 例会をオンラインで行うか、直接会って行うかをクラブが決めることができる。
 - 少なくとも月に2回例会を開いていれば、例会の中止はクラブが決めることができる。
 - クラブは、奉仕活動やその他のクラブ行事を例会とすることができる。
 - クラブは、会員規則や要件を柔軟に選択できる。
 - RI定款にあった従来の6つの会員資格基準を、「事業または地域社会で良い評判を受けており、地域社会に奉仕する意欲のある善良な人であること」というシンプルな要件に置き換えた。
- ロータリーは、ロータリーの会員身分をより便利で手頃なものにするなど、若い人々にロータリーを紹介することを推進している。
- 1989年以来、女性はロータリーに入会する資格がある。2023年現在、世界中のロータリアンの約26パーセントが女性である。

主な国の女性会員の割合

2023年9月の女性会員の割合

順位	国名	会員数	女性会員	クラブ数	平均会員
1	アメリカ	275,523	35.82%	7,251	37.70
2	インド	174,444	15.37%	4,642	37.34
3	日本	84,257	7.75%	2,206	37.30
4	韓国	68,337	23.74%	1,689	38.24
5	ドイツ	58,065	15.38%	1,138	51.15
6	ブラジル	50,757	31.76%	2,335	21.06
7	イタリア	38,421	21.83%	948	40.94
8	台湾	35,676	27.36%	977	35.62
9	イングランド	27,428	22.28%	1,226	22.52
10	フランス	27,377	25.58%	1,089	25.57
11	オーストラリア	22,801	31.84%	986	23.41
	世界	1,181,634	25.91%	37,041	31.90

女性会員の割合: 308,532名 25.99% 2023年10月26日現在

2019年1月理事会決定

第81号 ロータリーの多様性、公平さ、およびインクルージョン方針

理事会は

1. 下記の国際ロータリーの多様性、公平さおよびインクルージョン方針を承認する。

ロータリーは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称えます。

ロータリーは、過小評価されたグループの人々がそのメンバーや指導者として参加できるより多くの機会を持てるような文化、すなわち多様性で、公平で、インクルーシブな（包容力のある）文化を醸成します。

2. 2023年6月までにロータリーとロータリーの指導層の女性の割合を30%にする目標を設定する。

3. 事務総長に、目標と声明を支える行動計画を開発するよう要請する。

セッション2 資料2(参考)

職業分類表 (米国の場合)

この職業分類表は、米国では一般的なものであり、中規模のロータリークラブで使用できるものである。

あなたのクラブ用に変更するには、あなたの地域で利用できない分類を削除し、このリストに掲載されていない分類を追加するだけです。このリストは、商工会議所の事業所リストや、地元のイエローページの電話帳の見出しを参考にするとよいでしょう。このリストは、あなたの地域の利用可能な分類に合うように修正するのに役立ちます。

メンバーの名前を分類の後に表示し、名前のない分類から埋めていきます。

Accounting Service-Commercial	会計サービス-商業	Feed Store	飼料店
Accounting Service-Management	会計サービス-経営	Finance Companies	金融会社
Accounting Service-Personal	会計サービス-個人	Financial Consulting	金融コンサルティング
Addressing Service	宛名サービス	Financial Planning	ファイナンシャル・プランニング
Advertising, General	広告、一般	Fire Equipment-Sales	消防機器販売
Advertising, Direct Mail	広告、ダイレクトメール	Fire Equipment-Services	消防機器-サービス
Advertising, Outdoors	広告、屋外	Fire Protection-Municipal	防火-自治体
Advertising, Periodical	広告、定期刊行物	Fire Protection-Sprinklers	防火-スプリンクラー
Advertising, Radio	広告、ラジオ	Flooring-Installation	フローリング-施工
Advertising, Specialty	広告、専門	Flooring-Sales	フローリング-販売
Advertising, Aerial	広告、航空	Floral Supplies	花用品
Aircraft-Maintenance	航空機-メンテナンス	Florist-Retail	フローリスト-小売
Aircraft-Sales	航空機-販売	Florist-Wholesale	生花卸売
Airport Management	空港管理	Food Products	食品
Airport Services	空港サービス	Forest Products	林産物
Airport Transportation	空港輸送	Formal Wear	フォーマルウェア
Alcohol & Drug Programs	アルコール・薬物プログラム	Frozen Food Lockers	冷凍食品保管
Answering Services	留守番電話サービス	Funeral Chapel	葬儀場
Antique Sales	アンティーク販売	Furniture-Retail	家具小売
Apartment, Rentals	賃貸アパート	Furniture-Rental	家具レンタル
Appliances-Retail	家電小売	Furniture-Wholesale	家具-卸売
Appliances-Service	家電製品-サービス	Garages	ガレージ
Appraising Service-Commercial	鑑定サービス-商業	Gas Services	ガス販売
Architecture-Building	建築	Gift Shops	ギフトショップ
Architecture-Landscape	建築-景観	Glass Dealer	ガラス販売店
Artists Materials-Retail	画材-小売	Glass-Stained	ガラス
Asphalt Products	アスファルト製品	Golf Courses	ゴルフコース
Association Management	協会管理	Golf Equipment	ゴルフ用品
Athletic Club	アスレチッククラブ	Governmental Agencies	政府機関
Athletic Teams	アスレチックチーム	Governmental Relations	行政関連
Auctioning Services	オークションサービス	Graphic Designs	グラフィックデザイン
Audio Visual Services	オーディオ・ビジュアル・サービス	Groceries-Distribution	食料品-流通
Auto-Body	車体	Groceries-Retailing	食料品-小売
Auto-Care	自動車整備	Halls-Rental	レンタルホール
Auto-Clubs	オートクラブ	Hardware-Retailing	金物-小売
Auto-Customizing	自動車改造	Health Care-Public	ヘルスケア-公共
Auto-Leasing	自動車リース	Health Care-In Home	在宅医療
Auto-Rentals	自動車レンタル	Heating/Air Conditioning Service	冷暖房サービス
Auto-Sales New	新車販売	Hospitals-General	病院-一般
Auto-Sales Used	中古車販売	Hospitals-Convalescent	病院-療養型
Auto-Sales Foreign	外車販売	Hospitals-Psychiatric	病院-精神科
Auto-Servicing	自動車修理	Hospitals-Veterinary	病院-獣医
Auto-Towing	自動車牽引	Hotel Management	ホテル経営
Auto-Wrecking	自動車解体	Ice Cream Parlors	アイスクリーム店
Baking-Commercial	製パン-商業	Import Stores	輸入店舗
Baking-Pastry	製パン-ペストリー	Import/Exporting	輸出入
Baking-Retailing	製パン-小売	Insurance-Auto	保険-自動車
Banking-Commercial	銀行-商業	Insurance-Benefits	保険-福利厚生

Banking-Retail	銀行-小売	Insurance-Home	保険-家庭
Banking-Services	銀行サービス	Insurance-Life	生命保険
Barbering	理容	Insurance-Marine	海上保険
Bath Fixtures-Sales	浴室用備品-販売	Interior Decorating	インテリア
Bath Fixtures-Refinishing	浴室用備品-修理	Internet Marketing	インターネット・マーケティング
Beauty Salon	美容室	Internet Service Provider	インターネット・サービス・プロバイダー
Beauty Salon-Supply	美容室-供給	Inventory Services	在庫管理サービス
Beverage-Distribution	飲料-流通	Investments & Securities	投資と証券
Beverage-Retailing	飲料小売	Janitorial Services	清掃サービス
Bicycle-Manufacturers	自転車メーカー	Janitorial Supplies	清掃用品
Bicycle-Retailing	自転車小売	Jewelry-Design	ジュエリー・デザイン
Bicycle-Service	自転車-サービス	Jewelry-Retail	宝飾品小売
Blueprint Services	設計図サービス	Kitchen Cabinet-Sales	食器棚販売
Boat-Services	船舶サービス	Landscaping-Commercial	造園-商業
Boat-Sales New	新艇販売	Laundry Equipment-Leasing	ランドリー機器-リース
Boat-Sales Used	中古船舶販売	Law-Bankruptcy	法律-破産
Book-Distribution	書籍販売	Law-Business	法律-ビジネス
Book-Publishing	書籍出版	Law-Civil Litigation	法律-民事訴訟
Book-Sales	書籍販売	Law-Computer	法律-コンピューター
Bookkeeping Services	記帳代行サービス	Law-Commercial	法律-商業
Bottle Gas Distribution	ガス販売	Law-Contract	法律-契約
Bowling Centers	ボウリングセンター	Law-Copyright	法律-著作権
Broadcasting-Radio	放送-ラジオ	Law-Corporation	法律-会社
Broadcasting-Television	放送-テレビ	Law-Criminal	法律-刑事
Building Construction	建築工事	Law Enforcement	法執行
Building Materials-Retailing	建築資材-小売	Law-Estate Planning	法律-遺産相続
Building Services	建築サービス	Law-Family	法律-家族
Burglar Alarm Services	警報サービス	Law-General Practice	法律-一般業務
Business Forms & Systems	ビジネスフォーム&システム	Law-Insurance	法律-保険
Business Services	ビジネスサービス	Law-Labor	法律-労働
Bus Transportation	バス輸送	Law-Malpractice	法律-不法行為
Cable Television Services	ケーブルテレビサービス	Law-Personal Injury	法律-傷害
Camera-Rental	カメラレンタル	Law-Real Estate	法律-不動産
Camera-Repair	カメラ修理	Law-Workers Compensation	労働者災害補償法
Camera Sales-Retail	カメラ販売-小売	Lighting Supplies	照明器具
Candies-Retail	菓子-小売	Liquor & Wine-Retailing	酒類小売
Carpet-Cleaning	カーペットクリーニング	Loans-Commercial	ローン-商業
Carpet-Sales	カーペット販売	Loans-Real Estate	不動産ローン
Catering Services	ケータリングサービス	Loans-SBA	ローン-SBA
Cemeteries	霊園	Luggage-Retailing	バッグ-小売
Chamber of Commerce	商工会議所	Lumber-Retailing	木材-小売
Check Cashing Services	小切手キャッシングサービス	Machine Shop	機械工場
Child Care Services	チャイルドケア・サービス	Management Consulting	経営コンサルティング
Chiropractic Services	カイロプラクティックサービス	Management Training	経営トレーニング
Cleaning Services-Home	クリーニングサービス	Medical Products	医療製品
Cleaning Services-Commercial	クリーニングサービス-商業	Microfilming	マイクロフィルム
Clock-Sales	時計販売	Mobile Home Park Management	モバイルホームパーク管理
Clock-Service	時計修理	Mortgage Companies	住宅ローン会社
Closet Organizer Systems	クローゼット収納システム	Motorcycle-Retail	オートバイ小売
Clothing-Children	衣類-子供	Motorcycle-Service	オートバイ・サービス
Clothing-Collectible	衣類-収集品	Moving & Storage	引越&保管
Clothing-Men	洋服-男性	Music Stores	楽器店
Clothing-Women	洋服-女性	Newspaper Publishing	新聞出版
Clubs & Associations	クラブ&協会	Non-profit Organizations	非営利団体
Cocktail Lounges	カクテルラウンジ	Nursing Services	介護サービス
Coffee Distribution	コーヒー販売	Office Equipment	事務機器
Collection Services	コレクションサービス	Office Supplies	事務用品
Communications-Paging	通信-ページング	Opticians	眼鏡店
Communications-Systems	通信システム	Optometrists	検眼士
Computer-Consulting	コンピューター・コンサルティング	Party Supplies-Retailing	パーティー用品
Computer-Furniture	コンピューター-家具	Pet Grooming	ペットグルーミング
Computer-Hardware	コンピューター・ハードウェア	Pet Shop	ペットショップ
Computer-Retail	コンピューター小売	Petroleum Distribution	石油販売
Computer-Services	コンピューター・サービス	Photo Finishing	写真仕上げ
Computer-Software	コンピューター・ソフトウェア	Photography-Aerial	航空写真
Computer-Supplies	コンピューター用品	Photography-Commercial	写真撮影-商業
Computer-Training	コンピューター・トレーニング	Photography-Portrait	写真撮影-ポートレート
Construction-Commercial	建設-商業	Physical Therapy	物理療法
Construction-Remodeling	建設-リフォーム	Picture Framing	額装

Construction-Residential	建設-住宅	Polygraph Services	ポリグラフ・サービス
Contractors-Electrical	電気工事請負業者	Pool Services	プール事業
Contractors-General	一般建設業者	Postal/Message Services	郵便/メッセージサービス
Contractors-Grading & Paving	請負業者-舗装	Postal Service	郵便サービス
Contractors-Masonry	請負業者-石工	Printing Broker	印刷ブローカー
Contractors-Painting	請負業者-塗装	Printing-Checks	印刷-小切手
Contractors-Roofing	請負業者-屋根	Printing Services	印刷サービス
Contractors-Supplies	請負業者-用品	Property Management	不動産管理
Copier-Sales	コピー機-販売	Public Utilities-Gas/Electric	公共事業-ガス/電気
Copier-Services	コピー機-サービス	Public Utilities-Telephone	公共事業-電話
Copier-Supplies	コピー機用品	Public Utilities-Water Service	公共事業-水道サービス
Copywriters	コピーライター	Publicity/Public Relations	宣伝/広報
Cosmetics-Retail	化粧品-小売	Real Estate-Commercial	不動産-商業
Counseling Services	カウンセリングサービス	Real Estate-Consulting	不動産-コンサルティング
Courier Services	宅配便サービス	Real Estate-Management	不動産-管理
Credit Card Accounting	クレジットカード会計	Real Estate-Relocation Service	不動産-住み替えサービス
Credit Card Services	クレジットカードサービス	Real Estate-Rentals	不動産賃貸
Credit Union Services	信用組合事業	Real Estate-Residential	不動産-住宅
Cycle Accessories-Retail	自転車用品-小売	Recording Services	レコーディング・サービス
Dance Studio	ダンススタジオ	Recreational Services	レクリエーション・サービス
Data Processing	データ処理	Recycling Services	リサイクル・サービス
Day Care	託児所	Rehabilitation-Medical	リハビリテーション-医療
Decorating Materials-Retailing	装飾品-小売	Religion	宗教
Delicatessen	惣菜店	Reporting Services-Deposition	レポーティング・サービス
Dental Lab	歯科技工所	Restaurant-Fast Food	レストラン-ファーストフード
Dentistry-General	歯科一般	Restaurant-Family	レストラン-ファミリー
Dentistry-Oral Surgery	歯科-口腔外科	Restaurant-Management	レストラン-経営
Dentistry-Orthodontics	歯科-矯正歯科	Restaurant Specialty-Mexican	レストラン-メキシコ料理
Dentistry-Preventative	歯科-予防	Restaurant Specialty-Pizza	レストラン専門-ピザ
Department Stores	デパート	Restaurant Specialty-Sandwich	レストラン専門-サンドイッチ
Desktop Publishing	デスクトップパブリッシング	Retirement Homes	リタイアメント・ホーム
Developers	デベロッパー	Rubber Stamp Co.	ラバースタンプ
Direct Mail Services	ダイレクトメールサービス	Savings & Loans Associations	貯蓄貸付組合
Draperies-Retail	呉服-小売	Secretarial Services	秘書サービス
Drug Stores	ドラッグストア	Security Services	セキュリティサービス
Dry Cleaners	クリーニング店	Security Systems	セキュリティシステム
Dry Goods-Retailing	乾物-小売	Service Stations	サービス・ステーション
Education-Primary	教育-初等教育	Sewing Machines-Retailing	ミシン-小売
Education-Commercial	教育-商業	Scouting	スカウト
Education-Community College	教育-専門学校	Shoes-Retailing	靴-小売
Education-Private Schools	教育-私立学校	Shopping Center Management	ショッピングセンター経営
Education-Secondary	教育-中等教育	Signs	看板
Education-Special	教育-特別	Sporting Goods-Retailing	スポーツ用品 (小売)
Education-University	教育-大学	Stationers	文具店
Educational Services	教育サービス	Stock & Bond Breakage	株式・債券管理
Educational Supplies	教育用品	Storage Services	保管サービス
Electrical Supplies-Retail	電化製品-小売	Tax Service	税務サービス
Electrical Supplies-Wholesale	電化製品-卸売	Taxi Services	タクシーサービス
Electronic Manufacturer	電子機器メーカー	Tire Sales-Retail	タイヤ販売-小売
Electronic Products-Retail	電子製品-小売	Tire Sales-Wholesale	タイヤ販売-卸売
Emergency Services	緊急サービス	Title Companies	タイトル会社
Employment Agency	雇用代理店	Toys-Retailing	玩具販売
Employment Skills Training	雇用シルトレーニング	Tractor Sales & Service	トラクター販売・サービス
Engineering-Audio	音響工学	Transportation-Air	輸送-航空
Engineering-Civil	土木工学	Transportation-Ambulance	輸送-救急車
Engineering-Communication	通信工学	Transportation-Bus	輸送-バス
Engineering-Electrical	電気工学	Transportation-Limousine	輸送-リムジン
Engineering-Industrial	産業工学	Transportation-Truck	輸送-トラック
Engineering-Marine	海洋工学	Travel Agency	旅行代理店
Engineering-Petroleum	石油工学	Tree Services	ツリーサービス
Engineering-Professional	エンジニアリング-プロフェッショナル	Trophy-Retailing	トロフィー販売
Entertainment Services	エンターテイメントサービス	Vending Supplies	自動販売機
Environmental Consulting	環境コンサルティング	Video Production Services	ビデオ制作サービス
Event Planners	イベントプランナー	Waste Disposal Services	廃棄物処理サービス
Exercise Equipment Sales	エクササイズ機器販売	Water Treatment	水処理
Express & Transfer Services	エクスプレス&トランスファー・サービス	Welcoming Services	歓迎サービス
Farming	農業	Word Processing Services	ワープロサービス

セッション 2 資料 3

インクルーシブなクラブの文化を培う

DEI の取り組みにおける進み具合は、クラブによって異なります。あなたのクラブが DEI に取り組む準備が整っているかどうかを、下記の表を使って考えてみましょう。このコースは、まだ準備が整っていないと感じているクラブで何ができるかを紹介しています。

クラブで以下を行う準備が整っていますか：	はい/いいえ	次のステップ
DEI に関する例会を数回実施し、DEI のコンセプト（用語、対等な権利、社会的アイデンティティ、無意識のバイアスなど）について話し合う。	はい/いいえ	
DEI の行動規範を読み、各会員が多様性、公平さ、インクルージョンに対するコミットメントを果たすよう徹底させる。	はい/いいえ	
より多様で、公平で、インクルーシブなクラブとなるためのプロセスの確立を担当する委員会を立ち上げる。	はい/いいえ	
クラブで会員の少ない属性の人（若い人、女性、障がい者、新しい職種の人など）を例会や奉仕活動に招き、気づいたことを述べてもらう。	はい/いいえ	
クラブ細則を見直し、よりインクルーシブな細則とする方法を検討する。	はい/いいえ	
クラブの慣習や暗黙のルールに対して意識的になる。取り入れる変更や会員が負うべき責任を文書化する。	はい/いいえ	
ロータリーの DEI の行動規範を、クラブのウェブサイト、会報、ソーシャルメディアに掲載する。	はい/いいえ	

RI Web サイト ラーニングセンター 「インクルーシブな文化を培う」より抜粋
<https://learn.rotary.org/members/learn/catalog/view/147>

3 チームづくりとクラブコミュニケーション

私たちのクラブは、私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対する協力を推進するとともに、クラブ会員に対する効果的なコミュニケーションを促進するように努める。



セッションの目標

- 委員会組織とチーム作り（チームビルディング）があなたのクラブの中でどのようになされているのか調べてみましょう。
- 強い委員会と弱い委員会の特徴を議論しましょう。
- 効果的なコミュニケーションの基本的な要素について理解する。
- 効果的なコミュニケーションの方法をクラブのリーダーシップに応用する。

セッションの問い

1. あなたが考える最高の（理想的な）チームとはどんなチームですか？
2. リーダーシップスタイルはチームにどのような影響を与えるでしょうか？
チームワークは有効ですか？
3. あなたのクラブの委員会編成で問題点や課題は何ですか？（資料3：P84）
4. あなたのクラブにおける、オープンなコミュニケーションに対する障壁や問題は何か？
5. あなたのクラブ内で、オープンなコミュニケーションを可能にする仕組みや工夫を紹介してください。

まとめ

- チームワークはスキルである。
- チームは、目標をより早く、よりよく達成するのに役立つ。
- リーダーシップはチームワークの一部である。
- コミュニケーションは、意図する受け手が関与して初めて効果を発揮する。
- コミュニケーションは、クラブ指導者として直面する可能性のある最も難しい課題です。

セッション3 資料1

人前でスピーチをするための10のヒント

スピーチの前に緊張するのは自然なことです。

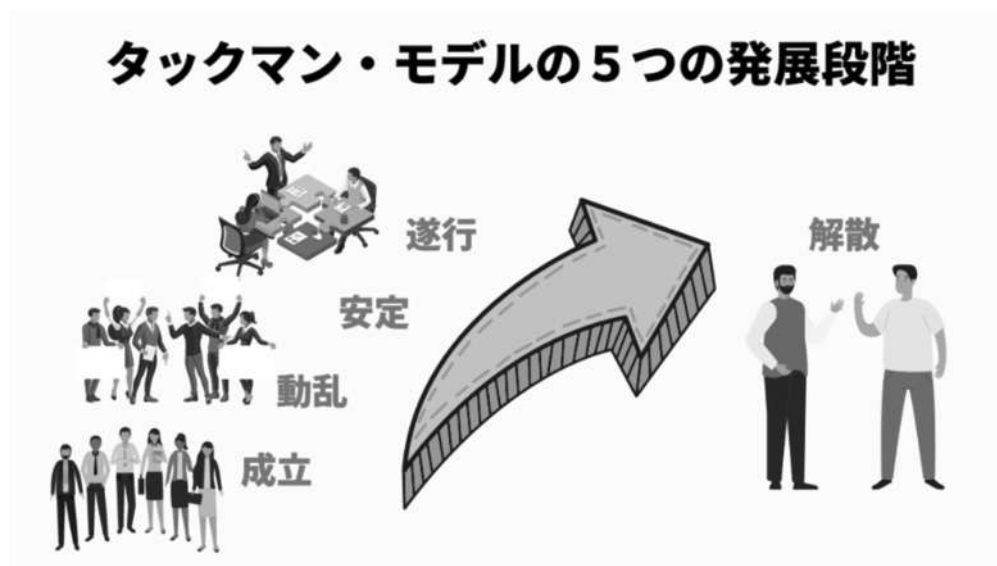
ここでは、緊張をコントロールし、より良いプレゼンテーションを行うためのヒントをいくつか紹介します。

1. **自分のテーマを知る。**興味のあるトピックを選ぶ。そのトピックについて、スピーチに盛り込む以上に知っておくこと。ユーモア、個人的なエピソード、会話の言葉を使う。
2. **練習。練習。練習！**使う予定のすべての道具を使って、声に出してリハーサルをしましょう。必要に応じて修正する。「えーと」、「あー」など言い淀まないように努力する。タイマーを使って練習し、予期せぬ事態に備える。
3. **聴衆を知る。**観客の何人かが到着したら挨拶をする。
見知らぬ人よりも、友人のグループの方が話しやすい。
4. **場所を知る。**早めに到着し、スピーチエリア内を歩き回り、マイクやビジュアルエイドの使い方を練習しましょう。
5. **リラックスする。**聴衆に挨拶することから始めましょう。時間を稼ぎ、緊張を和らげます。ポーズをとり、微笑み、何か言う前に3つ数える。緊張のエネルギーを熱意に変えましょう。
6. **スピーチをする自分をイメージする。**自分が話しているところを想像する。大きな声で、はっきりと、自信を持って。聴衆が拍手をしているのをイメージする。自信につながります。
7. **聴衆はあなたの成功を望んでいる。**聴衆は、あなたが興味深く、刺激的で、有益で、楽しませてくれることを望んでいる。彼らはあなたを応援しているのだ。
8. **どんな緊張や問題にも謝らないこと**-聴衆はおそらく気づかない。
9. **手段ではなく、メッセージに集中する。**
自分の不安から注意をそらし、メッセージと聴衆に集中しましょう。
10. **経験を積む。**スピーチは主に、権威者として、また一人の人間として、あなたを象徴するものでなければなりません。経験は自信を生み、それが効果的なスピーチの鍵になります。トーストマスターズクラブは、安全でフレンドリーな環境で、あなたに必要な経験を提供します。

Toastmaster's.com からのリソースより

セッション3 資料2

タックマン・モデルの概要



タックマン・モデルとは、チーム育成モデルであり、チームは5つの発展段階を経ていくというアイデアです。

その名の通り、タックマン・モデルはアメリカの心理学者であるブルース・ウェイ・タックマン (Bruce Wayne Tuckman) が1965年に“Developmental Sequence in Small Groups.”で発表したモデルです^[1]。

当初は「成立期・動乱期・安定期・遂行期」の4つの段階を経てチームは成長するというモデルでしたが、1970年代に5つ目の「解散期」が追加されました^[2]。

タックマン・モデルを知ることによって、チーム・リーダーやプロジェクト・マネジャーはチーム形成のためにどのような手段を採ったらよいか理解でき、チーム内のトラブルに対して適切な処置を行うことができます。

タックマン・モデルの5つの発展段階

上述の通り、タックマン・モデルでは、チームは5つの段階を経て発展していくとします。改めてその段階を整理すると以下ようになります。

- 成立期
- 動乱期
- 安定期
- 遂行期
- 解散期

ここからは、これらの5つの発展段階について見ていきましょう。

成立期

チームの初期段階は「成立期」です。

チームが結成されたばかりの「成立期」では、チームは自分たちの役割と責任を学んでいきます。まだチームメンバーはチームのことを考えず、自分自身の意見も主張しませんが、チームリーダーやプロジェクト・マネジャーの指示以外は対応しないというような閉鎖的な状態になることもあります。

動乱期

チームは「成定期」を終えると、「動乱期」に移っていきます。

「成定期」と比べた時の「動乱期」の特徴は、チームメンバーが自分自身の意見を主張し始める点にあります。

チームメンバーは自分自身のことだけを考えた意見を述べたり、異なる考えや観点に対して閉鎖的な態度を取ってしまうこともあります。

安定期

「動乱期」を超えたチームは「安定期」に入っていきます。

「動乱期」と比べた時の「安定期」の特徴は、チームメンバーがお互いの意見を尊重しはじめ、自分たちの行動を調整していきはじめることです。

この「安定期」と前の段階である「動乱期」は明確に切り替わるだけでなく、2つの段階が並行していく形で、対立と協調を繰り返していく傾向にあります。

遂行期

「遂行期」はチームの実質的な最終段階です。

チームメンバーは自分たちの役割と責任を十分に理解し、お互いが協調して仕事を行うようになります。

チームメンバーは自発的に行動するようになるため、チームリーダーやプロジェクト・マネージャーがいちいち指示をする必要はなく、むしろ委任されることを好むようになります。

解散期

プロジェクトが完了するなどしてチームが役割を終えると、そのチームは「解散期」を迎えます。とくに何もせずにチームが解散されることも少なくありませんが、チームとして活動して得られた教訓をまとめていったり、プロジェクトで得られたプロダクトを使っていく上で必要な引継ぎ事項がないかを考えていくことが大切です。

タックマン・モデルのメリット

タックマン・モデルのメリットは、チームの各発展段階においてチームリーダーやプロジェクト・マネージャーが何を気にしなければならないか、どのような対応を行えばよいのかを把握しやすくなることです。

発展段階に応じたチームリーダーやプロジェクト・マネージャーの対応は以下のようにまとめることができます^[3]。

成定期	チームの目標や各チームメンバーの役割と責任を共有する。
動乱期	紛争を解決し、信頼関係・協力体制を築く。
安定期	チームが目標に向かうサポートをする。
遂行期	チームメンバーに委任し、チームメンバーが仕事をしやすい環境を整える。
解散期	チーム解散のための手続きを行うとともに、表彰や打ち上げなどを準備する。

往々にして動乱期がチームリーダーやプロジェクト・マネージャーが最も忙しくなる時期であり、チームの関係をよりよいものにしていくために、様々な施策を打っていかねばなりません。

前の段階に戻らないように

今回はチーム育成のモデルであるタックマン・モデルについて見てきました。

タックマン・モデルはチームが成立・動乱・安定・遂行・解散の5つの段階を経るとしたアイデアです。

ただし、安定期のところで触れた通り、これらの段階は明確に分かれているわけではなく、不可逆な関係でもありません。

つまり、安定期から最も大変な動乱期に戻ってしまうという話はあり得る話であり、チームリーダーやプロジェクト・マネジャーは前段階に戻らないように注意していかなければなりません。

前段階に戻らないためにも、「今の段階でどのような対応が適切か？」を見きわめていき、チームビルディングをしていくことが大切です。

グループがグループ発展の段階を経て適切に発展するためには、以下のことが必要である。以下のことが必要である。

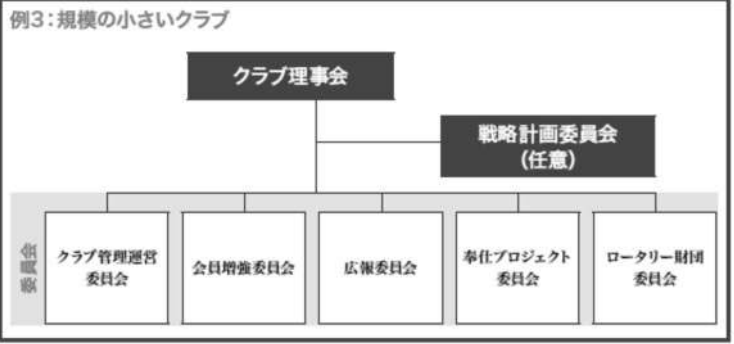
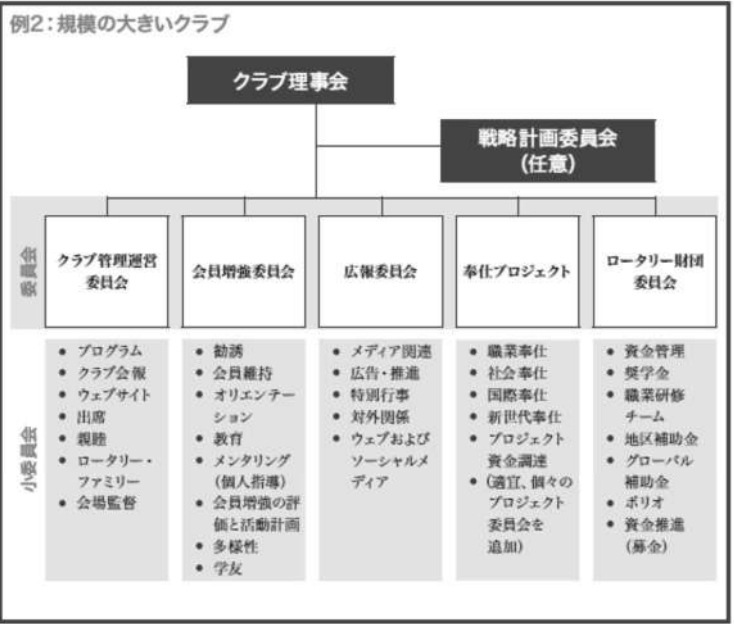
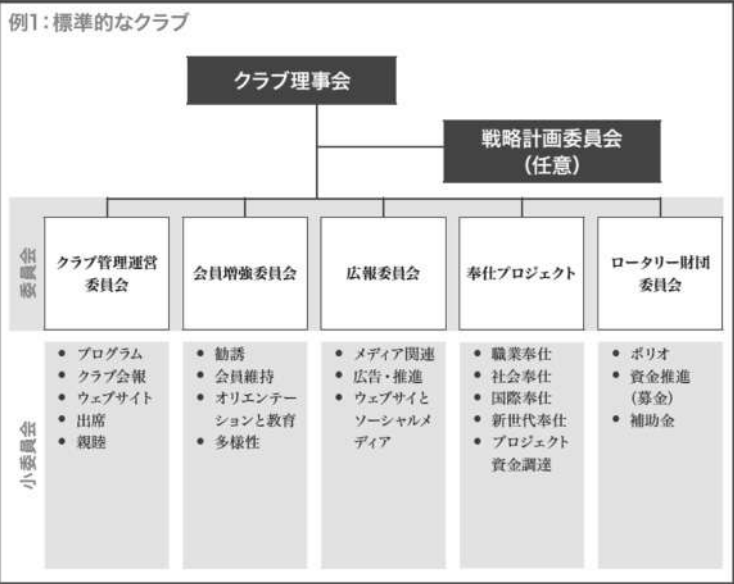
1. グループのファシリテーションを交代で担当する。
2. グループの目的／使命はメンバー全員に明確でなければならず、目的／使命は定期的に再検討されなければならない。
3. グラドルールを定め、監視する。
4. 「対立」（肯定的な意味での対立）は、グループの発展にとって正常なことであり、おそらく必要なことであることを、グループに理解させる。
5. グループは互いに「耳を傾ける」ことを思い出さなければならない。
6. 各セッションの最後のまとめは、グループのプロセスに関連した有意義で建設的なコメントで構成する。建設的なコメントで構成されるべきである。
7. 全員が貢献し、グループを“ラーニングチーム”にするために働かなければならない。

<http://www.gmu.edu/student/csl/5stages.html> より引用

セッション3 資料3

クラブ委員会構成例

5つの委員会が推奨されており、各クラブは、独自の関心や活動に応じて、ほかの委員会や小委員会を追加、あるいは削除することができます。適切な小委員会を判断する上でアドバイスや情報が必要な場合は、ガバナー補佐またはガバナーに相談してください。



セッション3 資料4

元気なクラブづくりのために

「元気」の秘訣をご紹介します

ビデオ会議

仕事や私用で出張中、子育て・介護中の会員が、自宅や出張先からインターネットを利用して、例会、理事会、協議会にビデオ参加できるようにしています。これによって、出席率が上がるだけでなく、マイクを通じて意見発言もできるため、参加への積極性が向上しました。おかげで、会員一人ひとりがクラブ運営に携わっているという意識が高まっています。

ビデオ会議の導入は、会員の退会防止に加え、多忙な入会希望者にとって例会参加の選択肢が広がるので、会員増強の有効な手段ともなっています。今後はパソコンに不慣れな会員もビデオ会議に参加できるようにするためのオリエンテーションを行うなど、積極的な利用を勧め、参加率をさらに上げていきます。

柔軟なクラブ運営

事務局をおかないことで、会員が事務的業務をすることによってロータリーの知識を深めたり、事務所や事務局員にかかる経費の大幅な削減につなげています。

例会では食事をとらない形式を用いているため、例会後には有志による親睦食事がよく企画開催され、異文化交流の雰囲気味わうことができます。

独自の活動で公共イメージアップ

クラブの特色を生かした奉仕活動は、ロコミだけでなく、地元紙・メディアにも取り上げられ、公共イメージ向上につながっています。現在、国連ユニタールとの活動に参加しており、今年度

(2017-18年度)初めてグローバル補助金を活用して、米国のクラブと一緒に広島原爆を生き延びた被爆樹木を世界に植樹するプロジェクトを実施しています。

会員ネットワークの活用

ロータリーファミリーや友人の紹介が多いのもこのクラブの特色です。会員の家族、友人、大学の後輩などを奉仕活動に誘って、ロータリーの活動理念をともに学び、体験し、それが入会につながっています。日本にいるとなかなか体験できない活動を、ロータリーを通じて体験でき、世界中に仲間ができることを大いに謳歌できます。会員出身国の学友会活動の活性化も、奉仕活動の一環として取り組んでいます。

学友が多いクラブの強みは、会員が入会前からロータリーの活動に参加した経験をもっていることです。特に米山奨学生は、「米山学友」としての誇りを胸に、民間大使として日本と母国との懸け橋として、さまざまな分野で活躍しています。このような会員の個性こそがクラブの財産だと強く思います。

リーダーシップの育成

米山学友が日本社会で道を拓き、幹部職として活躍できるような人材として育つことができるよう、RYLAプログラムなどをヒントにした企画にも取り組んでいます。会員には独立して起業した人も多く、海外のビジネス事情について情報交換をするなど、職業奉仕にも役立っています。



元気なクラブとなるためのステップ

あなたのクラブでは、会員が積極的に参加し、実りあるプロジェクトを実施し、新しいアイデアを試していますか？楽しく、活気に満ちていますか？

以下のアイデアを参考にして、会員の積極性と地域の人びとの関心を引き出し、入会を促すためのプランを立てましょう。

クラブの3～5年後の姿を思い描く

- 年に1度、クラブのビジョンについて話し合う。クラブの健康チェックを使ってクラブの強みと改善点を探る。
- 戦略計画立案ガイドを使って長期目標を立てる。

年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する

- クラブが得意とする活動や分野を見つけ、その長所をさらに伸ばす。
- 月1回、目標に向けた進捗状況を各委員会に伝える。

会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会とする

- クラブの良い点、改善点を探るために会員満足度調査を実施する。調査の結果を基に、今後の実行項目を決める。
- 従来型例会、オンライン例会、奉仕プロジェクト、親睦の集まりなど、さまざまな例会形式を取り入れる。

クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る

- 例会、クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアで情報を共有する。
- 定期的に会員の声を聞く機会を設ける。
- ブランドリソースセンターから入手できるテンプレートを活用し、クラブのパンフレットと会報をつくる。

後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る

- 継続性を図るため、次年度以降のリーダーも任命する。各委員会には現委員長のほか、次期委員長と元委員長も含める。
- 次期役員のために「OJT（オンザジョブトレーニング）」を行う。各役員の責務内容を文書にまとめる。

クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する

- 会員とともにクラブ細則を毎年見直す。
- 推奨ロータリークラブ細則のテンプレートに手を加え、クラブの新しい手続きや運営方法が反映されるようにする。

会員同士の交流を深める

- 「新会員オリエンテーション：ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために」を参考にする。
- 毎回の例会で違う会員と同席するようにする。

会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする

- 会員の関心を調べるアンケートを実施し、その結果を基にプロジェクトや活動を計画したり、会員が満足できる例会を企画する。
- 新会員の関心を調べ、各自に合った役割をクラブで担当してもらうことで、入会后早い時期から新会員の参加を促す。

ロータリーのリーダーとなる人材を育てる

- クラブの研修リーダーまたは研修委員会を任命し、研修プランの立案と実施を担当してもらう。
- 「実践リーダーシップ」の研修を実施し、会員のリーダーシップスキルを磨く。

クラブ運営に必要な委員会を設置する

- 小規模クラブ：委員会の活動を統合する方法を検討する。
- 大規模クラブ：全会員が参加できるよう、追加の委員会を設ける。

セッション3 資料5

クラブ・リーダーシップ・プラン 作成のためのチェックリスト ワークシート



クラブ独自のクラブ・リーダーシップ・プランを作成するために、このチェックリストをお役立てください。クラブのニーズに合わせて追加・編集することができます。

クラブ名:

ロータリー年度:

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 3～5年後のクラブのあるべき姿を実現するための戦略計画がある。 | <input type="checkbox"/> ロータリークラブ・セントラルで毎年のクラブ目標を入力している。 |
| <input type="checkbox"/> 会員は積極的に参加している。
例会は以下の形式で行われている。
<input type="checkbox"/> 従来型の例会（毎月 回）
<input type="checkbox"/> オンライン形式（毎月 回）
<input type="checkbox"/> 奉仕活動（毎月 回）
<input type="checkbox"/> 交流／社交行事（毎月 回）
<input type="checkbox"/> その他:
<input type="checkbox"/> その他: | <input type="checkbox"/> 会員や地域社会と連絡を取るためのコミュニケーション計画がある。
<input type="checkbox"/> ソーシャルメディア(フェイスブックなど)を使用している
<input type="checkbox"/> クラブウェブサイトを頻繁に更新・活用している
<input type="checkbox"/> その他:
<input type="checkbox"/> その他:
<input type="checkbox"/> その他: |
| <input type="checkbox"/> 役員の継続性がはかられている。
<input type="checkbox"/> 会員は、リーダーの役職に就くための準備を行っている
<input type="checkbox"/> 直前・現・次期のリーダーが決定にかかわっている | <input type="checkbox"/> クラブ細則は更新されており、クラブの構成・文化・活動を反映している。 |
| <input type="checkbox"/> 毎年、楽しい交流・社交行事が計画されている。
<input type="checkbox"/> ネットワークを築き、交流するための行事
<input type="checkbox"/> 家族を招待して実施する行事 | <input type="checkbox"/> 全クラブ会員が積極的に参加するための戦略・方法がある。
<input type="checkbox"/> 会員はプロジェクトに参加している
<input type="checkbox"/> 新会員にはメンター(助言・相談役)が割り当てられている |
| <input type="checkbox"/> 以下を含む包括的な研修計画がある。
<input type="checkbox"/> 地区大会
<input type="checkbox"/> 地区会員増強セミナー
<input type="checkbox"/> 地区公共イメージ研修セミナー
<input type="checkbox"/> 地区ロータリー財団セミナー
<input type="checkbox"/> 新会員オリエンテーション
<input type="checkbox"/> ラーニングセンターのコースを利用
<input type="checkbox"/> 各クラブ役員の基本情報
<input type="checkbox"/> 会員増強の関連コース
<input type="checkbox"/> 会長エレクト研修セミナー(PETS) | <input type="checkbox"/> クラブのニーズに応える委員会が設置されている。
<input type="checkbox"/> 管理運営
<input type="checkbox"/> 会員の参加／入会促進
<input type="checkbox"/> 広報
<input type="checkbox"/> ロータリー財団
<input type="checkbox"/> 奉仕
<input type="checkbox"/> その他:
<input type="checkbox"/> その他:
<input type="checkbox"/> その他: |

4 ローターリー米山記念奨学事業

(米山記念奨学事業の基本と事業の意義)



セッションの目標

- この事業は、いつどのような目的で始められたのか理解する。
- 米山記念奨学金制度の仕組みと特徴を理解する。
- 米山記念奨学事業の意義を理解する。

「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」を参考にしてください。

セッションの問い

1. 米山記念奨学事業はどのようにして始まったのでしょうか。(資料1:P89)
2. 米山記念奨学金制度をクラブはどのように支援していますか。(資料1:P89)
3. 外国人に対する奨学金制度は多くありますが、米山記念奨学事業の特徴は何でしょうか。(資料1:P89)
4. 米山記念奨学生をお世話したことがありますか。米山学友を知っていますか。

まとめ

- 民間最大の国際奨学事業
- 日本と世界の平和の架け橋になる人材を育てる日本のロータリー全地区による国際奉仕事業(多地区合同プロジェクト)

セッション4 資料

米山記念奨学事業基礎知識

(「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」より)

1 ロータリー米山記念奨学事業とは

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

70年にわたって受け継がれている事業

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい――。

1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい…という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」
(「ロータリー米山記念奨学会史」より)

日本のロータリーによる多地区合同活動

クラブ単独事業として始まったこの事業は、わずか5年で日本全国の共同事業へと発展。1967年には文部省(当時)を主務官庁とする(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。歴史的にも世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同活動となっています。

事業の特徴は交流を大切にしていることです。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。また、奨学期間終了後も「ロータリー学友」として、国際ロータリーの国際的コ

コミュニティに参加することができます。

特長その1 世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。さらに、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。

特長その2 日本最大の民間国際奨学事業

2021 学年度の奨学生数は 900 人、事業費 14 億 4 千万円（2022-23 年度決算）と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は 23,509 人（2023 年 7 月現在）、その出身国は世界 131 の国と地域に及びます。

2 ロータリー米山記念奨学会のあゆみ

1946●米山梅吉氏逝去

1952●東京 RC が奨学事業の構想を立案

1953●「米山基金」の募金開始

1954●奨学生第 1 号のソムチャード氏がタイより来日

1957●全国組織とすべく、財団法人化を前提とした「ロータリー米山奨学委員会」を結成

1958●新組織初の奨学生 8 人を採用

1959●世話クラブ制度設置

1960●「ロータリー米山記念奨学会」と改称

1967●文部省から財団法人の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立

1971●カウンセラー制度設置

1972●米山功労者制度の設定

1978●特別寄付金への免税措置の認可を得る

1981●CY 奨学金（現：クラブ支援奨学金）制度開始

1983●台湾米山学友会（扶輪米山会）正式発足

1985●国内初の米山学友会（関東）が誕生

1989●韓国米山学友会正式発足

●4 月採用から元ロータリー所在国へ門戸を開く

1999●4 月採用から全ての国・地域が対象となる

2001●日本政府から留学生交流功労団体として表彰される

2002●4 月採用から指定校・大学推薦制度を全国で施行

2004●大阪国際大会に初ブース出展

●RI 理事会で米山記念奨学事業が賞賛を受ける

2005●4 月採用から採用数・奨学金額を縮減

- 2006●制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」、「地区奨励奨学金」
- 2007●日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続が完了
- 2008●ホームカミング制度がスタート
- 2009●中国米山学友会正式発足
- 2010●第 2750 地区に東京米山友愛 RC 創立
- 2012●「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる
 - タイ米山学友会設立
 - タイ・バンコク国際大会にブース出展
- 2013●ロータリー世界平和フォーラム広島にブース出展
- 1989●ネパール米山学友会設立
- 2014●モンゴル米山学友会設立
- 2016●ソウル国際大会にブース出展。初の分科会開催。
 - スリランカ米山学友会設立。
 - マレーシア米山学友会設立
- 2017●ミャンマー米山学友会設立
 - 財団設立 50 周年
- 2018●財団設立 50 周年記念式典
 - 内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体に認定
- 2023●ベトナム南米山学友会が正式発足
- 2023●2023 学年度 奨学生 900 人
累計奨学生 131 カ国、23,509 人

「米山学友による世界大会」第 3 回米山学友による世界大会「再会 in 関東」

過去最多の 1,000 人超え第 3 回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（主催：関東 10 地区米山学友会）が 2023 年 8 月 5 日、つくば国際会議場で開催されました。世界 38 カ国の米山学友と現役奨学生 638 人、ロータリアン 447 人、その他家族などを含め、登録者数は総勢 1,209 人となり、広い会場は超満員となりました。



ステージで「米山の絆」を合唱

朴実行委員長(左)へ引き継がれた大会のシンボル

オープニングセレモニーでは、第 2 回世界大会「絆 in モンゴル」実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさん（1998-99/山形北 RC）から、「再会 in 関東」実行委員長の朴貞子さん（2006-08/岸和田 RC）へ米山世界大会シンボルの引き渡しが行われました。

「米山学友の在り方と世界大会の開催意義」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、ファシリテーターの第 2750 地区宮崎陽市郎ガバナーと米山学友 5 人が登壇し、奨学生時代の思い出や、当事業への思いが語られました。その後、今年 7 月から活動を開始した第 5 代よねやま親善大使 3 人による自己紹介、米山梅吉記念館についての紹介を挟み、百人合唱祭ではテーマソングである「米山の絆」の大合唱が行われ、会場は熱気に包まれました。次回の第 4 回となる世界大会の開催地は台湾に決定。2026 年 6 月に開催予定です。（ハイライトよねやま 281 より抜粋）

5 ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕

ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することができます。



セッションの目標

- 補助金モデルのクラブにおける重要性を議論する。
- シェアシステムの仕組みを理解する
- ロータリーの『7つの重点分野』の役割について学ぶ。
- 補助金モデルにとって、『持続可能性』の重要性について理解を深める。

セッションの問い

- 1) ロータリー財団の使命について、ざっと振り返ってみましょう。

Part I の復習

ロータリー財団は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるように支援することである。(ロータリー財団章典 10.020. 2020年6月管理委員会会合、決定131号)

- 2) ロータリー財団の補助金モデルはどのような種類がありますか？(資料1:P94)
また、それぞれの補助金はどのように使われるのでしょうか？
- 3) 私の寄付はどのような仕組みで活用されているのでしょうか。(シェアシステム)
(資料2:P95)
- 4) 7つの重点分野について考えてみましょう。なぜ7つの重点分野が重要なのでしょうか。(資料3:P96)

5) 『持続可能性』(sustainable) とは、どのような意味でしょうか？プロジェクトにおける『持続可能性』の意義は何でしょうか？(資料4:P97)

まとめ

- ロータリー財団は、ロータリアンが補助金を使って「世界でよいことをしよう (Do Good in the World)」ことを可能にします。
- 重点分野では、持続可能なプロジェクトを立案するために、力を集中し、協力することができます。

セッション5 資料1 補助金モデル

財団補助金	
地区補助金	グローバル補助金
<p>地元や海外の地域社会のニーズに取り組む小規模で短期の活動に資金を提供します。各地区は、この補助金でどの活動に資金を提供するかを決定します。</p>	<p>ロータリーの重点分野において、持続可能で測定可能な成果をもたらす大規模な国際活動を支援する。補助金提唱者は、地域社会の真のニーズに応える国際的な協力関係を築きます。</p>
<p>奉仕活動のための旅行や災害復興活動を含む人道的プロジェクト レベル、期間、場所、分野を問わない奨学金制度 青少年プログラム（ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ローターアクト、インターアクトなど 職業研修チーム（専門職業人のグループ）は、現地の専門職業人にその分野について教えるため、または自分自身がその分野についてラーニングを学ぶために海外を訪れます。 奉仕プロジェクトは、自由にカスタマイズすることができます。</p>	<p>2カ国のクラブが必要</p> <p>グローバル補助金 人道的プロジェクト 大学院レベルの学術研究のための奨学金 職業研修チーム（現地の専門職業人にその分野について教えるため、または自らもその分野について学ぶために海外に赴く専門職業人のグループ）。</p>

補助金の要件については、「ロータリー財団地区補助金およびグローバル補助金の授与と受諾の条件」をご参照ください。

地域社会のニーズ調査が義務付けられています。（参考：地域社会のニーズ調査ツール 605-JA）

大規模プログラムとは

大規模プログラム（Programs of Scale）は、ロータリーの会員が主導する長期的で影響力の大きいプログラムを支援するものです。

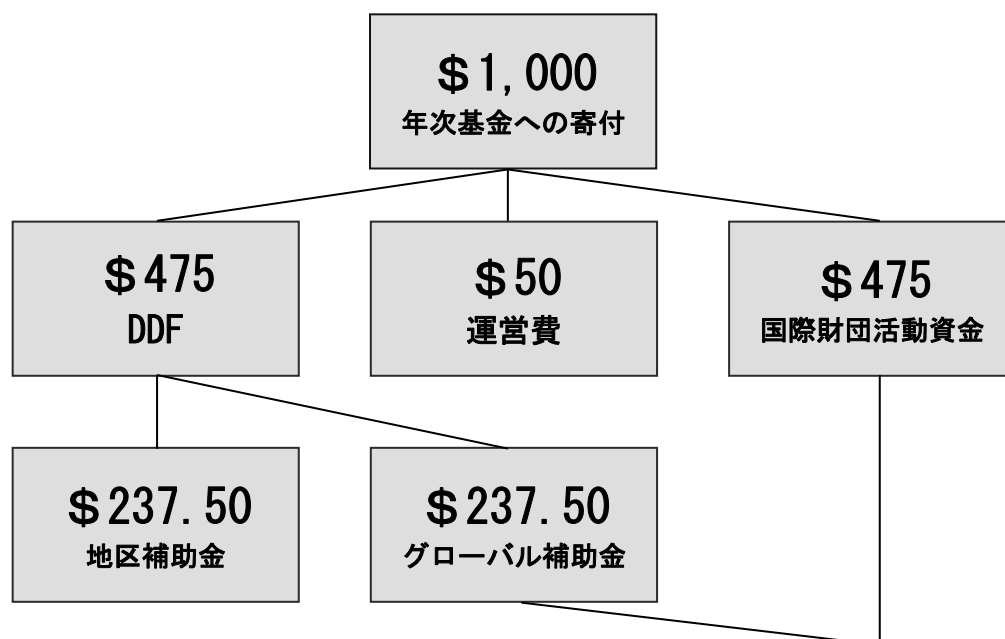
これらのプログラムは以下の通りです。

- 変化をもたらす上で既に成功を収めている、実証に基づくプログラムであること。
- 現地のニーズ、優先事項、制度的な構造と予定されている受益者に相応していること。
- 異なるコミュニティや人々のグループなど、新たな環境に意図された利益をもたらすために、適切な利害関係者や制度が関与し、成長する準備ができていること。
- しっかりとしたプログラム・ロジックに基づいて実施され、高潔性のモニタリング、評価、ラーニング・システムを備えていること。
- ロータリーの会員が他団体と協力し、ロータリー独自の強みを生かして指導する。

詳細：<https://my.rotary.org/en/take-action/apply-grants/programs-scale-grants>

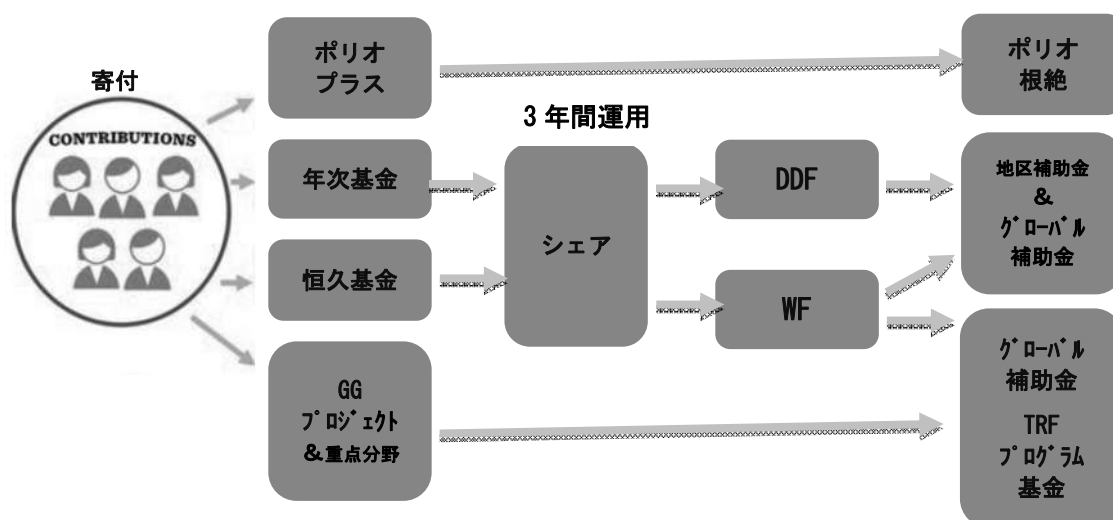
セッション5 資料2 シェアシステムと基金寄付

シェアシステム 2021年7月1日から有効



グローバル補助金に関して、DDF に対する WF からのマッチングは 0.80 : 1
ポリオプラスに関して、WF からのマッチングは 0.5 : 1、さらに
ビル&メリンダゲイツ財団からのマッチングは 2 : 1

DDF : 地区財団活動資金



セッション5 資料3

ロータリー財団の重点分野

ロータリー財団は、地域社会と世界への影響を最大限に高めるために、具体的な活動目標を定めています。同時に、それぞれの地域社会には独自のニーズや懸念事項があることも理解しています。グローバル補助金やその他のリソースを通じて、クラブが以下の分野に焦点を当てて奉仕活動を行えるよう支援しています。



平和と紛争解決

現在、6,500万人が武力紛争や迫害によって家を追われています。複数の一流大学との提携を通じて、ロータリー平和フェローは、平和活動を強化するスキルを身に付け、紛争を予防し、調停するための地元指導者を研修し、紛争の影響を受けている地域での長期的な平和構築を支援します。ロータリー平和センターでは、年間100名までの平和フェローを派遣しています。



疾病予防と治療

医療費が原因で、毎年1億人以上の人々が貧困に陥っています。ロータリーは、低開発地域で低料金または無料の医療へのアクセスを改善し、拡大することを目指しています。私たちの会員は、ポリオ、HIV/AIDS、マラリアなどの主要な疾病の蔓延を防ぐために、地域社会を教育し、動員しています。私たちのプロジェクトの多くは、医療研修施設が労働者の生活圏にあることを保証しています。



水と衛生

25億人以上の人々が適切な衛生施設を利用できずにいます。少なくとも3,000人の子どもたちが、安全でない水が原因の下痢性疾患で毎日命を落としています。私たちのプロジェクトは、持続可能な水と衛生設備を開発・維持する能力を地域社会に与え、水と衛生に関する研究を支援します。



母子の健康

毎年少なくとも700万人の5歳未満の子どもたちが、栄養不良、不十分な保健ケア、不十分な衛生環境によって命を落としています。この割合を減らすために、私たちは乳幼児に予防接種と抗生物質を提供し、必要な医療サービスへのアクセスを改善し、母子のために訓練を受けた医療提供者を支援しています。私たちのプロジェクトは、地域コミュニティが医療トレーニングプログラムのオーナーシップを持てるようにすることで、持続可能性を確保しています。



基本的教育と識字率向上

世界で6,700万人の子どもたちが教育を受けられず、7億7,500万人以上の15歳以上の人々は読み書きができません。私たちの目標は、基礎教育と識字を支援する地域社会の能力を強化し、教育における男女格差を是正し、成人の識字率を高めることです。



地域社会の経済発展

約14億人の被雇用者が1日1.25ドル以下で生活しています。私たちは経済と地域社会の発展を促進する奉仕事業を実施し、老若男女にまともで生産的な仕事の機会を提供しています。また、貧困にあえぐ地域の起業家やコミュニティーリーダー、特に女性の強化を支援しています。



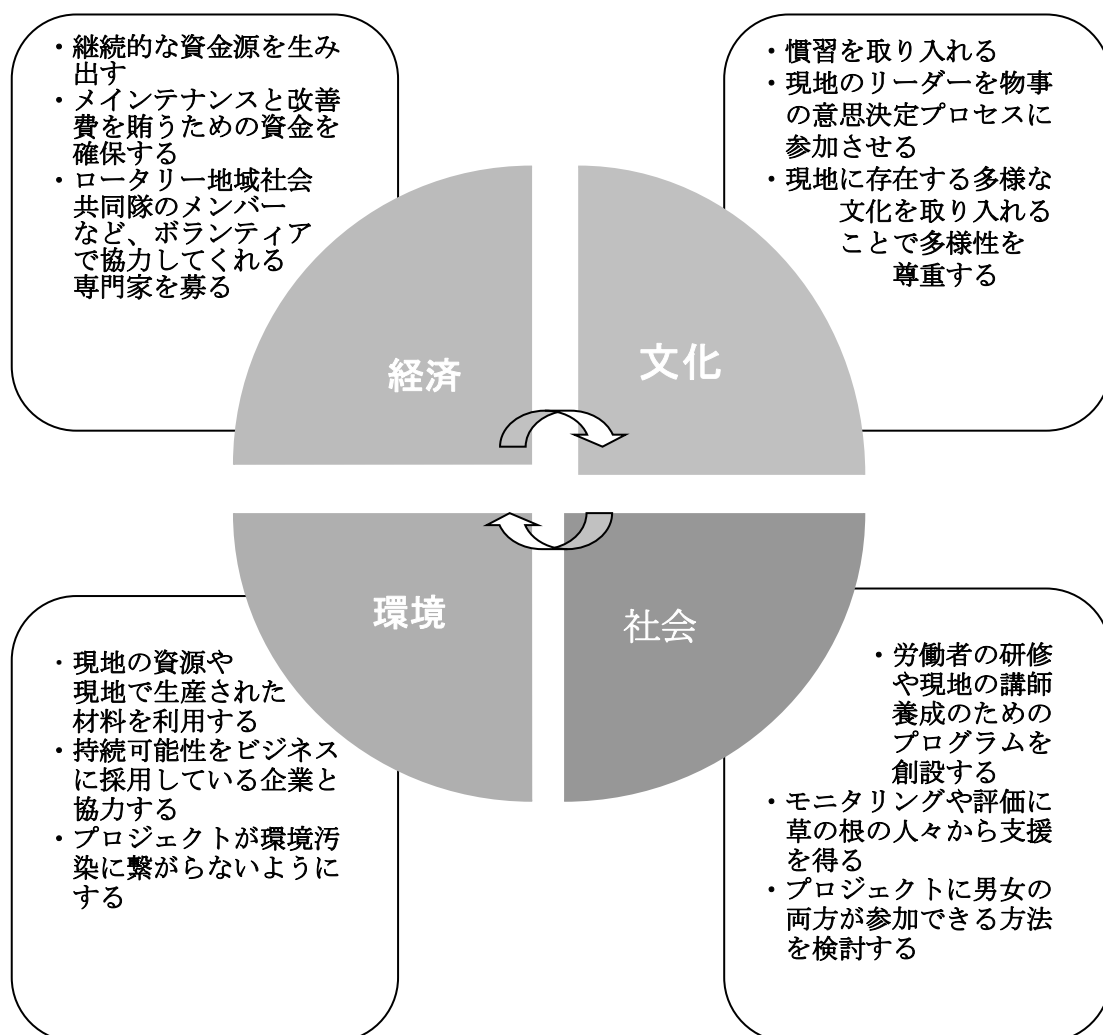
環境支援

最も新しい奉仕分野は、気候変動や、陸上および海洋における持続可能な資源利用など、私たちの世界が直面する課題に取り組み、すべての人々のために貢献することです。

セッション5 資料4 持続可能性とは何か？

持続可能性という言葉はしばしば、『環境にやさしい』という意味で用いられます。しかし、環境問題は持続可能性の単なる一面に過ぎません。経済、文化、そして社会的要因も同様に重要です。これらの4つの分野すべてにおいて持続可能性に取り組み、人道的プロジェクトを実施した地域社会の利益を長期的なものにする良い機会となります。各分野で持続可能性をプロジェクトに採用する方法を、以下にいくつかご紹介します。

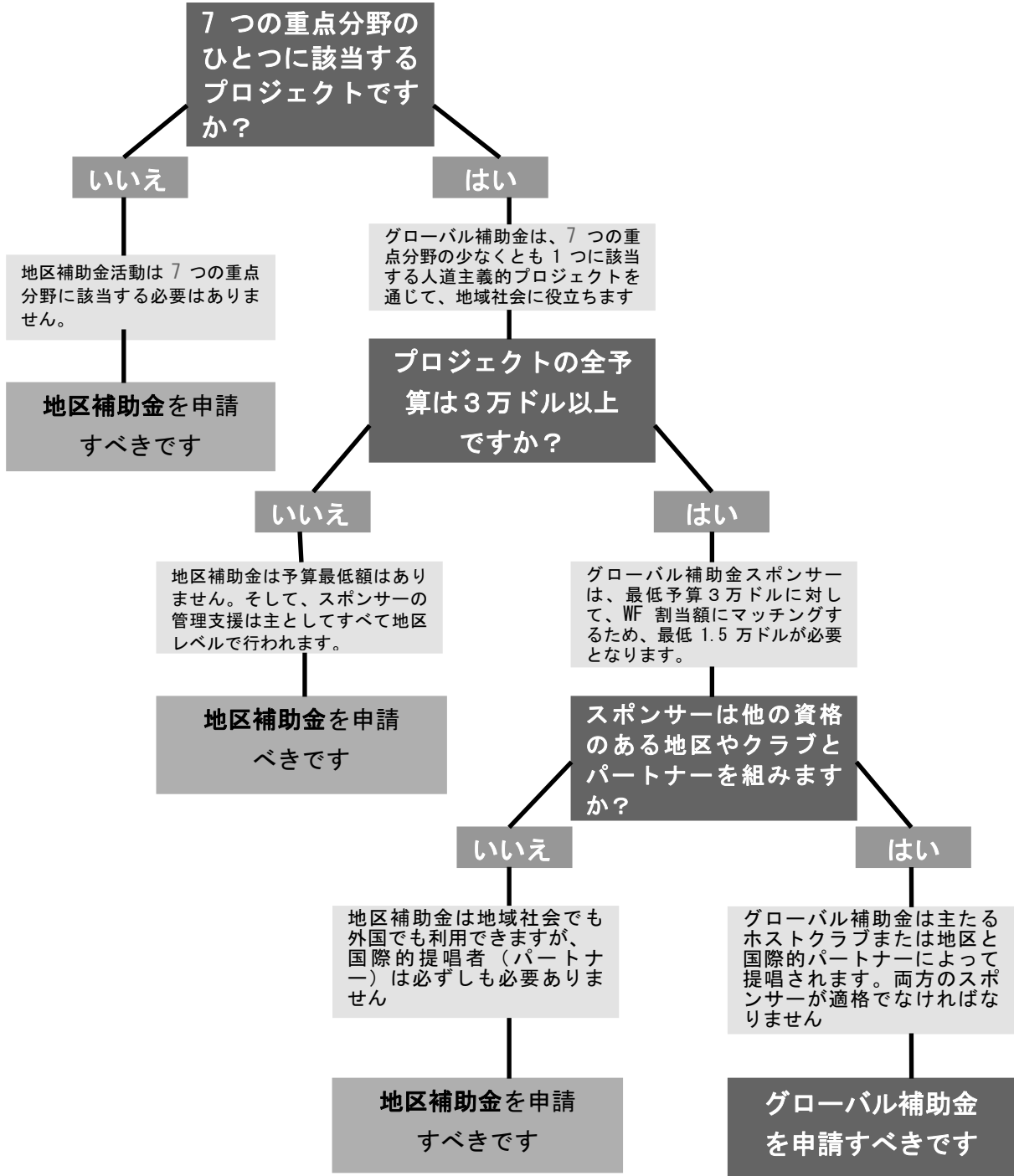
(The Rotarian 2012年2月)



セッション5 資料5 補助金モデルフローチャート

人道的プロジェクトの補助金のタイプを決定する

地区/クラブは人道的プロジェクトに関心があります。次の質問は、ロータリアンのスポンサー（援助提供者）が、グローバル補助金に申請するのか、地区補助金にするかを決定する時に役立ちます。



6 強いクラブを創る



私のロータリーの旅を進めるに従い、私はロータリーの約束を実現することに手を貸すことが出来ます。

セッションの目標

- 時代によって変わる社会のロータリーに対する期待を検討する。
- 結果的に、期待に応えられたもの、応えられなかったものを考察する。
- 社会に対するロータリーの約束*(promise)を果たすために、どのような手助けができるかを考える。

*ロータリーの約束 (promise)

ロータリーは、ポリオの根絶や平和の実現という大きな夢を持っており、これを実現することを広く社会に約束しています。また、RIの使命の達成、TRFの使命の達成についても社会に宣言し、達成して行く事を約束しています。

セッションの問い：

- 1) ロータリーは社会からどのような期待をされていると思いますか。
- 2) クラブ会員は、ロータリーにどのような期待をしていると思いますか。
- 3) あなたのクラブは五大奉仕を通じてこれらの期待に対してどのように対応するか、考えてみてください。これを実行するに当たりあなたの役割は何ですか？（パート 1 セッション 3 資料 1 : P19)
- 4) 「ロータリーの約束」*といった場合、それは何を意味しますか？議論してください。
- 5) この議論を踏まえて、あなたはあなたのクラブをどのようにしてより強くすることができますか？
『クラブの健康チェック』（資料2 : P101) でクラブの現状を確認してみましょう。

まとめ

- 強いクラブは、計画と実行の結果である

セッション6 資料1

クラブのミーティングやイベントを盛り上げるアイデア

クラブ内でスピードネットワーキング・イベントを開催し、会員が人間関係を築けるようにする。

月に1回、地域社会で奉仕活動を行うための例会を設ける。

小グループに分かれて定期的に会合を開き（ロータリーの最初の会合に似ている）、以下のいずれかに焦点を当てる。

- ロータリーの学び、会員同士の親睦、委員会の計画、……。

クラブ例会の形式を変える。これには、以下のような方法があります。

- 家族に例会の運営を任せる。
- 他クラブの人を招き、さまざまな例会形式を採用した方法について話してもらう。
- ローターアクターやインターアクターと協力し、相互に計画した例会を実施する。
- 「退会した会員」を例会に招く
- 何らかの理由でクラブを退会した元会長を再び招く
- 例会の時間や場所を変更する
- 月に1度、職業に関する時間（または5分間）を設ける
- 月に一度、財団の時間を設ける
- 例会の代わりに、地元の別のクラブの例会に出席してもらう
- 年に1~2回、地元の企業で会合を開く
- 会員とゲストが到着した際に出迎える「出迎え係」を置く
- 年に1回、クラブの活動から恩恵を受けた地元のすべての団体を「祝賀」例会に招待する。

セッション6 資料2 クラブの健康チェック



健康を維持し、病気を予防するには、定期的な健康診断が欠かせません。これと同じように、クラブを定期的に診断して問題点を見つけ、その対処法を探ることが大切です。この資料は、クラブリーダーがクラブの現状を把握し、会員と地域社会にとってクラブが価値ある存在であり続けるために何ができるかを考えることを目的としています。まずは過去12カ月間を振り返り、あなたのクラブに当てはまる項目に印をつけてクラブの健康度をチェックした上で、その結果をクラブ役員と話し合しましょう。印がつかない項目が四つ以上あるセクションは、重点的に取り組む必要があるかもしれません。問題のある分野を見つけたら、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう。

クラブでの経験



クラブで充実した時間を過ごしている会員は、退会を考えることはないでしょう。会員が心から楽しみ、意欲的に活動していれば、周囲の人にもそれが伝わり、クラブ全体の活気が高まります。大切なのは、例会や奉仕活動に参加するだけでなく、仲間との交流を楽しみ、ロータリー会員であることに誇りをもてることです。

- 私は例会やその他のクラブ活動を楽しみにしている。
- 例会の内容は、興味深く、意義があり、多様性に富んでいる。
- 例会で会員や来訪者を迎え入れる挨拶係がいる。
- 例会はしっかりと企画、運営されている。
- 会員は毎回の例会で違う人と会話するようにしている。
- クラブで新しい友人を作ることができた。
- 会員の体験を充実させるために、新しいこと（活動、例会の方法や形式、奉仕、親睦など）に挑戦している。
- 卓話ゲストを選ぶ際／来訪者を迎え入れる際／ディスカッションのトピックや奉仕活動を選ぶ際に、インクルーシブ（包摂的）であることを心がけている。
- 役員だけでなく、ほかの会員も地区や国際的なロータリー行事に参加している。
- ほとんどの会員がロータリーの奉仕部門と重点分野について知っており、プロジェクトに参加し、クラブの一員であることを誇りとしている。
- 会員がそれぞれ支援を望む活動や分野に寄付できるようにしている。
- 会員を賞に推薦したり、表彰したりすることで、その奉仕、参加、寄付に感謝の意を示している。
- ロータリーを通じて海外とのネットワークを築いてきた。
- 来訪者に自己紹介をしてもらい、再び招待するようにしている。
- 柔軟な例会の方法（バーチャルまたは対面式での出席、欠席した場合に例会の録画を見る、など）を会員に提供している。

コメント欄

次のページで診断と処方箋をご覧ください



☑ 診断



期待通りの体験ができないと感じている会員は、クラブへの不満が原因で退会してしまうリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
例会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新しいことを例会に取り入れる。 ⊕ 直接対面式で例会ができないときにオンライン例会を開く。または、希望する会員や会場に来られない会員がバーチャル形式で出席することを認める。 ⊕ デジタルの分野が得意なクラブ/地区の会員を見つけ、オンライン例会を運営/援助してもらう。 ⊕ 国際ロータリー事務局のクラブ・地区支援担当職員に連絡してアイデアを得る。
クラブを超えたロータリーでの体験	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ほかのローターアクトクラブまたはロータリークラブのスポンサーとなる。 ⊕ インターアクトクラブを設立するか、インターアクトクラブと一緒に活動する。 ⊕ ロータリーの各種プログラムを会員に紹介し、参加を奨励する。RYLAを実施/奨学金を提供/青少年交換に参加する。 ⊕ ロータリー友情交換やロータリー行動グループへの参加を呼びかける。 ⊕ 全会員が参加できる地区行事への出席を奨励する。参加経験者に体験談や参加のメリットを話してもらう。 ⊕ 地元や海外のロータリーとローターアクトの活動（ポリオ根絶を含む）を紹介する。 ⊕ 地元のトーストマスターズクラブと協力して、会員がリーダーシップとコミュニケーションのスキルを磨く機会を提供する。 ⊕ ほかのクラブを訪問して新しい人と出会い、自分のクラブで実施できる活動のアイデアを得る。
期待に沿わない体験	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員満足度調査を活用して、会員が例会に何を望むかを調べ、期待通りの体験ができるように改善する。 ⊕ リーダーシップスキルを高めるために、トーストマスターズ・インターナショナルが開発したオンラインコースの利用を会員に勧める。

奉仕と親睦



ロータリーに入会する理由、および会員であり続ける主な理由は、「地域への奉仕」と「仲間との親睦」です。会員がさまざまな方法でクラブに参加できるよう、バラエティーに富んだ親睦行事や奉仕活動を企画し、楽しく、意義ある形で地域に貢献できるようにしましょう。

- 親睦や交流を目的とした集まり（例会以外）を定期的に行っている。
- 家族や友人同伴で例会や行事に出席することを奨励している。
- 会員がリーダーシップを発揮する機会や、職業的に成長できる機会がある。
- ロータリーファミリーのメンバー（インターアクター、ロータリー青少年交換学生、ロータリー平和フェローなど）を例会や行事に招いている。
- ローターアクトまたはインターアクトクラブをスポンサーしている／青少年交換学生または新世代交換に参加している／RYLA行事を実施している。
- 協力団体や支援者、学友と直接連絡を取り合っている。
- 実施するプロジェクトを決める前に、地域社会のニーズについて地元リーダーや市民の声を聞くようにしている。
- 新しいプロジェクトを選ぶ前に、My ROTARYのフォーラムを参照したり、プロジェクトフェアに参加したり、財団専門家グループや協力団体に相談したりしてアイデアを得ている。
- 奉仕プロジェクトが進行中である。
- 奉仕活動や親睦活動について会員が要望や意見を述べる機会を設けている。
- ロータリーの重点分野に沿った奉仕プロジェクトを実施している。
- 奉仕プロジェクトのためにロータリーの補助金を申請／活用した。
- 毎年少なくとも一人の会員がロータリー財団補助金管理セミナーに出席している。
- ロータリー財団に寄付している。
- ロータリー財団委員長と奉仕プロジェクト委員長がいる。

コメント欄



人びととつながりながら奉仕活動ができることは、ロータリーの大きな魅力の一つです。親睦と奉仕活動に参加できる機会が少なければ、退会につながるリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
奉仕の機会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ インターアクトクラブをスポンサー／RYLAを実施／奨学金を提供／青少年交換に参加／ロータリー行動グループに参加／ロータリー平和センターを支援する。 ⊕ ロータリーの新世代交換プログラムを会員に紹介する。
プロジェクトの質	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「地域調査の方法」と「グローバル補助金ガイド」を参照して、プロジェクトの質を高める。 ⊕ 奉仕プロジェクトについて財団専門家グループのメンバーに相談する。 ⊕ クラブが実施した奉仕プロジェクトの評価を行い、今後もそのプロジェクトを続けていくかどうかを判断する。
親睦	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 親睦を目的とした行事を担当する会員を1～2名決める。 ⊕ ロータリー親睦活動グループに参加する。 ⊕ 異なる時間帯や形式のさまざまな行事を見つける、または実施する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員がリーダーシップスキルを磨き、発揮できるようにする。ラーニングセンターのコースカタログにある専門能力開発のコースを会員に紹介する。 ⊕ 新会員や若い会員にリーダー職に任命する。

会員増強



健康的なクラブは、変化しながら成長します。会員の多様な考え方や経験は、革新を促し、地域のニーズを見極める上で欠かせないものです。ロータリーが実施した調査によると、よくある退会理由の一つとして「リーダーが新しいアイデアに耳を傾けてくれない」というものがあります。会員の意欲を高めるには、クラブに対して会員がどう感じているのかに注意し、方針や方向性を定める際に会員の声を取り入れることが重要です。ロータリークラブ・セントラルで、クラブの会員増強の傾向と最新の統計を見てみましょう。

- 過去1年間に会員が純増した。
- 過去1年間に多様な会員（女性会員、若い世代の会員など）が純増した。
- 民族や人種という点で地域社会の多様性を反映している。
- まだ会員がいない職業分類での入会促進に力を注いでいる。
- 新会員の入会式とオリエンテーションを実施し、情報資料や参加の機会を提供している。
- ロータリー学友（元ローターアクター、元青少年交換学生、元平和フェロー、ほかのプログラムの元参加者）のかかわりを積極的に促している。
- 各会員の貢献への感謝やねぎらいを示している。
- 毎年、少なくとも90%の会員を維持している。
- 会員の少なくとも75%が、奉仕プロジェクトに直接参加したり、リーダー的役割、そのほかのクラブの役割にかかわっている。
- クラブに紹介された入会候補者情報を確認し、候補者に連絡する担当者を決めている。
- 新会員と既存会員の両方に対し、会員であることの恩典を説明している。
- 先輩会員が新会員とペアになって助言や指導を行う仕組み（メンタリング）を取り入れている。
- 職業や関心事について会員が例会で卓話をする機会を設けている。
- クラブ会員増強委員会があり、入会と会員の参加促進に取り組んでいる。
- 会員をもった地区行事やロータリー関連セミナーに会員が出席している。

コメント欄



多様性を欠くクラブは、時代に沿わない退屈な場所となり、会員や地域社会にとって価値が少ない存在となる危険性があります。ロータリーは、会員基盤の成長に役立つさまざまなツールや資料を提供しています。健康チェックで印がなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
会員の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>会員の多様性調査</u>を活用して、多様な会員の入会を促進する。 ⊕ <u>多様性・公平さ・インクルージョン (DEI)</u> へのロータリーのコミットメントと取り組みについて学ぶ。
職業の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>専門能力開発</u>のための各種コースを推奨することで、会員のスキルアップを図る。
会員数の停滞や減少	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員増強計画を立てる。 ⊕ 入会候補者を見つけ、候補者情報を管理する方法を学ぶ。 ⊕ <u>入会候補者情報ワークシート</u>を使って入会候補者の情報を集める。 ⊕ 新会員を推薦する方法を会員に説明する。また、ほかのクラブに入会者を紹介できることを説明する。 ⊕ 例会以外にもロータリーに参加できる数多くの方法があることを伝える。
会員の退会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>会員満足度調査</u>を実施して、クラブに対する会員の満足度を測る。 ⊕ <u>会員維持調査</u>を実施して、退会の傾向や関心維持の方法を探る。 ⊕ <u>退会者アンケート</u>を活用して退会理由を理解し、改善に取り組む。 ⊕ 退会する会員に対し、<u>再入会</u>や<u>移籍</u>の選択肢があること、また退会後も連絡を取り続けることができることを伝える。 ⊕ 二重会員となることを検討するようローターアクターに奨励する。
オリエンテーションとロータリーの知識	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>新会員のためのオリエンテーション</u>と<u>専門能力開発</u>の機会を提供し、ロータリーのラーニングセンターの活用を勧める。

公共イメージ



楽しみながら地域に貢献しているクラブは、会員が活発になるだけでなく、入会候補者の目にも魅力的に映ります。地域社会や入会候補者との関係を築く上で、クラブのイメージはとても重要です。奉仕活動を実施する際にはクラブへの認知度アップを意識し、クラブが地域に根ざしてニーズに取り組んでいることをアピールしましょう。

- 魅力的なデザインのウェブサイトをつくり、クラブの活動や入会のメリットなど公共向けの情報を発信している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントがあり、クラブの活動とそのインパクトを紹介している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントは、幅広い人にリーチしている。
- 昨年、地元メディアで数回にわたりクラブが取り上げられた。
- 地元メディアを通じてクラブやロータリーを紹介している（テレビ、ラジオ、広告など）。
- 奉仕活動にメディア関係者を招き、報道してもらっている。
- クラブで使用している資料は、ロータリーのブランドガイドラインに沿っている。
- 行動人としての会員の姿を示すために、ロータリーのブランドリソースセンターにある素材やテンプレートを活用している。
- 国際ロータリーから提供される広報用素材（公共奉仕広告、動画、写真、ロゴなど）を活用している。
- 例会場、奉仕プロジェクト、イベント会場にロータリー／ローターアクトの標識やクラブのパナーを掲げている。
- 地域社会でクラブの存在が知られている。
- クラブが地域社会にもたらしているインパクトを紹介したパンフレットを作り、地元の人びとや入会候補者に渡している。
- マーケティングや広報の専門知識をもった会員がいる。
- 例会や活動に参加したゲストや市民に好ましい体験をしてもらうことで、ロータリーの公共イメージを向上させている。
- クラブ公共イメージ委員会があり、イメージ向上と広報に取り組んでいる。

コメント欄



地元での認知度が高ければ高いほど、奉仕活動の効果が高まり、活動に対する人びとの反応も好ましいものとなります。ロータリーのさまざまなリソースをクラブの公共イメージ向上に役立てましょう。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
地域での認知度	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ロータリーの<u>プレスセンター</u>にあるリソースを地元メディアに紹介する。 ⊕ 認知度アップにつながるようなイベントを企画する（ロータリーの<u>ブランドリソースセンター</u>にある「イベント計画ガイド」を参照）。
古くなった資料	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ロータリーのブランドリソースセンターから利用可能なテンプレートを使い、クラブのパンフレットをつくる。 ⊕ 「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドに沿って資料を作成する。 ⊕ 資料やコミュニケーションを作成する際に、ロータリーの動画や独自の写真を活用する。
オンライン上の存在感	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ オンラインツールに強い会員を見つけ、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアを管理してもらう。 ⊕ ラーニングセンターで「<u>ロータリーブランド</u>」のコースを利用する。 ⊕ ロータリーの動画や独自の写真・動画を活用する。 ⊕ ロータリーのソーシャルメディアキットを活用して、オンラインでのクラブの存在感を強める。
マーケティング・広報	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「<u>クラブ公共イメージ委員会の基本</u>」からアイデアを得る。広報の経験がある会員を広報委員会に任命する。 ⊕ <u>入会候補者情報ワークシート</u>を活用して、広報やマーケティング分野の新会員を募る。 ⊕ <u>ブランドリソースセンター</u>にある<u>ソーシャルメディアキット</u>を利用して、クラブのソーシャルメディアを効果的に活用する。

運営



クラブの未来についてリーダーが真剣に考えているクラブは、円滑に運営され、成長していくものです。元気なクラブづくりにおいては、リーダーの育成、戦略計画の立案、引継ぎ計画が極めて重要となります。

- 戦略計画があり、定期的に更新している。
- 年次目標を定め、これをロータリークラブ・セントラルに入力している。
- ロータリー賞の受賞に向けて努力し、頻繁にロータリー賞を受賞している。
- クラブ理事会が少なくとも四半期に一度会合し、クラブ戦略計画の見直しや、目標に向けた進捗の確認、(必要に応じて) 細則その他の資料の調整を行っている。
- 理事会は、改善すべき点には随時変更を取り入れ、これに基づいてクラブ細則を更新している。
- 将来のリーダーを見つけ、育成するプロセスを確立している。これには、各役職に就くための研修、文書や記録の引き継ぎ、現・元・次期役員による合同決定などが含まれる。
- 会長がPETSに出席し、そのほかの役員やリーダーも地区研修・協議会に出席している。
- クラブのリーダーはMy ROTARYを活用してロータリーの手続きを行っている。
- 12月31日までに次期役員を選び、2月1日までに国際ロータリーに報告している。
- 幹事は、新会員の入会后30日以内にこれを報告している。
- 次年度予算の作成と承認を行い、会計を任命し、運営と寄付(または奉仕プロジェクトの資金)のための口座をそれぞれ別個に設けている。
- 募金目標を定め、さまざまな募金活動を通じてこの目標を達成している。
- 毎年、会員満足度調査への記入を会員にお願いし、その結果をクラブに反映させている。
- 会員の半数以上がMy ROTARYにアカウント登録している。
- クラブ管理運営委員会がある。

コメント欄

☑ 診断



リーダーのスキルや熱意が足りない、または会員のニーズが考慮されないクラブでは、会員の意欲や活動の効果が薄れ、時代遅れとなり、会員の減少を招くことになります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
戦略計画と目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「<u>戦略計画ガイド</u>」を活用して、クラブのビジョンを描き、長期目標と年次目標を立てる。 ⊕ <u>ロータリークラブ・セントラル</u>で設定した目標の半分以上を達成してロータリー賞の受賞を目指す。 ⊕ ローターアクトクラブは<u>ロータリー賞の目標と達成のワークシート</u>を活用する。 ⊕ クラブ理事会だけでなく、クラブ全体にとって意義のある目標を選ぶ。 ⊕ <u>会員増強ガイド</u>を活用して、会員増強計画を立てる。
革新性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新しい会員種類（家族会員など）を導入した場合は、これを反映させるためにクラブ細則を修正する。 ⊕ 「<u>クラブの種類・形式・モデル</u>」の資料を参照し、会員に提供できる体験について検討する。
手続き	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>新会員の入会とオリエンテーション</u>、紹介された<u>入会候補者</u>への連絡、新会員の推薦、リーダーシップの引継ぎなど、諸々の標準手続きを定める。 ⊕ <u>会員満足度アンケート</u>を活用する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ オンラインのラーニングセンターで<u>クラブリーダー向けの学習プラン</u>を利用し、アイデアや情報を得る。 ⊕ リーダーシップ研修を実施し、ラーニングセンターの<u>専門能力開発のための各種コース</u>利用を奨励する。
資金管理	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「<u>クラブロータリー財団委員会の基本</u>」のオンラインコースを利用し、寄付の選択肢について学ぶ。 ⊕ 「<u>クラブ会計の基本</u>」でベストプラクティスを学ぶ。
My ROTARYでのクラブ管理	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ My ROTARYの「<u>クラブの運営</u>」のセクションから各種レポートを見たり、会員情報の追加・更新・削除を行ったり、入会候補者の情報を管理したりする。（留意点：ローターアクトの場合、My ROTARYの「クラブの運営」ページを利用できるのはクラブ会長のみとなります。）

次のステップ



「クラブの健康チェック」は、元気なクラブづくりの第一歩です。印が最も多くついた分野、最も少なかった分野を確認し、これを基にクラブの健康診断をして、対処方法を検討しましょう。病院では、健康診断で医者がアドバイスをし、問題があれば薬を処方してくれます。このアドバイスを無視したり、処方薬を飲まなかったりすれば、せっかくの健康診断も意味がありません。これと同じように、診断結果を真剣に受け止め、対処方法を考えて、問題のある分野に早めに取り組みましょう。

ポール・ハリスは次のように述べました：「願わくは、私たちの幸せがさらなる奉仕をもたらすように」。地域社会とそのニーズは時代とともに変化し、ロータリークラブが地域に貢献し続けるには、この変化に対応する必要があります。クラブの健康を定期的にチェックし、常に新鮮な気持ちで元気なクラブづくりを心がけましょう。

次のステップ

1. 各セクションのスコアを以下に記録してください。印のついた一項目につき、1ポイントとなります。

カテゴリー	スコア
クラブでの経験	
奉仕と交流	
会員増強	
公共イメージ	
運営	

2. 最もスコアの低かったカテゴリーをご覧ください。「処方箋」に提案されている対処方法を、どのように実行できるでしょうか。次のステップを以下に記入してください。

実行項目	実行スケジュール	責任者

役立つリソース

[クラブ計画アシスタンス](#)

[会員増強のための評価ツール](#)

[会員増強のリソース](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ラーニングセンター](#)



2540-JA-(921)

セッション6 資料3 (参考)

世代間の違い (米国の分類)

ベビーブーム以前 (1946 年以前) 生まれの伝統主義者

- サイレント世代...退役軍人... 若干の " 生き残り "...
- 愛国心、チームワークを重んじる
- より少ないものでより多くのことをする
- よりフォーマルな服装をし、他人からもそれを期待される
- 会議には早めに到着する
- 適切な場合は「準備」を手伝う
- 会議の正式な (そして多くの場合書面化された) アジェンダを期待する

ベビーブーマー 1946 年～1964 年生まれ

- 2020 年代に経済的・政治的に影響力を持ち、生活を便利にする製品やサービスを好む。
- 自信にあふれ、自己主張が強い
- 会議の服装はあまりフォーマルではない
- 会議時間には順応性があり、長時間の会議も苦にしない
- パワーポイントなど、視覚的な要素を多用する会議を好む。
- 強い勤労意欲を持ち、クラブの進歩やプロジェクトにも積極的

ジェネレーション X 1965～1976 年生まれ

- 仕事、ボランティア活動、家庭の「バランス」を重視。
- バランスに配慮した会議時間の設定...会議やプロジェクトに○時間かかるとされている場合、X 世代はその時間に退出したがる。
- 多くの経済的課題に対処してきたことから、機知に富み、独立心旺盛。
- クラブミーティングでは伝統主義者への寛容さに欠けることもある。
- クラブが管理することができれば、そのスキルと適応力を発揮する技術的先駆者。

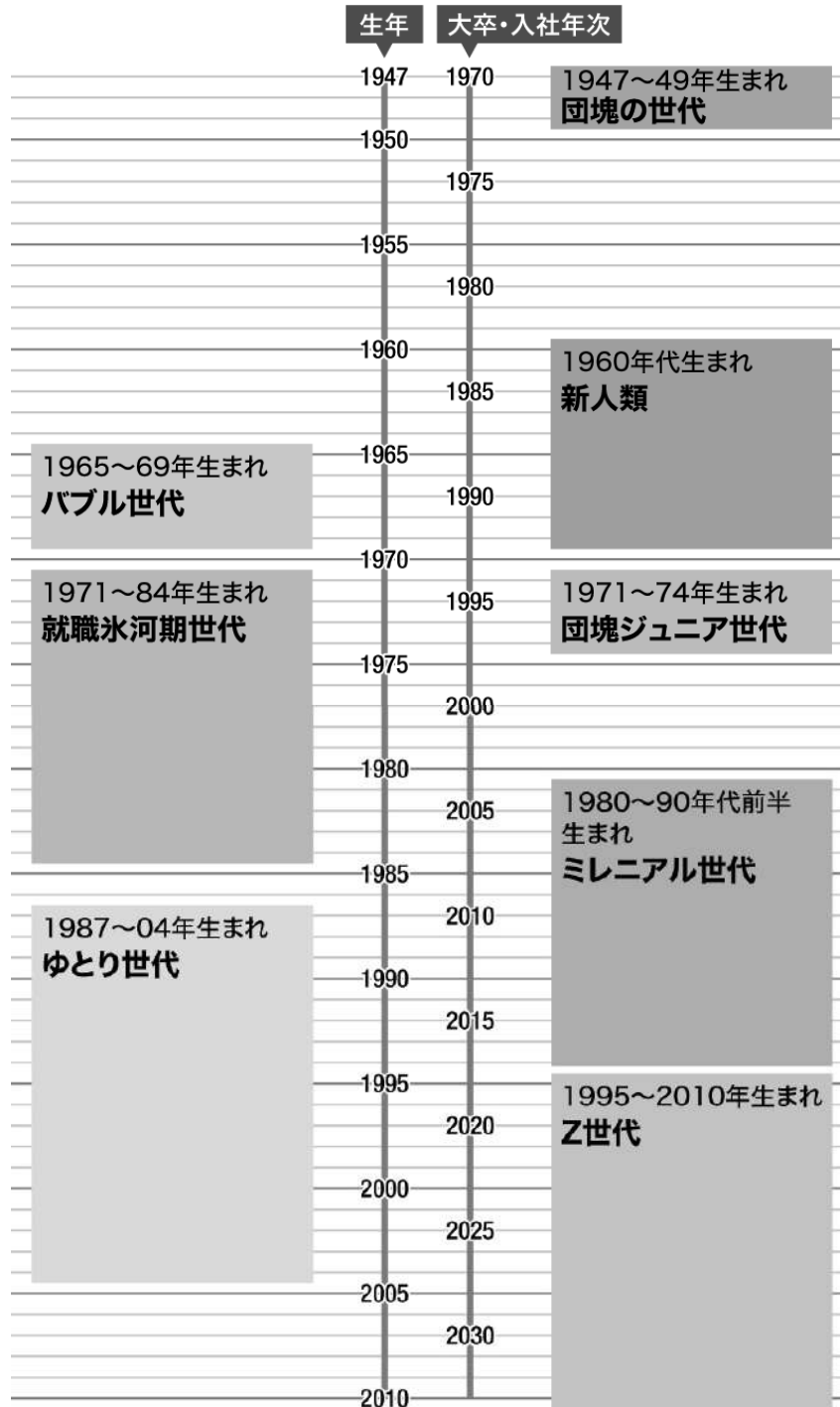
ミレニアル世代 1977～1997 年生まれ

- 技術に精通し、技術に基づく活動に積極的。
- 十分な教育を受け、社会の大きなニーズ (個人のニーズとは異なる) を重視する。
- 女性が初めて男性を上回る
- 会議の目的を知りたがる-いつもこの時間に会議があるからというだけの会議ではない
- 協力的に働く意欲と能力があり、他人にもそれを期待する。

ジェネレーション Z 1997 年以降生まれ

- スマートフォン世代。
- ローターアクトに積極的だが、ロータリーに入ったばかり。
- 多様性を重視する。
- 職場やロータリーの会合に柔軟性を求める
- 旅行が好き
- 節約志向 ... お金を貯めたい
- 仕事とボランティア活動の境界線を設定するのが得意である。

セッション6 資料4 世代間の違い(日本の分類)



※各世代の年の区切りについては諸説ある。

nippon.com



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2023 - 25

パートⅢ

RLI パートⅢ — 私のロータリーの旅

目 次

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムですが、公式なプログラムではありません。

私たちの使命： ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。



- 1. ロータリーの機会 (Rotary Opportunity) …… 117**
ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができます。



- 2. 効果的なリーダーシップ戦略 (Effective Leadership Strategies) ……123**
ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしょう。



- 3. ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕(International Service) ……127**
ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和の支援を通して、世界中にコネクションを築くことができます。



- 4. 公共イメージ (Public Image) …… 130**
ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界が受ける恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。



- 5. 規定審議会・決議審議会 (The Council on Legislation & Council on Resolutions) …… 134**
3年に一度開かれる規定審議会は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。参加者はオープンマインドで、ロータリーにとって何がベストなのかを考えることが求められています。



- 6. 変化をもたらす (Making A Difference) …… 139**
ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

1 ロータリーの機会

ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。



セッションの目標

- ▶ 国際ロータリー (RI) の常設プログラムを知りましょう。
- ▶ 国際ロータリーのプログラムに参加することであなたやあなたのクラブにはどのような変化がうまれるか考える。
- ▶ あなたのそれぞれのプログラムに参加した経験を話し合う。
- ▶ それらに参加することは国際ロータリーの使命とどのように適合するのでしょうか。

セッションの問い

- 1 国際ロータリー (RI) の常設プログラムには、どんなものがあるのでしょうか。
(資料 1 : P118)
- 2 RI の常設プログラムにあなたのクラブは参加していますか？
すでにいずれかのプログラムに参加した経験のあるクラブは、その意義や効果をどのように評価していますか？
- 3 「ロータリー行動グループ」と「ロータリー親睦活動グループ」(資料 2, 3 : P119～122) について考えてみましょう。
- 4 これらのプログラムは、「国際ロータリーの使命」とどう関連づけられるでしょうか。
- 5 これらのプログラムは、ロータリーの行動計画とどのように関係していますか？



国際ロータリーの使命

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである (ロータリー章典 26.010.1)。

セッション1 資料1

国際ロータリーとロータリー財団のプログラム

インタラクティブ (Interact) は、ロータリークラブが提唱し、組織する奉仕団体で、12歳から18歳までの青少年を対象に、リーダーシップのスキルと超我の奉仕に対する感謝の念を育むことを目的としています。145の国と地域に14,900以上のクラブがあり、約342,900人の青少年が参加しています。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (Rotary Youth Leadership Awards) は14歳から30歳までの青少年と若年成人の指導力を奨励し、育成するために、クラブと地区が主催するセミナーです。

自立した国際的グループであるロータリアン行動グループ (Rotarian Action Groups) は、ロータリークラブと地区がそれぞれの専門分野で奉仕プロジェクトを立案、実施する際に支援と援助を提供します。ロータリアン行動グループは、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ロータリーアクターで構成され、特定の奉仕活動に関する専門知識と情熱を持っています。

ロータリー青少年交換 (Rotary Youth Exchange) は、15歳から19歳までの学生に、1週間から1学年度を通じた文化交流のための海外旅行の機会を提供するものです。ロータリークラブと地区は、毎年約10,000人の学生を派遣し、受け入れています。1929年に開始されましたが、公式プログラムとなったのは1975年です。

ロータリー友情交換 (Rotary Friendship Exchange) は、ロータリアンとその家族が相互に他国を訪問し、互いの家庭に滞在して異文化を学び合うものです。

新世代交換 (New Generations Service Exchange) は、30歳までの大学生や社会人を対象とした短期間でカスタマイズ可能なプログラムです。現ロータリーアクターや元インタラクティブ、ロータリー青少年指導者養成プログラム参加者、青少年交換学生など、さまざまな人々が参加できます。交換に参加するためにロータリーの会員である必要はありません。ロータリークラブと地区は、交換のプロセスを通じて、参加者を推薦し、派遣し、受け入れます。新世代交換は2024年7月より、国際ロータリーの公式プログラムではなくなります。このため、国際ロータリーは2024年7月以降、同プログラムへの支援を行うことはありません。ただし、この変更により交換活動自体がなくなるわけではありません。ロータリーでは、地区が引き続き新世代交換プログラムを通じて、交換活動を計画・実施することを奨励しています。

ロータリー地域社会共同隊 (Rotary Community Corps:RCC) は、地域社会の改善に取り組むロータリアン以外の人々のグループです。100カ国以上に11,000以上のRCCがあり、すべてロータリークラブが組織し、提唱しています。

ロータリー親睦活動グループ (Rotary Fellowship) は、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ロータリーアクターから成る自主的で国際的なグループで、親睦、職業開発、新しい友人づくり、新しい奉仕の機会の探求など、さまざまな目的で参加します。

ロータリー平和フェロウシップ (Rotary Peace Fellowships) は、卓越した学業、市民活動、人道的活動によって選ばれたロータリー平和フェローを教育することを通じて、国内および国際協力、平和、紛争解決の成功を推進するものです。世界中の6校以上の大学がこのユニークなプログラムに参加しており、平和と紛争解決の分野で学位または修了証書を取得することができます。(ロータリー平和センターはロータリー財団のプログラムです)



ロータリー行動グループ

「ロータリー行動グループ」は、特定の専門分野における知識と経験を備えた国際的なメンバーから成る、独立したロータリー関連グループです。グループのメンバーは、人道的なインパクトを高めるというロータリーの優先事項に沿って、各自の知識と熱意を生かし、インパクトのある奉仕プロジェクトを計画・実施するためにクラブと地区を援助します。各グループは、RIの方針に沿いながら、独自の管理体制と会員組織をもち、その活動を監督しています。

行動グループへの参加

- どなたでもグループに参加できます。ロータリアン、ローターアクター、平和フェローは、グループのリーダー的役割を担うことができます。
- グループへの参加を通じて、クラブ、地区、国を超えて、仕事のスキルを生かしてアドバイスを提供し、奉仕活動の成功を援助することができます。
- ロータリー行動グループは、同じ志を抱く世界中の人たちとネットワークを築く機会です。

行動グループとの協力

ロータリー行動グループは、メンバーが専門とする分野での奉仕プロジェクトにおいて、クラブや地区と定期的に協力します。以下のような目的のためにグループに連絡することができます：

- 社会奉仕活動やグローバル補助金プロジェクトの計画と実施のために、専門知識をもつメンバーにアドバイスしてもらう。
- プロジェクトで協力できるロータリー内外の団体を見つける。
- プロジェクトの資金調達を援助してもらう。
- グループが実施している代表的プロジェクトを参考にして、地元で同様の活動を実施する。
- 地域社会をより良くするために、クラブや地区での活動のインパクトを高める。
- 地元に住む行動グループメンバーに、地区リソースネットワークに参加してもらう。

行動しよう：

www.rotary.org/ja/actiongroups



ロータリー行動グループ

特定の奉仕分野に関心のある方、また専門知識や経験をお持ちの方は、各ロータリー行動グループのウェブサイトの詳細をご覧ください。



アルツハイマーと認知症	http://adrag.org/
ポリオサバイバー	www.rotarypoliosurvivors.org
マラリア	www.ram-global.org
メンタルヘルス	http://ragonmentalhealth.org
保健教育と福祉	www.hewrag.org
内反足	www.rag4clubfoot.org
地域社会の経済発展	www.ragced.org
基本的教育と識字	www.litrag.org
多発性硬化症	www.rotary-ragmsa.org
失明予防	www.rag4bp.org
家庭内暴力の防止	http://www.ragfamsafe.org
家族の健康／エイズ予防	www.rfha.org
平和	www.rotarianactiongroupforpeace.org
強制労働の防止	https://ragas.online/
月経衛生	https://www.ragmhh.org/
母子のリプロダクティブ・ヘルス	https://rotaryrmch.org/
水と衛生	www.wasrag.org
災害援助	www.dna-rag.com
献血	www.ourblooddrive.org
環境の持続可能性	www.esrag.org
糖尿病	www.rag-diabetes.org
絶滅危惧種	www.rag4es.org
聴覚	www.ifrahl.org
肝炎の根絶	www.ragforhepatitiseradication.org
薬物中毒防止	www.rag-ap.org
難民	https://www.ragforrefugees.org/
食用植物の栽培	http://foodplantsolutions.org

新しいロータリー行動グループを結成する

新しいグループの結成方法は、[こちらのガイド](#) (英語) をご参照ください。すべてのグループは、国際ロータリー理事会の承認を受ける必要があります。

ロータリー行動グループの活動例

- 人口と開発に関するロータリー行動グループは、ドイツ、オーストリア、ナイジェリアのロータリークラブと協力し、ナイジェリアの農村地域にある病院で、新生児と母親の死亡率を減らすプロジェクトを実施しました。
- エイズと家族の健康のためのロータリー行動グループは、毎年アフリカやその他の地域で保健イベントを開催し、多くの住民を対象にHIV検査とカウンセリングも行っています。
- マイクロファイナンスと地域発展のためのロータリー行動グループは、クラブや地区と小口融資金融機関とを結びつけ、貧しい人びとが収入を得るための仕事ができるよう支援しています。

関連資料

- ロータリーの重点分野
www.rotary.org/myrotary/ja/document/589
- ロータリー行動グループ名簿
www.rotary.org/myrotary/en/document/714
- ロータリー行動グループ年次報告書 (英語)
www.rotary.org/myrotary/en/document/713
- 地域調査の方法
www.rotary.org/myrotary/ja/document/578
- プロジェクトのライフサイクル
www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/develop-projects/lifecycle-project

お問い合わせ

Eメール: actiongroups@rotary.org



ロータリー親睦活動グループ

ロータリー親睦活動グループは、共通の趣味、関心、スポーツ、職業を土台としたロータリーメンバーの集まりです。

交流を通じて、専門知識・スキルをさらに磨き、海外に友人をつくれるだけでなく、特技を生かした奉仕活動を実施することもできます。

親睦活動のメリット

- 自分のクラブや国を越えた友情を築く機会となります。
- ロータリーの公共イメージとブランド力を高めます。
- ロータリー入会やロータリー活動への参加を促進します。

親睦活動グループのしくみ

- 各グループは国際ロータリーから独立して運営されます。
- 独自の規定、会費、管理体制をもちます。
- メンバーになれるのは、ロータリアンとその家族、ロータリーのプログラム参加者／学友です。

新しいグループの結成

自分の関心、趣味、職業のグループがない場合は、一緒に新しいグループを結成できるメンバー候補者を探しましょう。

- My ROTARYから開くことのできるフォーラムの関連グループ(または新しいグループを開設)で参加を呼びかける。
- フェイスブック、ツイッター、リンクトインでメンバーを募集する。
- ロータリー国際大会やその他のロータリー行事に参加して、共通の関心をもつ人を探してみる。

役立つページ

詳しい情報を以下のページをご覧ください。

www.rotary.org/ja/our-programs/more-fellowships

お問い合わせ

rotaryfellowships@rotary.org

JA (0430)



リーダーのネットワークへ www.rotary.org/fellowships

親睦活動グループの一覧

関心のあるグループのウェブサイトを訪れるか、グループに直接 E メールでご連絡ください。

アマチュア無線	ジン	鉄道
アンティーク自動車	世界開発	不動産
占星術	囲碁	キャンピングカー
バトミントン	ゴルフ	ロータリー史
バスハウス	グルメ料理	ビジネス
顎ひげと口ひげ	グラフィックデザイナー	ロータリーのピン
ミツバチ	保健専門家	ロータリーの切手
ビール	ハイキング	ボート (ローイング)
バードウォッチング	ホームエクステンション	ラグビーファン
ボウリング	競馬	スカウティング
キャンピング	乗馬	スクーバダイビング
キャラバン式旅行	ハンティング	スカウト
チェス	インターネット	シューティングスポーツ
コーヒー愛好家	イタリア文化	スキー
コメディ	凧	スタートアップ投資家・RING
コンポスティング	ラテン文化	戦略計画
コンピューター	弁護士	サーフィン
企業の社会的責任 (CSR)	リーダーシップ	卓球
クリケット	LGBT+	紅茶愛好家
文化遺産	手品	テニス
カーリング	マグナグラエシア	総合質管理
サイバーセキュリティ	マラソン	旅行、ホストとしてのおもてなし
サイクリング	メンタルヘルス・カウンセラー	トライアスロン
人形愛好家	ヘビーメタル愛好家	都市ガーデニング
チェッカー	メタバース	ヴィーガン
医療関係者	退役軍人	ヴィンテージ収集
E クラブ	バイク	気象愛好家
編集者・出版者	音楽	ウィスキー
教育者	希少古本	野生生物の保全
女性のエンパワメント	パームワイン	ワイン
起業家	元会長、役員、支援者	ヨット
エスペラント語	平和フェロー	ヨガ
倫理	舞台芸術	若いロータリアン
美術	写真	
釣り	ピククルボール	
飛行	公共保健	
フランス語圏	パブリックスピーカー	
系図学者	キルト・織物手芸	
寄付と遺贈計画		

2 効果的なリーダーシップ戦略

ロータリーの旅を更に進めるにつれて、私は自分のリーダーシップスタイルを試し続けて、より複雑で巧みなリーダーシップ・スキルの使用に取り組み、リーダーシップを発揮する機会を捉えます。



セッションの目標

- グループの中での指導力やコミュニケーション能力を向上させる
- 目標や提案に対する支援を勝ち取ることができる方法を確認する

セッションの問い

1) 混乱したロータリークラブについてのシナリオ

(資料1 : P124 シナリオ参照)

- a) このクラブの真の問題は、あるとすれば、何でしょうか？
- b) その問題点をリーダーシップによってどのように解決できるでしょうか？
- c) あなたなら、どんなリーダーシップ戦略を提案しますか？

2) クラブには「影響力」がある人と、「影響力」がない人がいます。

- a) 影響力とは何でしょうか？どのような人が影響力がありますか？
周りに良い影響を与える人とはどのような人ですか？
- b) 影響力とリーダーシップはどういう関係性でしょうか？

3) 協力関係とは何でしょうか？

協力形成とリーダーシップの関係を考えてください。

(資料2 : P125 参照)

まとめ

- 私たちは協力し合うことで、より成功を取めることができる。
- 成功のためには、協力関係の構築が重要である。

セッション2 資料1 効果的なリーダーシップ戦略シナリオ

シナリオ (混乱したクラブ)

ミルトン・クロッシング (Milton Crossing) ロータリークラブはメンバーの中に数名の活動的な会員がおります。しかし、ほとんどの会員は、無関心です。彼らは昼食を食べに来るだけで、しばしば卓話プログラムが始まる前に退席し、他に何も活動はしません。会員数は33名。3年前の62名から減少しています。2、3の活動的な会員はクラブを維持しようとしていますが、彼らもクラブ活動にもう疲れてきている。Myron 会長は理事会のメンバーと会談し、理事会はいくつかの問題をリストアップしました。

- 1) 例会でいつも一緒の席に座る派閥があり、他の皆を無視します。
- 2) 非積極的な会員の何名かは言うことだけは大きい人ですが、頼まれた時は何処かへ逃げていきます。
- 3) ある会員は何カ月もの間例会に出席していません。しかし、クラブは、もし出席を催促すると、会員が退会してしまうのを恐れています。
- 4) ある会員は大声でこう言います。『私たちはもうこれ以上会員は必要ありません。現在、私たちのクラブは幸せで友好的なグループとなっています。会員が増えれば、それが阻害されます。』
- 5) 2名の会員が新会員をスポンサーするように依頼された時、彼らは、『会員の質が一番大切です。それをよく注意しなければ、、、』と反論してきました。
- 6) ほとんど会員が繁忙のためにクラブ活動に参加できないと言うため、委員会のメンバーを埋めるのに苦労していると会長は公表しています。

クラブの問題は解決されるでしょうか？計画を立案し、グループでどのような結論になったかを議論します。どうしたら彼らの計画の承諾が得られるのか、そして、どうしたらそれがクラブによって実施されるかを議論します。

セッション2 資料2 協力関係の構築

協力関係の構築

協力関係の構築とは、特に異なる視点を持つ人々の間で、全員のニーズを満たす解決策を見つけることであり、妥協や屈服を意味するものではない。他の人々を合意に導くことで、実行可能で持続可能な決定が下されるのです。

スピーチのポイント

- 協力について定義し、他人をまとめなければならなかった時のエピソードを紹介する。
- 意見の対立をオープンにすることで問題の分析が深まり、すべての当事者が意見を述べるようになるようになります。
- 協力関係構築の利点について、例えば、全員がプロジェクトに参加しているという自覚を持ち、新しい解決策を見出すことができることなどを説明する。
- 協力関係構築のプロセスの概要：
 1. それぞれの当事者が自分の立場から、望むことをリストアップする。
 2. それぞれの人にとって何が重大な事か、重大な事でないかをもう一度よく吟味する。
 3. 新しい解決策をブレインストーミングする。
 4. これらの解決策の成果を議論する。
 5. 重大なニーズを満たすように解決策や他の決定について手直しをする。

ディスカッションのための質問

あなたの職業において、協力関係の構築が重要なのはなぜですか。あなたのロータリークラブではどうですか？

協力関係が妥協に終わらないようにするにはどうすればよいですか？

関係者全員を満足させるにはどうすればよいですか？

推奨される活動

グループ討議： 参加者に小グループに分かれて事例研究に取り組んでもらう。グループメンバーに異なる視点を割り当て、一人の参加者が司会者となり、協力関係を構築する。

個々の作業： 参加者に、協力関係の構築に参加しなければならなかった時のことを振り返ってもらう。そのプロセスはどのように機能し、結果に満足できたと思うかについて考えてもらう。

セッション2 資料3

ロータリアンのためのリーダーシップ戦略*

- **チームはそれぞれのメンバーの総和以上のもの**
適切な組み合わせを選ぶことが鍵です。(経験者と新人、プロジェクトに関連する専門職を特定することで、物事を進めるなど)。
- **自分の時間を有効に使い、問題を最後までやり遂げる**
明確な権限委譲が重要。時間は貴重であり、プロセスを動かし続けることです。
- **問題を把握し、他の委員が独自の解決策で障壁を突破できるようにする**
準備することは当然であるが、委員会が解決策を見出す力を与えます。
- **私たちはロータリアン**
ワーク・ライフ・バランスを認識します。各目標は、その意義、評価、リーダーへの期待を強調することによって、努力に見合うものとしなければなりません。
- **適切な質問で問題を解決する**
合意形成から始めます。全員が課題を認識し、解決策に貢献できるよう、準備としてプロジェクトに関わる真の問題に迫る質問でフォローアップします。
- **傾聴する！**
リーダーは、チームからの新しいアイデアに意見を加えたいくなるが、それは逆効果になることが多いです。熱意を持って協力します。
チームは、この活動を自分たちのものだと感じる必要があります。
ロータリーのリーダーの仕事の一つは、ボランティアの勝利者を作ることです。
- **ロータリアンの指導者層を厚くする**
経験、知識、意欲のあるロータリアンが多ければ多いほど、より多くのことを成し遂げることができます。提携、指導、後継者育成は、これを実現するための効果的な手法です。
組織内のすべての重要人物には、研修を受け、要請があればすぐに仕事ができるような後任者を置いておくべきです。
メンターを評価しつつも、メンターには後任を確保する責任を課すことがカギとなります。

キャスリン・オコナー 変化に対応するための7つのリーダーシップ戦略

*強調のため、「ボランティア」を「ロータリアン」に変更。

原文は www.Superperformance.com、

3 ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕

ロータリーの旅を続ける中で、ロータリー財団は、世界社会に奉仕する機会を与えてくれます。



セッションの目標

- 国際奉仕の機会について学ぶ
- 国際プロジェクトにおいて職業スキルを生かす
- 国際奉仕のアイデアを探る

セッションの問い

1. 国際奉仕とはどのようなものでしょうか？

五大奉仕部門の第4項目を参考にして、考えましょう。

4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

2. あなたのクラブで印象に残る国際奉仕プロジェクトは何ですか？

3. ロータリー財団の支援を受けて実施する国際奉仕を促進させるために、クラブは何ができますか？

4. 国際奉仕の機会を促進させるために、一人のロータリアンとして何ができますか？
あなたの職業上のスキルを国際奉仕にどのように役立たせることができるでしょうか？

5. 国際奉仕プロジェクトをどのように探しますか？（資料 1,2：P128,129）

国際奉仕プロジェクトのアイデアを考えましょう。

まとめ

- 国際奉仕はロータリーの目的の一部です。
- 国際奉仕プロジェクトを立案し、資金を調達するには、さまざまな方法がある。

セッション3 資料1

国際奉仕プロジェクトとは

国際奉仕プロジェクトの目的は

1. 国際奉仕を通じて、恵まれない人々の生活の質を向上させる。
2. 国際奉仕プロジェクトを実施する際に、さまざまな国のクラブや地区間の協力を奨励する。
3. プロジェクトのニーズや援助に関する情報を交換するための効果的な枠組みを提供する。
4. 国際的な開発や文化の問題、また人々の自助努力を助けるプロジェクトを実施することの重要性について、ロータリアンの認識を高めること。
5. 国際ロータリーおよびロータリー財団の関連プログラムへの参加者を援助する。
6. プロジェクトの成功体験をほかのロータリアンに伝える。
7. 国際理解、親善、平和を育む。グローバル補助金プロジェクトは、所定の基準を満たさなければならない。

補助金センター (www.rotary.org) をご参照ください。

プロジェクトに参加する

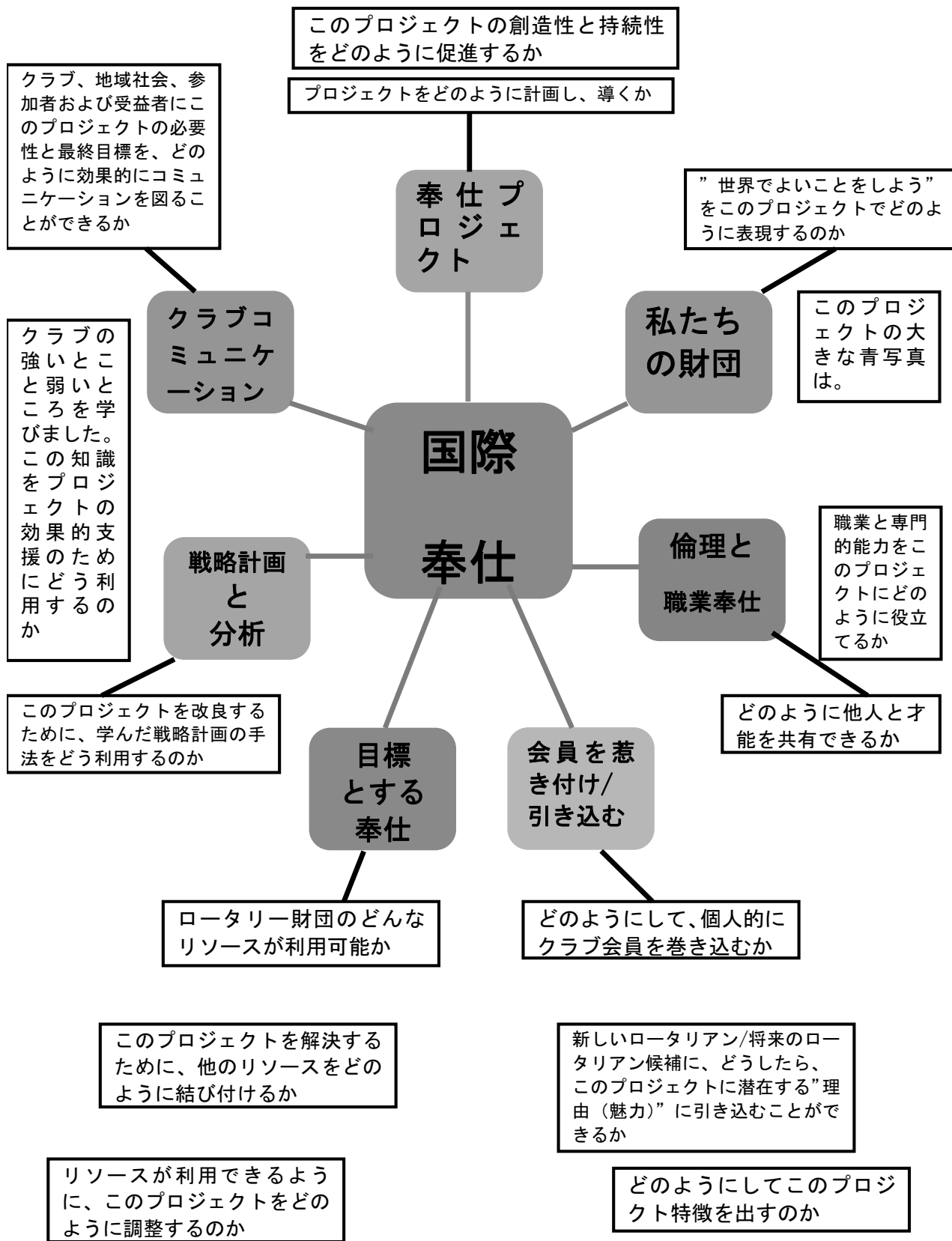
プロジェクトに参加したロータリークラブは、プロジェクトが実施される地域社会を越えて、プロジェクトがもたらす恩恵を実感することができます。クラブには、以下のような機会があります。

- (1) より意欲的なプロジェクトに取り組む
- (2) 奉仕活動への参加者全員の意欲を高める
- (3) 海外のロータリアンとのつながりを深める
- (4) 国際理解と親善を深める
- (5) 世界的な関心事に取り組む。

多くのクラブが、ロータリアン同士の非公式なつながりをきっかけに、国際奉仕プロジェクトに参加するようになります。ロータリーショーケースは、ロータリアンが国際奉仕に参加するもう一つの方法です。この検索可能なデータベースには、資金、ボランティア、支援物資、ロータリー財団補助金のパートナーを探している世界中のクラブや地区による社会奉仕プロジェクトが数百件掲載されています。また、ベストプラクティスの参考となるモデルプロジェクトの一覧も掲載されています。

セッション3 資料2

国際奉仕の関係をまとめてみましょう



4 公共イメージ



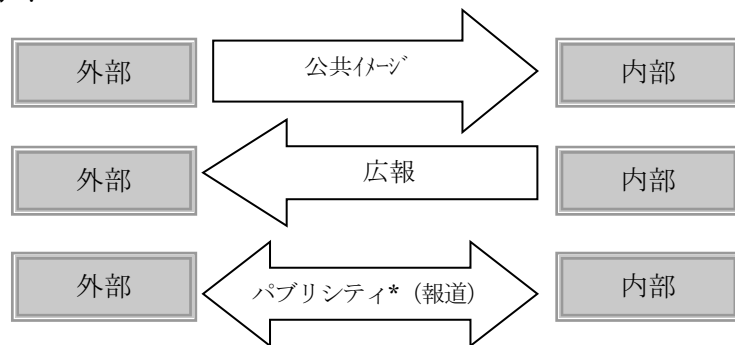
ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界の享受する恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。

セッションの目標

- クラブが公共イメージ戦略からどのような恩恵を受けることができるかを探る
- クラブが広報しようとするターゲット層を特定し、その層に効果的にアピールする方法を見つける
- ロータリークラブにおける公共イメージの目標を、国際ロータリー行動計画の戦略分野に関連づける
- 「ロータリーブランド」の活用方法を学ぶ

セッションの問い

- 1) 広告宣伝、広報および公共イメージの違いは何でしょうか？そのうちどれが一番制御できるのでしょうか？



*パブリシティは広報PR活動の一種で、自社の製品や事業に関する発表をしたり、取材に応じたりすることで、マスコミ媒体に取り上げてもらう活動のことです。

宣伝よりも「報道」の意味合いが強い言葉です。

- 2) 多くの地域社会では、多くの人がロータリークラブの存在を知りません。あなたの周りでは“ロータリー”はどのように認知されていますか？
- 3) あなたは、自分のクラブ、そしてそこに参加している自分に対し、地域でどのようなイメージ（公共イメージ）を持ってもらいたいと思っていますか？
- 4) クラブやあなた自身がどのようにすれば、あなたのクラブの公共イメージは高まると思いますか？
- 5) あなたがクラブの公共イメージ委員長なら、どのようなイメージアップ戦略を企画しますか？

まとめ

- クラブの公共イメージは、会員だけでなく、クラブの信頼性にも影響します。
- 広報はプレスリリースではありません。
- 豊富なリソースが国際ロータリーから提供されています。

セッション4 資料1

公共イメージの事例研究

以下の事例研究を読み、ロイヤル・ガーデンロータリークラブの公共イメージ計画を立案します。

クラブがメディアや地域社会に直接働きかけ、プロジェクトを紹介する方法を3、4つ挙げてください。以下の質問を参考に、計画を立ててください。

ロイヤル・ガーデンロータリークラブは、35,000人の豊かな町にあります。クラブの会員40名は、ロイヤルガーデンズの専門職業に携わる人々の集まりです。

クラブの毎週のプログラムには、地元の著名な講演者が招かれ、会員は地域社会での活動に熱心に取り組んでいます。

クラブは、増加する地域の高齢者人口を支援しています。

この継続的なプロジェクトを通じて、クラブ会員は食事の準備と配達、家の修理の手配、入院した住民の見舞いなどを行っています。

クラブはまた、ロータリー平和フェローシップの候補者を探す活動も行っています。

ある奨学生は、地球温暖化が海の水位に及ぼす影響を研究しており、その経験を会員に伝えるため、定期的にクラブと連絡を取り合っています。

地域社会でさまざまな活動が行われているにもかかわらず、クラブがどのような活動をしているか知っている人は少ないという調査結果があります。回答者の中には、ロータリーは年配の男性のための社交クラブだと認識しているという人もいました。

このようなクラブに対するイメージのために、新しく、若く、多様な参加者を集めることが難しくなっています。

1. 問題を明確にします。
2. クラブの現在の活動のどのような点が、メディアの関心を引くと思われますか。
3. それぞれの活動について、どのタイプのメディアが最も適切ですか？その理由は？
4. クラブの定期的なプログラムは、地元メディアにとってどのような関心があると思われますか。
5. 公共イメージ以外に、この問題の解決に関与すべき委員会はありますか？
6. 多くの人は、この問題はクラブ会員全員の手任せられていると言うでしょう。クラブ会員全員がこの問題を解決するために何ができるでしょうか。公共イメージ委員会は、この点に関してどのようなお手伝いができますか。

セッション4 資料2

広報文章の書き方

広報には、わかりやすく、論理的で、簡潔な文章を書く能力が不可欠です。ほとんどのPR文章の目的は、読者の注意を引き、情報を素早く伝え、メディアに記事を取り上げてもらうことです。

逆ピラミッド

ほとんどのプレスリリースやメディア向けの文書では、逆ピラミッド型のスタイルが採用されており、最も重要で関連性の高い情報が一番上にあり、その後に徐々に重要度の低い情報が続きます。見出しと最初の一文は、プレスリリースで最も重要な部分です。編集者や記者を引きつけるに十分な説得力を持たせましょう。

5つのW

5つのWを最初の段落、理想的には最初の文に含めましょう：

- 誰が？ストーリーの中心となる人物やグループ。
- 何を？クラブが関わっているイベントやプロジェクト
- どこで？イベントの場所（住所などを含めて）
- いつ？イベントの日時、またはある人物やプロジェクトに関わる期間
- なぜ？その出来事、人物、プロジェクトが一般の人々にとって重要である理由。

それ以降の段落では、その出来事やプロジェクトについての詳細を述べたり、その人物やグループがどのように特別なことを成し遂げたかを説明する。

プレスリリース以外の方法

ロータリアンは、以下のようなさまざまな方法で、メディアにストーリーを伝えることができます：

- **メディアアラート (Media alerts)**
メディアアラート（メディアへの速報） 時間に追われる報道機関にとって、プレスリリースをさらに凝縮したメディアアラートはありがたいものです。今後の行事や注意事項を伝えるのに最適で、5つの「W」に箇条書きで答え、メディアの連絡先にアラートを送信するだけです。
- **編集者への手紙**
社説欄は、新聞で最も読まれる欄の一つであり、手紙は多くの人に届く可能性があります。RI から提供されている書簡のテンプレートを利用しましょう。
- **オプ・エド (op-ed: opposite the editorial page / opposite editorial)**
オプ・エドは、新聞社のスタッフではない個人が書く意見記事です。自分の新聞に論説を書く前に、地域社会がどのような話題に関心を持っているかを学んでおきましょう。
- **メディア・キット (Media kits)**
ロータリーやクラブに関する一般的な情報のほか、行事に合わせた資料を収めた特別なフォルダーを用意しましょう。
- **ファクトシート**
ファクトシートは、ロータリーのプログラムについて詳しく説明し、記者に正確な情報を提供するためのものです。

- www.Rotary.org より抜粋

セッション4 資料3

ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するため、今後数年の活動を方向づける四つの優先事項が定められました。

より大きな
インパクト
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の
基盤を
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリー参加の新しい道筋を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的な
かかわりを
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

4410-JA-(722)

RI 資料：「行動計画」のチラシ
(action plan flyer)

5 規定審議会・決議審議会

The Council on Legislation & Council on Resolutions



3年に一度開かれる規定審議会（COL）は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。

決議審議会（COR）は毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議します。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討されます。

セッションの目標：

- 規定審議会（COL）と決議審議会（COR）の意義と仕組みを理解する。

セッションの問い

- 1) 手続要覧をご覧になったことがありますか？
ロータリー章典をご存じですか？
- 2) 審議会の仕組みを理解しましょう。（資料1：P135）
 - a. 規定審議会と決議審議会の違いとは？
規定審議会で変えられることは？
 - b. 審議会には、誰が提案できるのか？
 - c. 規定審議会・決議審議会のサイクルと手続き。
- 3) もしあなたが、ロータリーに関して何かを変えたとしたら、何を変えようと思いますか？
具体的に、そしてその理由は？
- 4) あなたの提案でどのようにロータリーは変わりますか？

まとめ

- 規定審議会は私たちの手でロータリーを変える機会

セッション5 資料1

規定審議会とは

規定審議会は、3年に1度開催される国際ロータリーの立法機関となっている。3年に1度開催される規定審議会では、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案と、RI理事会の見解を表明する見解表明案について審議と投票が行われる。規定審議会では制定案と見解表明案(見解表明案はRI理事会のみ提出できる)のみが審議される。ロータリーの組織規定(RI定款と細則・標準ロータリークラブ定款)を改正する権限を持つのは規定審議会だけである。

立法案の種類

規定審議会で審議される立法案は、制定案と見解表明案に限るものとする。組織規定を改正しようとする提案は**制定案**と称する。RIの立場を表明しようとする提案は**見解表明案**と称するものとする。

立法案の提出者

制定案は、クラブ、地区大会、RIBI審議会または大会、規定審議会、および理事会が提案できる。見解表明案は理事会のみが提案できる。理事会は、管理委員会の事前の承諾なしには、ロータリー財団に関する立法案を提出しないものとする。

クラブ提出の立法案を地区で承認

クラブおよび地区が提案する制定案は必ず地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会において、地区内のクラブの承認を受けなければならない。地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会に制定案を提出する時間的余裕がない場合、ガバナーの実施する郵便投票を通じて地区内クラブの票決を求めることもできる。いかなる地区も、1回の規定審議会につき5件より多くの制定案を提案もしくは承認すべきではない。

制定案と見解表明案の締切日

制定案は、すべて規定審議会の開かれるロータリー年度の前年度の12月31日までに、RI事務総長に提出されなければならない。理事会は、緊要性があると判断した制定案を、規定審議会の開かれるロータリー年度の12月31日までに、事務総長に提案、提出することができる。理事会の提出する見解表明案については、規定審議会が閉会するまでこれを受理し、その票決を行うことができる。

制定案の採択

2019年規定審議会の結果、国際ロータリー細則の第7.070.6.項に従い、制定案の事前審査が行われる。事前審査の目的は、広く支持または反対されている案件をより簡単に解決することで、規定審議会の効率を向上させることである。80%よりも多くの代表議員が案件に賛成した場合、その案件は規定審議会により採択されたと見なされる。規定審議会で審議される議案は、RI定款、RI細則・標準ロータリークラブ定款である。

RI定款については、規定審議会において、出席し、かつ投票を行う者の投票の**3分の2**によって改正できる。

RI細則・標準ロータリークラブ定款については、臨時審議会の規定を除き、規定審議会に出席し投票した人の**過半数**によってのみ改正することができる。規定審議会の臨時会合で制定案を採択するには、出席し、投票した人の**3分の2**の賛成投票が必要とされるものとする。

決議審議会とは

決議審議会は、毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議する機関となっている。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討される。また、2019年規定審議会において、決議審議会は規定審議会の特別会合として、理事会が緊急性があると判断し、正規の手続で提出した制定案を審議し、決定を行うことができるようになった。

決議案

決議審議会の意見の表明である案件を決議案とする。決議案は、ロータリー世界全体に影響を与える案件に適している。決議審議会にて採択された決議案のみが理事会や管理委員会で検討される。このため、理事会等で確実に検討してもらいたい場合には、決議案の代わりに、請願書として提出する方法もある。

決議審議会の会合

決議審議会は、毎年開催されるものとする。決議審議会は電子的コミュニケーションを通じて招集されるものとする。

決議案の提出者

決議は、クラブ、地区大会、RIBI審議会または大会、および理事会が提案できる。

クラブ提出の決議案を地区で承認

クラブおよび地区が提案する決議案は必ず地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会において、地区内のクラブの承認を受けなければならない。事務総長に送達される決議案には、地区大会や地区立法案検討会やRIBI地区審議会での審議、または、郵便投票の票決により承認されたことを明記したガバナーの証明書を添付するものとする。

決議案の締切日

決議案は、その案件が審議される決議審議会の開催年度の前年度6月30日までに、事務総長に書面で提出されなければならない。理事会の提出する決議案については、決議審議会が閉会するまでこれを受理し、その票決を行うことができる。

決議案の採択

決議案は、決議審議会にて投票する代表議員の少なくとも過半数の賛成票で、採択することができる。理事会は、決議審議会が終了してから1年以内に、審議会によって採択された決議にかかわるすべての理事会の決定について、全ガバナーに通知するものとする。

審議会決議審議

	規定審議会	決議審議会
頻度	3年に1度	毎年
開始日	4月、5月または6月	特定なし
場所	世界本部の近く 直接顔を合わせる	オンラインフォーラム
投票者	代表議員	代表議員
審議される立法案	制定案と見解表明案	決議案
立法案締切日	審議会前年度の12月31日	審議前年度の6月3日
修正	可	不可
緊急性のある理事会からの制定案	審議会前年度の12月31日	該当せず
理事会からの見解表明案の締切日	審議会閉会するまで	該当せず
理事会からの決議案の締切日	該当せず	審議会前年度の12月31日
立法案集の発行	審議会開催年度の9月30日	特定なし

セッション5 資料2

規定審議会結果一覧

	立法案	制定案	見解 表明案	決議案	採択立法案	採択 制定案	採択 決議案	採択見解 表明	日本 制定案	日本 決議案	日本 採択制定	日本 採択決議
2022年	94	94	0	—	29	29	—	—	26	—	7	—
2019年	117	116	1	—	47	47	—	1	25	—	6	—
2016年	181	117	—	64	61	47	14		17	9	6	5
2013年	173	142	—	31	59	53	6		14	6	4	3
2010年	220	128	—	92	66	47	19		10	14	1	2
2007年	337	167	—	170	97	59	38		17	7	3	3
2004年	476	250	—	226	100	50	50		6	8	2	2
2001年	681	388	—	243	98	55	43		11	22	1	3
1998年	196	196	—	87	54	38	16					
1995年	196	159	—	37	31	22	9					
1992年	342	272	—	70	58	49	9					
1989年	179	133	—	46	41	31	10		1	1	1	
1986年	255	192	—	63	69	54	15		0	0	0	0
1983年	198	169	—	29	46	36	10		5	1		
1980年	123	107	—	16	46	38	8		8	0		0
1977年	116	98	—	18	37	29	8		4	0	1	0
1974年	80	60	—	20	25	19	6					
1972年	83	70	—	13	20	15	5					

決議審議会結果

	件数	採択数	RI&TRF 同意	日本 件数	日本 採択数	RI&TRF 同意
2023年 COR	26	7	3	12	4	1
2022年 COR	16	8	6	8	5	4
2021年 COR	36	16	4	9	4	2
2020年 COR	30	11	5	5	3	1
2019年 COR	33	7	3	11	4	2
2018年 COR	55	27	5	23	12	2
2017年 COR	39	17	5	19	9	3

(RLI 日本支部カリキュラムチーム作成)

2022年規定審議会 審議結果

		提案数	採択数	採択率	備考
1	日本	26	7	26.9	
2	ブラジル	14	2	14.3	
3	RI 理事会	11	11	100	事前に 2 件取り下げ
4	米国	7	3	42.9	事前に 3 件取り下げ
5	インド	8	1	12.5	事前に 1 件取り下げ
6	台湾	8	1	12.5	
7	ノルウェー	4	1	25.0	
7	オーストラリア	4	0	0	
7	カナダ	4	2	50.0	
10	スウェーデン	3	0	0	
11	フランス	2	0	0	
11	スイス	2	0	0	
11	韓国	2	1	50.0	
11	ドイツ	2	1	50.0	
11	タイ	2	0	0	
16	RIBI	1	1	100	
16	アイルランド	1	0	0	
16	ペルー	1	0	0	
16	チリ	1	0	0	
16	アルゼンチン	1	0	0	
16	スペイン	1	0	0	
16	リトアニア	1	0	0	
16	イタリア	1	0	0	
16	デンマーク	1	0	0	
	合計	88	29	32.95	事前に 6 件取り下げ

2022年規定審議会 分野別提案数

分 野	全体	日本	RI	採択数
クラブ運営	9	5	0	1
クラブ例会と出席	10	7	0	3
会員	6	0	0	4
奉仕部門・行動規範	6	1	0	1
ローターアクト	3	0	1	1
国際ロータリー（役員・選挙）	7	0	3	3
国際ロータリー（一般）	4	0	1	2
国際ロータリー（雑誌）	2	1	0	0
国際ロータリー（クラブ）	2	0	0	1
国際ロータリー（委員会）	4	0	1	1
国際ロータリー（会議）	1	0	0	0
国際ロータリー（管理運営）	3	3	0	0
国際ロータリー（財務）	4	0	1	3
ロータリー財団	1	0	0	0
人頭分担金	6	1	1	1
審議会（事前手続・会議・代表議員）	12	6	1	4
審議会（その他）	2	1	1	2
地区運営	6	1	1	2
合 計	88	26	10	29

6 変化をもたらす



ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

セッションの目標

- 他の後輩ロータリアンのために、RLI 参加者として RLI の経験を改善するためにはどのようなことができますか？
- RLI の議論の中から出たアイデアを、ロータリークラブ、他の市民団体、社会生活、あるいは職業において、どのように利用することができるでしょうか？
- あなたの経験から RLI プログラムの強み弱みを分析し、RLI 改善のための提言をしてください。

セッションの問い

- 1) あなた個人として、RLIのパートⅠからパートⅢまでの中で、どのセッションが一番心に残りましたか？ また、それはなぜですか？
- 2) それぞれのセッションの目標に到達するには、どのような討議・資料が一番効果的でしたか？ それはなぜでしょうか？
- 3) あなたはRLIの経験から何を学びましたか？
RLIに参加してあなた自身に何か変化がありましたか？
- 4) 学んだことを社会生活や仕事にどう活かせるでしょうか？
- 5) 「私のRLI個人別行動計画」を作成してみましよう。

ご卒業おめでとうございます！

もっと学びたいですか？ RLIでは卒業生のために特別な卒後コースを用意しています。

セッション6 資料1 (参考)

私のRLI個人別行動計画

目標：私がこの研修の結果として、今までとは違う行動しようと計画していることを一つ挙げて下さい。

スマート (SMART) な目的 : _____

Specific 特別な : _____

Measureable 測定可能な : _____

Achievable/Agreed to 達成できる : _____

Realistic/Result-oriented 現実的な : _____

Time Stamped 期限が決まっている : _____

(目標達成日) (goal attainment date)

この目標を達成するための行動ステップ :

1. _____

2. _____

3. _____

支援してくれる人、あるいは支援ツール : (目標達成のために誰が/何が支援しますか)

必要な追加的な研修や知識 :

目標達成をどのようにお祝いしたら良いでしょう。

署名 : _____ 日付 : _____



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2023 - 25

卒後コース

卒後コースについて

RLI 日本支部 カリキュラムチーム
サブリーダー 井原 實

RLI の研修に参加して頂いて有難うございました。

ご承知のように、RLI は以下の 3 コースを提供しています。

パート 1 : ロータリアンとしての私

パート 2 : 私達のクラブ

パート 3 : 私のロータリーの旅

皆様は RLI の研修（ディスカッション）を通じて、ロータリークラブの会員としての立場、会長としてクラブを管理運営する立場、クラブ会長を終えられて更に深くロータリーの旅を楽しんでいる立場で、広くロータリーを眺め、考えて来られました。

また、カリキュラムの中では、

- ① ロータリーの旅
- ② 奉仕と財団
- ③ 倫理と職業
- ④ リーダーシップ
- ⑤ コミュニケーション
- ⑥ 会員基盤

について、学ばれて来られ、RLI の研修を修了されました。

RLI 委員会では、皆様が、更にロータリアンとしての成長とロータリー観を深める一助になれる事を願って、卒後コースを設けております。

現在、RLI の研修を実施されている地区に、卒後コースの実施をお尋ねしたところ、実施されている地区は少なく、また、実施についても会長エレクト研修セミナー（PETS）の中で行っている地区、ガバナー補佐の研修会の中で行っている地区が有りました。

カリキュラムチームでは、卒後コースを地区の RLI 研修の実態に合わせて利用できるように、以下のセッションを用意しました。セッションは RLI 本部作成したテキスト、RLI に参加している海外の地区が作成したテキストを参考に、RLI 日本支部カリキュラムチームを中心に RLI 日本支部独自のテキスト（セッション）を作成しました。各セッションの資料も出来るだけ簡潔に、テキスト作成時点で最新のものを選択、作成し挿入しました。資料が不足と感じるセッションはパートⅠ～Ⅲの資料を適宜補足的にお使い下さい。

- ① ロータリーの歴史
- ② ロータリーの理念（ロータリー理念のルーツを探る）
- ③ ロータリーの新しい流れ（RI の行動計画、財団の補助金、DEI、RAC、SFR）
- ④ クラブを元気にしよう（クラブ活性化の手順）

卒後コースは上記のセッションの中から地区 RLI 委員会がコースを選択して実施して下さい。実施時期はパートⅢの直後に実施する、PETS に合わせて PETS の補足として実施する、ガバナー補佐研修会に実施するなど、地区の事情に合わせて実施して下さい。あるいは

は、地区 RLI 委員会で①～③を分解し、自由に組み合わせて独自の RLI 研修プログラムを作成して頂いても良いと思います。

セッションの間の 1 つ 1 つは中味が濃く、ロータリーの目的の変遷、決議 23-34 を巡る歴史など、通常の RLI の 1 セッションではディスカッションが終わらないような間が多く含まれています。ディスカッションへ参加する人数を 6 名以下に制限する、ディスカッションの時間を延ばして深く、充実したディスカッションをするのも 1 つの方法です。RLI のパート 1～3 を終了された皆様は RLI の楽しみ方を学ばれました、各問いを組み合わせ新たな卒後コースで、RLI を更に深め、楽しんで下さい。

カリキュラムチームは RLI の参加者がディスカッションを通じて、より深くロータリーを知るための素材を提供したに過ぎません。

ロータリーはロータリアンが活発な議論を繰り返しながら 100 年を超えて存在してきた組織です。何故ロータリーが 100 年以上存在し続けられたのか、そして未来に存在し続けるために何をすべきなのか、語る事、議論する内容は沢山あります。地区 RLI 委員会の卒後コースを通じて、ロータリアンが豊かなロータリーの土壌を開拓し、未来に活躍するロータリアンを育成することを願っております。

卒後コースにつきましては、終了後、RLI 地区委員会のご意見、ご要望を、RLI 日本支部に頂戴出来れば幸甚です。テキスト改訂時の参考にさせていただきます。
RLI の研修に参加して頂いて有難うございました。

1 ロータリーの歴史

ロータリーの歴史を振り返ると、時代の変革期に優れたリーダーが登場し、ロータリーを力強く牽引しています。ロータリーの歴史はモザイク模様が描きながらも、全体として一つの大きな未完成の壮大な絵画となっているようにも思えます。



110 有余年のロータリーの歩みを改めて検証することは会員のモチベーションを高め、未来へ向けて大きなイノベーションを生み出す機会にもなります。

セッションの目標

- 何故ロータリークラブが誕生し、今も発展し続けているのかを考える。
- 大きな時代の転換点に、適応し変革していったロータリーの歴史を振り返る。
(主な大きな変革とその背景にあるもの、そしてその結果を検証する)
- その時、あなたがリーダーであれば、どのような決断をしたかを議論する。

セッションの問い

- 1) ロータリーは何故生まれたのでしょうか。(その背景と歴史の必然性について)

- 2) 初期のロータリーの葛藤（フェローシップか奉仕か）を振り返りましょう。
なぜそのような対立が生じ、どのように解決したのでしょうか。

- 3) 全米ロータリークラブ連合会の誕生はロータリークラブに何をもたらしましたか。

4) 初期のロータリーを二分した決議 23-34 を巡る歴史を振り返りましょう。

この大論争は何をもたらしましたか？

5) 1927 年の目標設定計画により四大奉仕（当初は三大奉仕）が誕生しましたが、この四大奉仕の導入の意義は何でしょうか。

6) ロータリー財団を誕生させたアーチ・クランプ*の夢を振り返りましょう。

何故ロータリー財団が必要だったのでしょうか。

その初期の苦悩の時代から、今日の発展までの歴史をあなたはどのように評価しますか。

アーチ・クランプ*

ロータリー財団の創始者。1916-17 年度国際ロータリークラブ連合会（後の国際ロータリー）会長。1911 年「材木——卸売ならびに小売」の職業分類でクリーブランド・ロータリークラブの創立会員となった。1917 年アトランタ国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案。数カ月後に、この新しく誕生した基金に米貨 26 ドル 50 セントの最初の寄付金が寄せられた。1928 年のミネアポリス国際大会で、このロータリー基金は「ロータリー財団」として認証された。
(資料 1 ロータリーの歴史年表 P148、1917 年を参照してください)

7) 3H プログラムとポリオ根絶にいたる歴史の背景を議論しましょう。

この歴史的な転換はどうして起こったのでしょうか？

(『ロータリー日本 100 年史 本編』 P276~P300 「ロータリー日本 思想の潮流」 神崎 正陳 PDG の論文参照してください。)

セッション 1 資料 1

ロータリーの歴史年表 (2023 年 10 月 30 日改訂版)

RID2710 PDG 諏訪 昭登 (広島西 RC)

1868(M1) :	<ul style="list-style-type: none"> ロータリーの創設者 Paul Harris 生誕 (ウィスコンシン州ラシーン 4/19)。その後、3 歳頃から祖父母の住むバーモント州ウォーリングフォードで成長した。
1905(M38) :	<ul style="list-style-type: none"> 2 月 23 日、ポール・ハリス他 3 名 (シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローア) がシカゴ・ロータリークラブを設立 (ロータリーの創立)。ノース・ディアボーン街、ユニティビル 711 号室、ローアの事務所にて (1 業種 1 会員の原則)。 初代会長はシルベスター・シール。例会は各会員事業所リレーから変更して第 7 回(5/18)をパーマーハウス - ホテルで新たに昼食付きで行い、その後暫くはホテル巡回で開催。極めて初期に歌唱の習慣始まる (ハリー・ラグルス)。ロータリーソング第 1 号 “Let Me Call You Sweet Heart”
1906 :	<ul style="list-style-type: none"> シカゴ RC 定款制定<1 月> (定款第 2 条「綱領」に 2 項目「相互扶助と親睦の概念」を設定。例会で最初の定例的ロータリーソング開始 (ソングリーダー=ハリー・ラグルス)。 定款第 2 条「綱領」にドナルド・カーター直言により 3 項目に「社会奉仕概念」を追加<12 月>。
1907 :	<ul style="list-style-type: none"> ポール・ハリスがシカゴ RC 三代目会長に就任 (2 月)。当時、年度は 2 月~1 月。 公衆便所設置の市民運動を喚起し(1907)、1909 年、市内 2 か所に設置 (社会奉仕の実践)。
1908 :	<ul style="list-style-type: none"> サンフランシスコに 2 番目のクラブ誕生。ついでオークランド(初の毎週例会クラブ、1909 年)、シアトル、ロサンゼルス、ニューヨーク、で RC 設立。 シカゴ RC が最初の家族会(レディース - ナイト、3/12)を開催。フレデリック・シェルドン、チェスリー・ペリーが入会 (6 月)。シェルドンが「職業分類表」を作成。 ポール・ハリス会長が拡大とシェルドンの Service 理念とを急進的に進め、クラブと意見対立を惹起して 2 年目途中で辞任 (10 月)。シェルドンも拡大委員長罷免。
1910 :	<ul style="list-style-type: none"> 全米ロータリー・クラブ連合会 (National Association of Rotary Clubs of America=NARCA) が誕生。シカゴで第 1 回ロータリー大会開催(8/15~17, 16RC 1,500 人)、後年これを RI の創立と位置づけた。ポール・ハリスが初代会長、ペリーが初代事務総長となりシェルドンは Business Method Committee 委員長となる。 最初のロータリーの綱領制定 (親睦が目的から外れ物質的相互扶助からの脱却を図る)。 大会演説でシェルドン (シカゴ RC) が “He profits most who serves his fellows best.” を発表。ロータリー年度開始がこの大会翌日からとなる。最初の SAA ワーナー・ヘドケ。ポール・ハリスがジーン・トムソンと結婚(7/2) カナダでウィニペグ RC 誕生 (11/3、米国以外で初、翌年度加盟)。
1911 :	<ul style="list-style-type: none"> 「The National Rotarian」1 月 26 日に発刊(第 1 巻第 1 号)、翌年 9 月に「The Rotarian」と改称 (第 3 巻第 1 号として)。 ポール・ハリスが第 1 巻第 1 号に「Rational Rotarianism」掲載 (ロータリー

	<p>で重要な精神的要素 “Toleration” 「寛容」 出典の起源)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートランドで第 2 回大会開催。シェルドンのスローガンは “He profits most who serves best” (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) となり「ロータリー宣言」結語として満場一致で採択された。またフランク・コリンズ (ミネアポリス RC) がエクスカーション船上で、“Service, Not Self” (超我の奉仕) を発表したが大大会で採択されていない。 ・「The National Rotarian」 11 月号(第 2 巻第 1 号)にコリンズの “Service, Not Self” についての論文が掲載された。誤解されたが決して宗教的ではない。その後、次第に “Service Above Self” に変更され (変更者不明)、1920 年頃までにシェルドンの標語と共に広く使用されるようになる。 ・英国にダブリン (2/2)、ロンドン (8/3) 他の RC 設立が本格的に開始。 ・「Rotary Club Manual」発行(手続要覧の原型)。
1912(T1) :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際ロータリークラブ連合会 (International Association of Rotary Clubs=IARC ドゥルース大会 50RC 6,000 人、8/6~9) グレン・ミード会長、ポール・ハリス名誉会長。 ・連合会の綱領とクラブの綱領が分離された (親睦と相互扶助を一掃)。 ・クラブ綱領 5 カ条を含む模範定款・細則発表。クラブ綱領に “service” という語が初出。 ・「ロータリー宣言」の結語に “Service is the basis of all business” が加わった (スローガンの前半部分)。ロータリー年度を大会翌日開始とした。 ・歯車のロータリーマーク制定。管区 (後の地区) 制定。 ・シラキュース RC の身体障害児対策が、やがてトレド RC やエリリア RC のエドガー・アレン等による国際身体障害児協会の設立につながる (社会奉仕活動の顕在化)。
1913 :	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の大型災害救援金・水害援助拠金 (オハイオ、インディアナ両州救援合計 \$25,000)。ロータリー年度の表現開始 (7 月~6 月末決定・本格的実施は 1917 年)。 ・道徳律起草の提案 (バッファロー大会)。シェルドンが黄金律を尊重した演説を行う。 身体障害児対策開始 (シラキュース RC)。
1914 :	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 次世界大戦勃発 (1914~1918)。イギリスとアイルランドで戦争避難民救済活動が始まる (国際奉仕の萌芽)。Aims and Objects Committee (目標設定委員会) 設置。 ・ロータリー旗採用 (ヒューストン大会)。IM 始まる (サンフランシスコ RC とオークランド RC)。ロータリー・クラブ・イギリス連合会結成 (BARC。後の RIBI)。ニューヨークに初のアディショナル RC が設立された。
1915 :	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフランシスコ大会でアイオワ州スー・シティ RC (途中、リーダーはロバート・ハントから J.R.パーキンスへ) の労作である「ロータリー：道徳律 (The Code of Ethics)」を採択 (職業奉仕基準の確立)。 ・大会報告書の中に初めて “Ideal of service” の語が出現(グレン・ミード言)。 ・標準クラブ定款と模範クラブ細則を採用 (クラブ管理の標準化)。 ・19 の地区制度・ガバナー制度の制定。アディショナル正会員制度の制定。 ・身体障害児対策を本格開始、肢体不自由児への教育事業 (トレド RC)。 ・キワニス・クラブ結成。トレド RC がトレド身体障害児協会設立。
1916 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイ・ガンデカー (フィラデルフィア RC) が道徳律を含む「A Talking Knowledge of Rotary (ロータリー通解)」を著し、連合会が出版 (ロータリーの一般奉仕概念の確立)。 ・青少年活動国際委員会設立。米国で出席率競争開始。 英語圏以外で初のハバナ RC (キューバ) が設立された。

1917 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月18日、アトランタ大会でアーチ・クラフ IARC (後の RI) 会長がロータリー財団の前身となる” doing good in the world” を目標とした「ロータリー基金」(Rotary Endowment)を提唱した。 (ロータリー財団の始まり)。 国際大会の年度末開催が本格的に開始。調整のためこの年度は二度大会開催(シンシナティ、アトランタ)。 ・ レズリー・ピジョン (カナダ・ウィニペグ RC) が米国外から初めて連合会会長になる。 ・ 7月、新年度に入り、カンザス・シティ RC がアーチ・クラフ IARC 前会長への記念品代として集めた残金“26ドル 50セント”を連合会に送ってきたので、理事会(1917.7.25-26)はクラフ会長が提唱した画期的基金への預託を採決した (最初の寄付)。 ・ 名誉会員制度制定。身体障害児協会開始 (トレド RC)。 ・ ライオンズ・クラブ国際協会を非ロータリアンのメルビン・ジョーンズが設立 (6月7日)。
1918 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連合会綱領に「ideal of SERVICE」という語が初出。 ・ 戦争避難民救済資金募集 (アメリカの各クラブ)。第一次世界大戦終結。
1919 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジョン・プール会長が“Service Above Self”を使って演説 (Not Self の衰退へ)。 ・ 連合会とクラブの綱領が統一される (ソルトレイク・シティ大会)。 ・ 地区ガバナー国際会議発足 (後の国際協議会 3/17~18 シャーマン・ホテル)。 ・ エリリア RC のエドガー・アレンがオハイオ州身体障害児協会を本格的に設立。
1920 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ フランク・コリンズ死去。 ・ 最初の手続要覧の Rotary Creed(ロータリー信条)に、「“He profits …” が「ロータリー宣言」にある二つの公式スローガンの後半部分として採用されている。スローガン全体は“Service Above Self-He Profits Most Who Serves Best”と読まれる」とある。 ・ 日本最初の東京 RC 誕生 10/20 (認証番号 855、米山梅吉、福島喜三次両氏の尽力による)。少年週間“boy’s week”開始 (ニューヨーク RC) (初の青少年のための活動)。 ・ 奨学金制度開始 (アトランタ RC)。ロータリー徽章採用 (楔穴無し)。 ・ 最初の「友愛の家」の原型がアトランティック・シティ大会で発足。
1921 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手続要覧に Rotary Creed の他に Rotary Motto が入り、「“He Profits …” が一般的にロータリー・モットーとして使用されている。“Service Above Self-He Profits Most Who Serves Best” の形式でも使われている」とある(モットーへ名称改変)。 ・ 米国外で初めて国際大会を開催 (エディンバラ)。これを記念して綱領の中に国際親善と平和の項目を加えることを決定 (国際奉仕の綱領化)。 ・ シェルドンが大会で「ロータリー哲学」を講演し、黄金律を尊重しながら語る。直後にシカゴ RC からキングストン RC へ移籍。 ・ この頃 “Service, Not Self” が一般的にも “Service Above Self” に変更される。 シカゴ RC 会員夫人および子女による” Women of Rotary Club of Chicago” (シカゴ RC の女性達) の集まり発足=RC ではないが、シカゴ RC への協力を目的とする。 ・ 全米身体障害者協会、身体障害者復帰国際協会設立。ソロプチミスト創立。
1922 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際ロータリー (Rotary International) RI と改称。ロサンゼルス大会 <6/5~9>1,243RC81,000 人。

	<ul style="list-style-type: none"> ロータリーの綱領改正（現在の原型、6カ条に。新しい標準 RI 定款・細則及びクラブ定款・細則を採択。メイクアップ制度を含む出席規定制定（クラブ管理の抜本的改正）。但し 6/6 以前加盟のクラブは大会採択と異なる規定を維持可能とした（特権保有クラブ。）イギリスの RIBI による地域運営が容認される。 大阪 RC が誕生 11/17（登録番号 1349）
1923 :	<ul style="list-style-type: none"> セントルイス大会で決議 23-34 採択 <ウィル・マーニア Jr.=ナッシュビル RC、ポール・ウエストバーグ=シカゴ RC>（ロータリー理念、原則の確立）。 関東大震災(9/1)に際し RI と各国 RC から多額の見舞金が贈られる（RI : \$25,000、合計\$89,000）。ロータリーホーム建設。震災孤児支援募金。（東京 RC。ニコニコ箱の原型）。
1924 :	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー徽章の正式規格（楔穴付き）RI 理事会採択。「友愛の家」が正式名称とされ、以後常時開設される。 無地区時代日本にスペシャル・コミッショナー初代に米山梅吉就任（1924~1926）。
1926(S1) :	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回ロータリー太平洋地域大会（5 月・ホノルル） 日本初の RI 理事に米山梅吉就任（1926~1927）。第 1 回都市連合懇親会開催(5 月・大阪)。
1927 :	<ul style="list-style-type: none"> ベルギーのオステンド大会で四大奉仕部門（うち国際奉仕は翌年）を承認。クラブ奉仕部門、職業奉仕部門を新設し 23-34 が安易に“社会奉仕に関する声明”とされ社会奉仕部門とされた(26~6)。 Aims and Objects Committee（目標設定委員会）提案による（四大奉仕への転換）。道徳律頒布中止。最初の青少年交換。RIBI 正式承認。
1928 :	<ul style="list-style-type: none"> 「ロータリー財団」法人設立。のち、1931 年信託組織化、1983 年イリノイ州法のもとで非営利財団法人化（財団活動の確立）。 ポール・ハリス著「The Founder of Rotary(ロータリーの創設者)」を RI 出版。ビビアン・カーター著「The Meaning of Rotary(ロータリー解析)」出版。 日本が満州、朝鮮を含む第 70 区(13RC)に制定される。初代ガバナー米山梅吉。 大連 RC 設立。大連 RC の「ロータリー宣言」発表（古沢丈作）。 第 2 回ロータリー太平洋地域大会（10 月・東京）。
1929 :	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回 RI 第 70 区年次大会開催（4 月・京都 第 4 回都市連合会を改称）。 モットー” He Profits---” 廃止提案（ダラス大会 29-7）否決。ロータリー徽章（楔穴付き）確定（29-12）。ロータリー旗規格確定。世界恐慌（10 月。）
1930 :	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー創立 25 周年、シカゴで盛大な記念大会開催(11,008 人) パスト・サービス会員制度制定。青少年交換指針発表。シェルドン退会。 ロータリー財団がポール・ハリスの寄付による最初の補助金 500 ドルを拠出（エドガー・アレンの国際身体障害者協会<後のイースター・シール協会>へ）。 日本スマイル箱の原型（ただし罰金徴収式）が大阪 RC で発足。世界的不景気発生。
1931 :	<ul style="list-style-type: none"> ロータリー財団信託宣言。 浄財拠出型スマイルボックス開始（東京 RC 関幸重命名）。道徳律頒布禁止。 日本第 1 回地区協議会開催（9 月、第二代井坂孝 DG）。定期的月信発信第 1 号（8/10）会長幹事宛、第 4 号（10 月）から全会員に配布。台北 RC 設立。 RI 公式資料「目標設定計画」の中で、“ideal of Service”を具体的に説明（初

	出)。
1932 :	<ul style="list-style-type: none"> ・「四つのテスト」創案 (ハーバート・テラー)。「国の法律習慣に関する批判」発表。 ・史上最初の会員数減 (世界不況)。RI が初めての同時通訳システム導入 (於ビクトリア)。
1933 :	<ul style="list-style-type: none"> ・1都市1RC 制廃止(33-26)。「四つのテスト」発行。「ロータリアン間の取引関係」発表。 ・右傾団体などからの圧力で京都 RC12 月第一例会、12 月 6 日に石川芳次郎会長が君が代合唱 (及び日の丸掲揚=推察) 開始 (京都 RC 週報)。戦後も各 RC で継続されている。
1934 :	<ul style="list-style-type: none"> ・規定審議会が国際大会の必須部門として発足。シカゴ大学が「Rotary?」出版。 ・「国事に関する方針の声明」発表。少年週間が青少年週間(“youth week”)となる。
1935 :	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の「ロータリーの綱領」ほぼ完成、前文と四カ条の本文という解釈 (目的の明確化)。 ・ポール・ハリス夫妻来日 (帝国ホテル内庭に「友愛の樹<月桂樹>」手植え (2/9))。 ・国家間訪問 (ロータリー友情交換プログラム) 設定。 ・ポール・ハリス著「This Rotarian Age(ロータリーの理想と友愛)」を RI が出版。 ・「奉仕の理想」「我等の生業」発表。第 7 回 第 70 区京都大会で発表。 ・シェルドン没。
1936 :	<ul style="list-style-type: none"> ・「国家有事中のロータリー活動」発表。「大連クラブロータリー宣言」採択 (区神戸大会、5 月)。ロータリーの日本化運動。 RI の中央集権制に日本への地域分権制導入を申し入れた(芝染太郎特使妥協、撤回)。 ・「ニコニコ箱」の常設 (大阪 RC 7 月、東京 RC 9 月)。 ・青少年週間が少年・少女週間 (boy's and girl's week) となる。 ・ドイツで RC 解散。翌年イタリア・オーストリアで解散続く。
1939 :	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 次世界大戦勃発(1939-1945)。日本、第 70、71、72 区となる。自治地域制度適用。 ・日満ロータリー連合会(RIJM)結成 (区別府大会・7 月) RI 黙認? ・国際身体障害者協会 推進。(エドガー・アレン)。 シニア会員新設、会員身分制度確立へ。
1940 :	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回日満ロータリー地区連合年次大会 (横浜・5 月)。 ・RI ハバナ大会で“人間尊重を求める”決議案を採択 戦後、国連憲章の基となった。 ・日本の RC が RI 脱退宣言 (9/4)。七曜倶楽部連合会結成。 各クラブは和風名称に変えて例会を続ける。RI「青少年への奉仕の目標」発表。
1941 :	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、太平洋戦争に突入(1927 年 7/7 日中戦争開始から“アジア・太平洋戦争”と名称)。
1942 :	<ul style="list-style-type: none"> ・RI 第 13 地区の大会が 21 カ国政府を代表する関係者をロンドンに招待して教育文化交流機構について協議する会議を開催、これが後にユネスコとして成立。 ・シニア会員をシニア・アクティブ会員に変更。「ロータリアンに対する事業上の援助と助言発表。“Service Through Business” 宣言文採択。チェスリー・ペリー

	<ul style="list-style-type: none"> RI 事務総長退任。 ・史上二番目の会員減少(1940~1942) 第 2 次世界大戦起因。
1943 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ RI 理事会は、1932 年にハーバート・テラー (シカゴ RC) が考案した「四つのテスト」を正式採用。後の 1954 年、テラーは RI 会長就任に先立ち版權を RI に寄贈。
1945 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 46 カ国 49 人のロータリアンが国連憲章起草に参画。ロータリー財団の目標設定。 ・ 第二次大戦終結。グアム RC が RI 復帰 (戦後第 1 号)。
1946 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米山梅吉逝去 (4/28)。福島喜三次逝去 (9/17)。
1947 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポール・ハリス逝去 (1/27 享年 78 歳)。追悼募金が 5/1 までに 125,000 ドル集ったので「高等教育のための奨学金制度」(後の国際親善奨学生)を開始し、18名の奨学生派遣。 追悼募金は合計 130 万ドル超に達した。日本第一回 RI 復帰協議会発足 (7/16)。
1948 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業奉仕解説書、パーシー・ホジソン著「Service is My Business (奉仕こそわがつとめ)」を RI が出版。ポール・ハリス著「My Road to Rotary (わがロータリーへの道)」を RI が出版。職業奉委員会廃止。
1949 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の RC が RI に復帰 認証 3/29 (第 60 地区 : 東京 3/23、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌、他含む 13RC、1949 年度末には 20RC)。 1 都市 1RC 制を完全廃止。ドイツも復帰。国際協議会がシカゴ中心からレーク・プラシッドに移り“Enter to Learn, Go Forth to Serve” 掲示開始 (ケンドリック・ガーンジイ 1947-48 RI 会長 作)。日本戦後初の手島知健ガバナー (東京 RC) 就任。 ・ パーシー・ホジソン RI 会長が RI テーマの原型を初発表。
1950 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 つの標語 “He Profits Most Who Serves Best” と “Service Above Self” をロータリー標語として公式採用 (デトロイト大会)。ICGF (後の IM : 都市連合会) 義務化。 ・ 日本からの第 1 期ロータリー財団奨学生送り出す<1949~50> (清水長一米国へ。元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は翌年の第 2 期生)。中国の RC が解散開始。 インドの RC が定款から “male” の字を削除することを提案 (否決)。朝鮮戦争勃発。
1951 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ロータリー道徳律」本文が RI 細則から削除されて名称のみ残る。中国 RC 全面解散。 ・ ロータリーの綱領の “Objects” を “Object” に変更、単数に変更して 1 カ条の主文と四つの付随項目という解釈とした (アトランティックシティ大会 51-9)。 ・ RI 加盟承認番号を廃止。Aims and Objects 委員会廃止。 ・ 日本最初の ICGF (現 IM) 開催。 ・ 最初の財団奨学生ビューター君来日 (東大)。サンフランシスコ平和条約締結。
1952 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京 RC で古沢丈作会長が米山記念奨学金制度を提案 (翌年より実施)。第 1 号の寄付者は米国のウイリー・ネルソン氏。「手に手つないで」発表 (第 60 地区大阪大会)。 ・ 日本 2 地区 (第 60、61 地区) に分割。日本戦後初の RI 理事に手島知健 PDG が就任。 ・ ロータリー解説書「Adventure in Service(奉仕の冒険)」を RI が出版。 ・ 日本で初めてのライオンズ・クラブ設立。

1953 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 地区分割に対応して、機関紙「ロータリーの友」創刊。第 61 地区神戸大会で「手に手つないで」を唄い円陣を作ることが始まる。「それでこそロータリー」発表。 ・ ホアキン・シビルス RI 会長が RI テーマを本格的開始、継続。 ・ 朝鮮戦争休戦協定 (7 月)。
1954 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「四つのテスト」 版權が作成者 H.テラーから RI 会長就任を機会に RI に寄贈される。 ・ エバンストンに RI 中央事務局完成。 ・ RI テーマ公式邦訳開始 ロータリー文献邦訳決定権者に手島知健 PDG。 ・ 「四つのテスト」 公募による邦訳決定 (本田親男)。 ・ 米山奨学生第 1 期ソムチャード・ラタナチャタ氏 (タイ) 来日。 ・ チェスリー・ペリーがタルサ RC で “ideal of Service” を説明 (公式名簿巻末に引用)。
1955 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロータリー創立 50 周年シカゴで大会。 記念誌” Rotary-Fifty years of Service” 出版。 ・ ロータリー財団の目標改正。日本 4 地区に分割。
1956 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロータリー財団週間制定。第 1 期 ROTA (GSE の前身) 実施。 ・ 規定審議会の最初の隔年会合開催。戦後初の日本語訳手続要覧完成 (手島知健、宮脇富)。
1957 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポール・ハリス・フェロー開始。地区番号が 3 桁になる。 ・ 全国規模の米山記念奨学委員会設立。日本 5 地区に分割。
1958 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界理解週間制定。
1959 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財団奨学生の目的を国際理解に変更。RYLA がオーストラリアで発足。財団 GSE 採択。 ・ 「Seven Paths to Peace(平和への七つの道)」を RI が出版。日本 6 地区に分割。
1960 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェスリー・ペリー没(2 月)。日本 7 地区に分割。
1961 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ RI 第 52 回東京国際大会開催 (エド・マックローリン RI 会長、参加国及び地域 74 以上史上最多 23,366 人、アジア最初の大会)。天皇陛下来臨。日本 8 地区に分割。 ・ RI が「職業分類指針」発行。100 万ドルの食事始まる (マサチューセッツ州)。
1962 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初のインターアクト・クラブがフロリダ州メルボルンに設立され世界各国に拡大。 ・ 翌年、日本最初のインターアクト・クラブ - 仙台育英高校 IAC 設立。 ・ 世界社会奉仕プログラム (WCS) の導入 (国際奉仕活動の本格化)。 ・ この頃から工業化学薬品過使用、煤煙排出などによる公害、環境問題がクローズアップ。
1963 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「国際ロータリーの基本方針」「ロータリーの基本的特色」「国際青少年計画への指針」を発表。世界社会奉仕委員会企画発表。ポール・ハリス夫人ジーン逝去(11 月)。 ・ カール・ミラー会長が WCS プログラムを開始。
1964 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ シニア・アクティブ会員、アディショナル会員制度一部改正。 ・ マッチド地区とクラブ・プログラム実施 (1963 年に計画)。 ・ スリランカの RC が女性入会容認の制定案を提出 (否決)。 ・ RI 文献日本語翻訳配布事務が東京文献事務所へ移行。 ・ 日本 10 地区に分割。キワニスクラブ日本に渡来。
1965 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング・グラント開始などロータリー財団プログラム改正 (各種補助金)。

	<ul style="list-style-type: none"> ・研究グループ交換 (GSE) 発足。分区代理制度開始。日本 11 地区に分割。
1966 :	<ul style="list-style-type: none"> ・WCS 財政援助制限解除 (金銭的援助緩和) RI 職業分類指針発刊 (最終)。最初の GSE 来日 (サンフランシスコ RC 中心、東京 RC ホスト)。 ・オーレン・アーノルド著 “Golden Strand” をシカゴ RC60 周年記念 (1905～1965) として出版。
1967 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー米山記念奨学会を財団法人化。地区出席競争制定。日本 13 地区に分割。
1968 :	<ul style="list-style-type: none"> ・東ヶ崎 潔氏が日本初の RI 会長に就任(1968-69)。 ・ローターアクト計画発表 (同年、川越に日本最初のローターアクト・クラブ設立)。 ・海外ロータリー・ボランティア制度発足。世界親睦活動発足。居住地会員制度制定。 ・アーチ・クラフ賞設定。職業分類表を各 RC に委任。RI と RIBI 関係正常化。 ・「意義ある業績賞」設定。日本 14 地区に分割。東京帝国ホテル旧館取壊して「友愛の樹」枯死救済策開始 (矢野一郎氏)。一世樹枯死すれども、挿し木により 7 本再生＝二世樹)。
1969 :	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年活動週間制定。地区幹事・地区会計制度制定。IGF 開催をガバナーの裁量に委任。
1970 :	<ul style="list-style-type: none"> ・規定審議会を 3 年毎の RI の立法機関として決定 (組織の立法化)。 ・日本ロータリー 50 周年。「ロータリー資料室 (現ロータリー文庫)」設立。 ・シニア・アクティブ会員制度一部改正。「職業分類対訳表」発行。日本 17 地区に分割。
1971 :	<ul style="list-style-type: none"> ・1959 年オーストラリアとニュージーランドで開発されたロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) を公式採用。 ・世界社会奉仕推進を強調。「公害防止の指針」発表。日本 18 地区に分割。 ・「ロータリー日本 50 年史」出版。ロータリー重要文献日本語訳改定実施。
1972 :	<ul style="list-style-type: none"> ・RI の立法機関としての規定審議会が初開催 (ヒューストン大会)。「環境の改善」発表。 ・米国の RC が女性会員入会を提案 (否決)。 ・日本第 1 回ロータリー研究会開催(12 月、京都)。
1973 :	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 20 地区に分割。
1974 :	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年交換プログラム始まる。「環境保全と資源問題委員会」設置。中断の「意義ある業績賞」復活。規定審議会の 3 年毎開催確定。
1975 :	<ul style="list-style-type: none"> ・「国法の遵守」発表。「ロータリーの友」英語版創刊。 ・この年度後半、6 月に RI 第 366 地区 (大阪・和歌山) が RYLA を日本で初開催。
1976 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーの目的 (定義) 発表。日本ガバナー連絡会議 (今のガバナー会) 発足。
1977 :	<ul style="list-style-type: none"> ・規定審議会を RI 大会から独立の立法機関として開催。日本の地区番号が 200 番台に。 ・カリフォルニア州デュアルテ RC に女性 (シルヴィア・ウイトロック) 入会。日本 22 地区に分割。
1978 :	<ul style="list-style-type: none"> ・RI 第 69 回東京国際大会開催 (ジャック・デービス RI 会長、参加国及び地域 95 以上、史上最多 39,834 人)。 ・保健・飢餓追放・人間尊重 (3-H) プログラム発表 (RI 主導型奉仕活動)。 ・米国デュアルテ RC が女性を入会させていたので RI がクラブを除名 (3 月)、その後裁判へと移行。ロータリーの目的 (定義) を手続要覧 に掲載。日本 23

	地区に分割。
1979 :	・職業奉仕週間新設。フィリピンでポリオ予防接種開始 (3H 補助金第 1 号)。
1980 :	・ロータリー創立 75 周年シカゴ大会。それに合わせてポリオ予防接種のための 3-H プログラム推進 。 ・「道徳律」(RI 細則第 16 条) が名称だけ残っていたのを完全削除 (80-22)。 ・「ロータリーの友」公式地域誌に認定。日本 24 地区に分割。「友愛の樹」一世樹から再生の二世樹 7 本の内、東京帝国ホテル左前庭、皇居北の丸公園に移植 (東京 RC 創立 60 周年記念) 他、米山記念館、二宮尊徳記念館。残り 3 本中 1 本枯死、2 本が神奈川県大井町の第一生命本社敷地内に現存。二世樹から枝分けされた少数の三世樹からの四世樹が拡散開始。
1981 :	・恒久基金設定。RI 日本支局開設 (現日本事務局)。RI が “ロータリアン必携” 発行。
1982 :	・向笠広次氏、日本人二人目の RI 会長に就任(1982-83)。「日本ロータリー60 年史」出版。 ・毎週例会を全 RC が導入。ダラス大会で初めて “Women in Action for Rotary” セッション開催。第一回日韓親善会議開催 (ソウル)。文献代行者制廃止。日本 26 地区に分割。
1983 :	・ロータリーの特別月間開始。女性入会容認で除名されたデュアルテ RC が RI を告訴。
1984 :	・「ロータリーの基本的特色」発表。「ロータリーの目的」を「ロータリーの定義」と改正。 ・決議 23-34 が手続要覧から突然の削除。 ・最初のカラー・ジャケット (黄色) をカルロス・カンセコ RI 会長が使用。
1985 :	・ロータリー創立 80 周年。「ポリオ・プラス計画」を発表 (翌年より実施)。1 億 2,000 万ドル募金発足 (ポリオ撲滅運動の推進)。日本 27 地区に分割。
1986 :	・ロータリアンが 100 万人を突破、日本では 10 万人を超える。 ・決議 23-34 が手続要覧に復活。ローズ・パレード (パサデナ) でポリオ・プラス計画をテレビ公表。RCC (ロータリー地域共同体) 採択。 ・規定審議会で「ポリオ撲滅をロータリーの誓い」と採択。 ・女性入会についてカリフォルニア州控訴裁判所は RI 支持の判決を覆した。その結果でデュアルテ RC が RI に復帰 (9 月)。カリフォルニア州最高裁と RI はこの判決を不服として直ちに米国連邦最高裁判所に控訴。
1987 :	・米国連邦最高裁判所は RI の控訴を棄却して、RC への女性入会を合法判決とした(5/4) 新設クラブとしては世界初の女性を含めたマリンサンライズ RC 創立(5/28)。 一方、初のクラブ女性会長はこの年 デュアルテ RC でシルヴィア・ウィットロック就任。 ・RI 職業奉仕委員会復活 (40 年ぶり)。職業奉仕に関する声明発表 (職業奉仕概念の変更)。 RI 長期計画委員会発足。 ・初めての RI 平和フォーラムがエバンストンで開催。日本 28 地区に分割。
1988 :	・広島で 1987 年度第 4 回ロータリー平和会議(フォーラム)開催。ロータリー友情交換採択。 ・「他団体への協力」発表。ロータリー理解推進月間・会員増強拡大月間新設。 GPEI (世界ポリオ撲滅推進活動) 発足。ポリオ・プラス募金 2 億 4,700 万ドル達成。
1989(H1) :	・女性ロータリアンを認める 1987 年米国連邦最高裁 RI 敗訴判決を受けてシンガポール規定審議会で採択(89-54)。日本最初の女性会員 松田郁子 (RID2500)

	<p>北海道清水 RC)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ロータリアンの職業宣言」採択。「ロータリーの定義」文言改正。 “Service Above Self” (超我の奉仕) が第 1 標語とされた。 ・「綱領」の日本語訳文変更。日本 30 地区に分割。
1990 :	<ul style="list-style-type: none"> ・IGF を IM に呼称変更 (日本 ICGF→IGF→IM)。 ・ソビエト連邦政府と RI がモスクワに仮ロータリークラブ結成を合意した。 (3/24) ・「子供の権利」発表。ロータリー財団寄付シェア・システムに改正。「われらの天体、地球の保全プログラム」が発表されて、同プログラムのパイロット始動承認。 ・パウロ・コスタ RI 会長エレクトがカラージャケット継続慣習開始。
1991 :	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ポリオ・プラス・キャンペーン終了 (募金総額 49 億円 : 1985 年から目標 40 億円)。その後、財団ベースで継続。 ・ロータリー財団シェアシステム実施。「国際ロータリーの使命」発表 (団体奉仕活動の提唱)。日本 31 地区に分割。地区番号が 4 桁・2000 番台に変更された。 ・ソビエト連邦が崩壊し(12/25) ロシア・ソビエト連邦共和国成立。以後、この通称“ロシア共和国”内にウクライナなど多くのロータリークラブが急速に設立された。
1992 :	<ul style="list-style-type: none"> ・社会奉仕に関する声明 (決議 92-286) 採択 (社会奉仕基準の改正)。 ・環境保全 (決議 92-287) を発表。アディショナル正会員制度一部改正。規定審議会へのクラブからの提案は地区大会決議を必須とした。地球温暖化が注目され始める。 日本 33 地区となる。
1993 :	<ul style="list-style-type: none"> ・世界社会奉仕の目標発表。
1994 :	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ大陸ポリオ・フリー宣言。日本 34 地区に分割。
1995 :	<ul style="list-style-type: none"> ・規定審議会で“ポリオ撲滅を RI の最優先事項とする”を採択。メイクアップ期間の変更 (前後 2 週間)。パスト・サービス会員資格改正。「家族」構想開始。家族週間指定。 ・「ロータリーの定義」改正。 ・女性最初のガバナー 8 人誕生。
1996 :	<ul style="list-style-type: none"> ・各地で新世代会議開催。新世代のための月間発足。ロータリーの綱領下文に RI 見解付加。 ・「女性のニーズに応えるロータリー活動声明」採択。DLP (地区リーダーシッププラン) が全地区に推奨される。日本が第 1.2.3.4 ゾーンとなる。
1997 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュー・リーダーシップ・プラン採用。「ロータリー家族」構想推進。 ・RI 国際大会での決議はこの年で最終となる。
1998 :	<ul style="list-style-type: none"> ・IM が手続要覧から抹消。出席規定適用免除改正。「国際ロータリーの使命」改正。 ・「青少年」から「新世代」のためのプログラムへ変更。 ・RI 大会で日本人親善朝食会開始 (インディアナポリス大会)。
1999 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーセンターの設置決定 (日本では国際基督教大学に設置、2002 年開始)。 RI 日本事務局翻訳室廃止。以後、翻訳は世界本部日本語課が担当。 RI がロータリー章典を初発行 (英語版)。
2000 :	<ul style="list-style-type: none"> ・DLP が義務的实施予定と決定。CAP (地域社会援助プログラム、後の地区補助金) 開始。西太平洋地域ポリオ撲滅宣言。 ・日本 35 地区に分割。

	<ul style="list-style-type: none"> ・RI 規定審議会に歴史的最多の 1500 件超の議案が提出され、600 件以上の立法案が審議された。<改革が急務>
2001 :	<ul style="list-style-type: none"> ・会員を正会員と名誉会員に統合、他の各種会員廃止（1 業種 1 会員制変更）。サイバー RC のテスト認可。メイクアップ規定の変更。「国際ロータリーの使命」改正。 ・クラブ区域限界(territory)の呼称が所在地域(locality)に変更。第一回国際 RYLA 会議。
2002 :	<ul style="list-style-type: none"> ・1993 年から試験的に実施され 1996 年に推奨プランとなった地区リーダーシップ・プラン（DLP）が義務的实施となる（ロータリー第 2 世紀への体制強化）。 ・RI 長期計画委員会発足。ヨーロッパ大陸ポリオ・フリー宣言。 ・ロータリー世界平和フェロー第 1 期生入学。 ・創立 100 周年に向けて「ポリオ撲滅キャンペーン」展開。 ・日本 34 地区に再編成。
2003 :	<ul style="list-style-type: none"> ・「ロータリー家族」をこの辺りから RI 会長強調事項とした。家族月間設定。
2004 :	<ul style="list-style-type: none"> ・“He Profits Most…”を “They Profit Most…”に改正。 ・ロータリーにおいて歴史的重要な説明や文書の原文を保存することを決議(04-273)。 ・2000 年より DLP に連動するクラブ管理プランとして検討され、2003 年より試験的推奨が始まっていたクラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）導入の推奨クラブ細則が発表された（11 月 RI 理事会）。RI 長期計画（2004-07）発表。 ・「ロータリーの基本的特色」削除。「ロータリーの定義」表示消去。 ・RI 第 95 回大阪国際大会（ジョナサン・マジアベ RI 会長、参加国及び地域 112 以上、史上最多 45,595 人）。RI が「奉仕の一世紀<国際ロータリー物語>」発行。
2005 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー創立 100 周年記念大会（シカゴ、参加国及び地域 161 以上、39,460 人）。 ・期限としていたポリオ撲滅があと 1 %未達成となり、以後これを RI 最優先目標とした。 ・日本に財団学友による RC が RID2780 神奈川に誕生（2007 年に大阪でも誕生）。 ・CLP 推奨細則一部改正。財団の「未来の夢計画」委員会設置。
2006 :	<ul style="list-style-type: none"> ・財団の「未来の夢計画」始動（財団の新方針）。半期必須出席率 60%が 50%に緩和。 ・「国際ロータリーの使命」改訂。上海、北京 RC が認証された。
2007 :	<ul style="list-style-type: none"> ・財団学友、ボランティア・リーダーの入会を承認。（会員資格の大変更）。 ・四大奉仕部門をロータリー・クラブ定款に明記（2010 年に五大奉仕となる）。 ・ポリオ撲滅がロータリーの最優先事項であることを確認。 ・ポリオ撲滅へのビル・ゲイツ財団からの 1 億ドルの寄付に対応してロータリー 1 億ドルチャレンジ・グラント発表（翌年より 2 億ドルを目標として 2012 年 6 月末まで継続）。 ・RI 長期計画 2007-10（中核となる価値観記載）発表。「国際ロータリーの使命」改正。 ・ロータリー財団の使命、標語(Doing good in the world)、優先事項など採択。 ・初の公式日本語訳ロータリー章典発行。以後継続していない。 ・日本人初の女性ガバナー(2007~2008)、RID2630 田中稔子（としこ）就任。
2008 :	<ul style="list-style-type: none"> ・決議 23-34 がロータリー章典から抹消（手続要覧には記載）。 ・女性 RI 理事第一号 カロリーヌ・ヌヴォー(パリ RC)

	第一回日台親善会議（於東京日本 26 地区に分割。）
2009 :	<ul style="list-style-type: none"> • RI 第 100 回バーミンガム国際大会（参加国及び地域 157 以上、16,062 人）。RI 職業奉仕委員会再復活。公式名簿巻末の“ideal of Service”説明文を削除し改変。 • 日本が第 1,2,3 ゾーンとなる。ゾーン研究会がロータリー研究会と改称された。
2010 :	<ul style="list-style-type: none"> • 新世代奉仕が加わり五大奉仕部門となる。 • “They Profit Most…”を“One Profits Most…”に変更。 • 4月の規定審議会で「決議 23-34 第 1 項を奉仕の哲学の定義として使用することを検討するよう RI 理事会に要請する件」採択（10-182 釧路北 RC 提案）。6 月理事会で確定。 • 決議 23-34 のロータリー章典、手続要覧両方への掲載決定（ロータリー理念の再確認）。 • RI とロータリー財団の戦略的方向性を一元化する目的で RI 新長期計画発表（2010-13）。E クラブ承認。「未来の夢計画」パイロット地区発足。 • 「ロータリーの定義」説明削除。「国際ロータリーのビジョン」「中核となる価値観」発表。 • 米山学友を中心の東京米山友愛ロータリークラブが設立。日本最初の E クラブ設立。
2011 :	<ul style="list-style-type: none"> • 「ロータリアンの職業宣言」を「ロータリーの行動規範」（8 項目）と改正変更。WCS（世界社会奉仕）が廃止され国際奉仕に一元化（7/1 から）。 • RI 長期計画は RI の「ビジョン」を「本質」と改正。10 月には「長期計画」（和訳名）を「戦略計画」と改称。（One Rotary <RI と TRF の一元化> 構想推進）。 • RI 職業奉仕委員会を RI 職業奉仕推進委員会と改称して継続。ジョン・ヒューコ氏が RI 事務総長就任。“The Rotarian”のデジタル版発刊。
2012 :	<ul style="list-style-type: none"> • 田中作次氏、日本人三人目の RI 会長に就任（2012-13）。インドをポリオ常在国から除外。 • ポリオ撲滅ロータリー 2 億ドルチャレンジグラント達成。さらに募金活動推進。
2013 :	<ul style="list-style-type: none"> • “Object of Rotary”の日本語訳「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」とされ内容の訳文も改正された。ガバナー協議会（2008~09 年度 PDG）活動の成果。 • 国際奉仕の基本方針削除。ドイツ財団がポリオ・プラスへの寄付継続を表明。 • 新世代奉仕部門を青少年奉仕部門と改称。E クラブ数制限撤廃。 • 広島で 2012 年度ロータリー世界平和フォーラム開催（ベルリン、ホノルルに次いで）。 • ロータリアンのウェブサイト “My Rotary” の登録奨励開始。 • ロータリー財団新補助金プログラム「未来の夢計画」実施（7/1 から）。 • 「六つの重点分野」採択。
2014 :	<ul style="list-style-type: none"> • 1 月、国際協議会に 1949 年以来掲げられていた “Enter to Learn, Go Forth to Serve” が廃止され、“Join leaders, Exchange ideas, Take action” が掲示された。 • 1 月、「ロータリーの行動規範」が 8 項目から 5 項目となり、さらに 10 月には 4 項目となる（第 5 項目削除はロータリー・グローバル・リワード実施のための準備）。和訳名がまもなく「ロータリアンの行動規範」と是正された。ロータリー学友の定義拡大。 • ロータリー雑誌購読義務が電子版でも良いと承認（2010 年 11 月 RI 理事会）

	<p>されたことに対応して「ロータリーの友」電子版1月号発刊。RI 戦略計画が修正されつつ進行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月、特別月間を「六つの重点分野」をベースとして大幅変更決定(2015年7月実施)。 ・東南アジア地域ポリオ・フリー宣言。
2015 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー・グローバル・リワード (会員特典プログラム) 開始。(「ロータリアンの職業宣言」の基本変更)。 ・新特別月間開始。特別週間の部分変更もあり。
2016 :	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、規定審議会でロータリー史に残る多くの重要な決定。「柔軟性」というキーワードで <ul style="list-style-type: none"> -例会と出席に関する例外規定 (16-21)。 -会員身分に柔軟性を認める例外規定 (16-36、38)。 -決議審議会が毎年開催され決議案のみオンライン採決となり、制定案だけが3年毎の規定審議会で採択されることとした。(16-113) 2017年度開始。 -Eクラブが事実上従来型クラブと同一となり文言削除 (16-30、82)。 ・「RI 戦略計画の最新情報」が発表され、「奉仕」に偏重傾向を見直して「会員組織」と等重量となるよう心がけるとの説明 (基本の再確認)。 ・ロータリー財団が2025年までに恒久基金を20億2500万ドル蓄積確保を推進することを決定。 ・「日本のロータリー100周年実行委員会」設置。
2017 :	<ul style="list-style-type: none"> ・1月、理事会は8年毎のゾーン編成見直しにより新編成案採択。6月理事会から総括的審議継続開始。「ロータリーのビジョン声明」発表。 ・2016年度「ロータリー財団100周年」祝賀行事が世界的にロータリー・デーとして実施。 ・ロータリー財団100周年記念アトランタ大会が盛大に開催(6/10~6/14 33,900人)。 ・ロータリー財団 記念誌「世界で良いことをしよう」人々の心に触れた100年”発行。 ・地区指導者育成セミナーがRIの研修サイクルから削除決定(9月)。 ・最初の決議審議会が10月15日~11月15日にオンライン投票で開催された。
2018 :	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいRI 戦略計画が6月の理事会で採択された。ローターアクト発足50周年。 ・2020年の“日本のロータリー100周年”を記念して作成のゴールデン・ゴングを1年先行して7月から各地区ガバナーが公式訪問などへ携行して点鐘した。 ・新制度の2019年規定審議会への立法案集(制定案のみ)発表。会期が1日短縮決定。 ・地区リーダーシップ・プランが10月理事会で大幅に修正された。(2019年7月1日から有効) (体制強化推進)。ロータリー未来形成 委員会設置。 ・中華人民共和国で増えつつあるロータリーを海外NGOとして登録する手続きを行うことに同意した (RI 10月理事会)。
2019 (R1) :	<ul style="list-style-type: none"> ・「ロータリアンの行動規範」が1項目付加され、5項目となった(1月理事会)。 ・4月、規定審議会が一日短縮で開催され、前回に続いて更に柔軟性そして革新性を標榜する提案が採択された。(RIのIT化が急加速)。 -メークアップ期間を同年度内とする(19-35)。 -公職、RI職員規定を削除(19-37)。 -職業分類の制限廃止(職業分類は残される)(19-39)。 -事務総長が「最高経営責任者 (CEO)」の肩書を使用する事を採択(19-62)。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリークラブが RI に加盟する事を採択(19-72)。それに伴い 2017 年発表「ロータリーのビジョン声明」の主語 “私たちロータリアンは “から “私たちは” と変更。 ・ RI と TRF 共通の 2020-2021 年次目標が戦略計画をベースとした形で採択。戦略計画の優先事項に行動計画を付加して行動を促している (5 月理事会) (RI と TRF の一元化)。 ・ ポリオ撲滅計画の日本語訳を根絶と改称。DEI 声明採択。 ・ RAC が RI に加盟する事が承認されたため、7 月には最善の形で実施するための調査をするタスクフォースが設立されて、理事会が未確定事項の審議を急進。 10 月には RAC 会員の年齢上限解除など多くの案件が採択された。 ・ 12 月、中国武漢市で新型コロナウイルス流行発生し、世界的に大拡散始まる。
2020 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区・クラブ活性化ワークショッププログラム設定 (1 月) ・ オンラインによる理事会は新型コロナウイルスへの対応として RI、地区、クラブなどの会合をオンラインで行うことを推奨、容認した (3 月) 更に 2020 年 6 月予定の RI 国際大会 (ホノルル) の中止を決定した。 ・ RI 国際大会をバーチャル大会で実施することを決定。ロータリーのプログラム、会合、行事の全参加者の健康と安全を最重要として、新型コロナウイルスへの対応原則は各会合で直接顔を合わせることを義務としない事とした。この原則を念頭に、現状における具体的なロータリー活動の規則と指針を採択した (4 月)。(新しい組織運営様式の導入)。 ・ 地区会員増強セミナー削除 (4 月) ・ ロータリーグローバルリワード-プログラムを 2021 年 6 月末で終了することを決定 ・ 日本では 3 月初旬からの例会の取りやめや、次年度地区準備会合、地区大会などの中止や延期が相次ぎ、大きな混乱を来した。 ・ 国際キワニス、ライオンズクラブ国際協会、国際ソロブチミスト、国際ロータリーの各会長が懇談し、「新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的大流行 (パンデミック) 収束のため、共に行動を起こし、団結を図る革新的な方法を見出すことに全力を注ぐ」と言う合同声明を発表した (5 月)。(世界的大規模合同奉仕活動への展望) ・ RI 理事会とロータリー財団管理委員会は「環境の保全」、のち「環境」という新たな 7 つ目の重点分野を追加した。当プロジェクトの補助金申請は 2021 年 7 月 1 日から受付。 ・ RI の公式機関紙の名称が「The Rotarian」から「Rotary」に改称された。2021 年 1 月号またはそれ以前からとされている。 ・ DEI (多様性、公平さ、開放性) に関する包括的行動計画作成の任務をタスクフォースに要請 (6 月)。(RI がロータリーの理念の基盤に国際基準導入を推進) ・ SRF(Shaping Rotary's Future=ロータリー未来形成)委員会正式設置 (8 月)。 ・ RI 初の女性会長(2022~2023)に、ジェニファー・ジョーンズ氏が指名された。 ・ RI の新たな構造モデルの草案起草推進を要請 (10 月)。 11 月から現状における案を公表。日本でも 12 月にかけてオンライン説明会開催。 ・ 日本ロータリー100周年 (東京 RC 創立 1920 年 10/20) を迎えた。
2021 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ RI 国際大会 (台北) はバーチャル開催と決定 (1 月)。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョン・ヒューコ事務総長は 2026 年 6/30 まで再任とした (1 月) ・国際協議会もバーチャルで開催された。 ・「ロータリー日本 100 年史」発行(6/30)。 ・当初の DEI 声明に代わる“多様性、公平さ、インクルージョン (包摂)” へのコミットメント声明採択 (10 月)。タスクフォースの任務を 2023 年 6 月まで延長。 ・DEI 行動規範採択 (11 月) <p>(RI が組織構造と行動規準の抜本的変革推進)</p>
2022 :	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協議会が史上初めてハイブリッドで行われた。 ・規定審議会が 4 月に対面参加とバーチャル参加のハイブリッド方式で開催された。 <p><u>関心の高い制定案</u></p> <ul style="list-style-type: none"> -地区運営に関する RI 理事会提案で、ロータリーの未来形成 (SRF) に関する制定案で地区組織二つの地域 (オーストラリア、ニュージーランドを含むゾーン 8 と RIBI<RI グレートブリテン&アイルランド>) の運営管理の在り方について試験的プロジェクトを実施する(22-71)=採択。 -クラブの月次出席報告義務の規定を削除(22-85)=採択。 -人頭分担金を 2022-23 年度以降、毎年半期 1 ドルずつ値上げ(22-46)=修正案採択。 -会員増強でクラブの所在地域内に事業所や住所を有する条件を削除(22-13)=採択。 -RI 細則「会員の多様性」の条項に“公平性とインクルージョン”を加える(22-10)=採択。その他、ローターアクトに関する未決事項などが出ている。詳細は決定報告書参照。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー、キワニス、ライオンズ、オプチミストの各組織やクラブが協力して、9/11~17 日を「グローバル奉仕週間」を合同で活動を行うことに合意して実施した。 <p>(合同奉仕活動への展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーの特別月間、4 月が「環境月間」となり、従来の「母子の健康月間」は 7 月へ。 ・RI 理事会は国際大会に付随して開催の国際研究会を廃止。 ・DEI に関する行動計画実施について RI 理事会と財団管理委員会に助言する合同 DEI 諮問委員会の設置承認。 ・ステファニー A. アーチック氏 (米国ペンシルバニア州、マクマリー・ロータリークラブ所属) が、会長指名委員会により国際ロータリーの 2024-25 年度会長。アーチック氏は女性として史上二人目の国際ロータリー会長 ・10 月 4 日ノーベル物理学賞の受賞者が発表され、ウィーン大学教授で Wien-West ロータリークラブ会員であるアントン・ツァイリンガーさんはじめ量子力学の分野で功績をあげた 3 人が選ばれた。
2023 :	<ul style="list-style-type: none"> ・サントアンドレ・ロータリークラブ (ブラジル、サンパウロ) 会員のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が 2025-26 年度国際ロータリー会長に選出された。 ・2023 年 9 月、財団管理委員会は、壊滅的な地震の被災者のための緊急救援活動を支援するため、新たに「モロッコ地震救援基金」を設置。 ・2023 年 10 月、ロータリー財団がチャリティナビゲーターから 15 年連続で最高評価を受ける。 ・国際ロータリーは、イスラエルとガザ地区における紛争に関するロータリーの声明を発表。 ・国際ロータリーは、中東での紛争に関するロータリーコミュニティへのメッセ

- ージを発表。
- ・ 会員の新しい「行動規範」を承認し、従来ロータリー章典に記載された様々な行動規範を見直し統合した。
 - ・ RI とロータリー財団の合同年次目標を 4 つの優先事項として採択。
 - ・ RI 理事会で、RI の研修スタイルが変更され、トレーニング（研修）モデルからラーニング（学習）モデルへの変更が決定された。

以前の名称	→	新しい名称
クラブ研修リーダー	→	クラブ・ラーニングファシリテーター
地区研修リーダー	→	地区ラーニングファシリテーター
地区研修委員会	→	地区ラーニング（研修）委員会
国際協議会研修リーダー	→	国際協議会ラーニングファシリテーター

- ・ 2025-26 年度から、会長の年次テーマとロゴの作成を廃止することに同意。
- ・ 2025-26 年度からの複数年にわたる行動計画を軸とした会長メッセージの枠組みを承認。
- ・ 2024-25 年度からクラブ、地区、ゾーンレベルの 3 年間の段階的なターゲットと、3 年間の段階的な地域計画を設定するプロセスを承認。
- ・ 2024 年 7 月 1 日より、ロータリー表彰状の名称を「クラブ優秀賞」(the Club Excellence Award)に変更が決定。
- ・ 大規模プログラム「マラリアのないザンビアのためのパートナー」の成功に基づき、「ロータリーの健康な地域社会チャレンジ」プログラムの実施が決定された。
- ・ 壊滅的な地震の被災者のための緊急救援活動を支援するため、新たに「モロッコ地震救援基金」が設置。
- ・ ロータリーは、研修文化から参加者中心の学習（ラーニング）文化へと移行に伴い理事会は 2025 年に開催される規定審議会へ、「PETS」及び「地区研修・協議会」の名称変更を提案することになった。具体的には、
会長エレクト研修セミナー（PETS）⇒会長エレクトラーニングセミナー
地区研修・協議会⇒クラブリーダーシップラーニングセミナー

2024 :

- ・ イスタンブール（トルコ）にあるバーチェシヒル大（Bahçeşehir University）にロータリー平和センターが新設される。
- ・ 2023 年 2 月 6 日に発生したトルコ・シリア地震救援に 200 万ドル超の寄付が寄せられる。
- ・ 会員の「研修」から参加者中心の「ラーニング」へとロータリーの文化を転換する取り組みの一環として、役職名と行事名を下記のように変更した。

以前の名称	→	新しい名称
ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）	→	ガバナーエレクト・ラーニングセミナー（GELS）
ガバナーノミニー研修セミナー（GNLS）	→	ガバナーノミニー・ラーニングセミナー（GNLS）
GETS 一般チームメンバー	→	GELS ファシリテーター
GETS チームリーダー	→	GELS チームリーダー
国際協議会ラーニングファシリテーター	→	国際ロータリーラーニングファシリテーター
国際協議会セミナー研修者	→	国際協議会セミナーリーダー
審議会研修リーダー	→	規定審議会ラーニングリーダー

- クラブに 3 年間の目標 **three-year rolling goals** を設定するよう強く奨励し、ゾーンには、クラブが目標を達成できるよう、3 年間の地域計画 **three-year regional plans** を立案するよう奨励した。さらに、地区とゾーンに、これらの 3 年間の地域計画 **three-year regional plans** を支援するよう奨励した。
- 2024-25 年度に「クラブでの経験」**The Club Experience** と「エビデンスに基づく意思決定」**Evidence-based Decision-making** の 2 つの新しい戦略的イニシアチブを承認した。

2023 年、2024 年の年表記載事項については RLI 日本支部カリキュラムチームで追加

2 ロータリーの理念

(ロータリー理念のルーツを探る)

ロータリーの理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。ロータリーの理念を学ぶことによりロータリーの理解がより深まります。



セッションの目標

- 「ロータリーの目的」の変遷を振り返り、議論する。
- ロータリーの「中核的価値観」の意義について理解を深める。
- ロータリーの理念に対する理解があなた生き方にどのような影響を及ぼすか、さらに、ロータリーの理念が地域社会や世界にどのような影響を与えるかについて議論する。

セッションの問い

- 1) 「ロータリーの目的」の変遷を振り返りましょう。(資料3 : P170)
(歴史的なルーツを議論する)

- 2) 現在の「ロータリーの目的」の趣旨と構造を理解しましょう。(資料1 : P165)

- 3) 「ロータリーの目的」と五大奉仕や7つの重点分野との関係を検証する。(資料1、2 : P165~169)
 - i) 五大奉仕と「ロータリーの目的」の関係
 - ii) 7つの重点分野と「ロータリーの目的」の関係
 - iii) あなたのロータリークラブの実際の活動とロータリー目的を関連付けてください。

4) ロータリーの目的を学ぶことによって、ロータリアンとしてのあなたの認識が変化しましたか？

5) 2007年 RI は戦略計画を立案し、ロータリーの中核的価値観を発表致しました。

ロータリーにおける中核的価値観の位置づけを議論しましょう。

(パート I セッション 2 資料 3 : 国際ロータリー戦略計画 を参照してください)

6) 1915年のロータリー倫理訓から始まり、現在のロータリアンの行動規範に至るまでの職業倫理向上運動とロータリーの目的との関係をどのように考えますか？

(資料 1 : P165)

セッション2 資料1

ロータリーの指導原則

ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

OBJECT OF ROTARY

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

(RIC 4; SRCC 5)

四つのテスト

ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき4つの問い、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do:

- 1) Is it the TRUTH?
- 2) Is it FAIR to all concerned?
- 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned?

The Four-Way Test was created in 1932 by Rotarian Herbert J. Taylor, who later became president of Rotary International. (RCP 34.070.)*

*** Reproduction and Use** The sole purpose of any reproduction or use of The Four-Way Test should be to develop and maintain high ethical standards in human relations. The test should not be reproduced in any advertisement intended to increase sales or profits. It may, however, be used on the letterhead or in the literature of a firm, organization, or institution to convey its sincere attempt to conduct itself along the lines of The Four-Way Test. All reproductions of The Four-Way Test should be in the form shown above.

奉仕部門

私たちは、クラブ活動の土台となる 5 つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

クラブ奉仕は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。

職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることで、詳しくは、「職業奉仕入門」と「行動規範」をご参照ください。

社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。詳しくは、「活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための指針」をご参照ください。

国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

青少年奉仕は、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

ロータリアンの行動規範

2023年4月理事会会合、決定114号により改正

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 他者に公平に接し、敬意をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) の行動規範」を遵守することが含まれる。

3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域 社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリー関連行事のすべての行動規範に従う。

大連クラブのロータリー宣言 1936年

1. 須（すべか）らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。故に吾人は道義を無視して所謂（いわゆる）事業の成功を獲んとする者に与せず。
2. 成否を日（ひ）に先立ち退いて義務を尽くさんことを思い進んで奉仕を完うせんことを念（ねが）う。自らを利するに先立ちて他を益せんことを願う。最も能く奉仕する者最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。
3. 或いは特殊な関係を以て機会を壟断（ろうだん）し、或いは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す。これ吾人の最も忌む所なり。吾人の精神に反してその信条を紊（みだる）は利のために義を失うより甚だしきは無し。
4. 義を以て集まり、信を以て結び、切磋し、琢磨し、相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。然れども党を以て厚くすることなく、他を以て拒むことなく、私を以て党する者にあらざるなり。
5. 徒爾（いたずら）なる角逐（かくちく）と鬭争とは世に行われるべからず。協力以って博愛平等の理想を実現せざるべからず、然り我が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す、吾がロータリーの崇高なる使命茲に在り。その存在の意義又茲に在す。

（満州大連クラブの古沢丈作氏が「ロータリーの綱領」と「職業倫理訓」の真髓を表現したものの。）

ロータリアンの職業宣言

(Declaration for Rotarians in Business and Professions)

1989年

1989年の規定審議会は次の職業宣言を採択しました。 事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- 2) 職業の倫理的模範、国の法律、地域社会の道徳基準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。

- 5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

国際ロータリーの使命 (Mission of Rotary International)

国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することである

国際ロータリーの標語 (MOTTO OF ROTARY INTERNATIONAL)

「超我の奉仕」 (Service Above Self)

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」
(One Profits Most Who Serves Best)

Rotary's new vision statement ビジョン声明 (Vision Statement)

2017年6月理事会

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な変化を生むために人びとが手を取り合って、行動する世界を目指しています。

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change—across the globe, in our communities, and in ourselves.

セッション2 資料2

重点分野

地元地域や世界のために、持ちうるリソースを最大限に生かしたい。そう願うロータリーは、これまでの長年の経験から、もっとも大きく、持続可能なインパクトをもたらすことをめざして活動しています。

- 平和の推進
- 疾病との闘い
- きれいな水の提供
- 母子の健康
- 教育の支援
- 地元経済の成長
- 環境の保護

平和の推進

紛争の予防・仲裁や難民支援に当たる人材を育て、異文化間の交流と対話を促すことで、平和な世界づくりを目指しています。

疾病との闘い

命を脅かす病気（ポリオ、エイズ、マラリアなど）について正しい知識を伝え、発展途上国で低額または無料の医療を提供するなどして、病気の予防と治療を支援しています。

水と衛生

「ただ井戸を掘って終わり」ではなく、きれいな水や衛生設備を活用して長期的な地域発展が実現できるよう、包括的な支援を行っています。

母子の健康

世界では毎年、5歳未満の子ども600万人近くが、栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。ロータリーは、質の高い医療によって母と子の健康を守っています。

教育の支援

世界で読み書きのできない人（15歳以上）は、7億7500万人。ロータリーは、より良い学校をつくり、教育における性差別をなくし、成人への識字教育に力を注いでいます。

地域経済の発展

生産的で十分な収入をもたらす雇用の機会の創出を通じて人びとの自立を促し、発展途上地域の（特に女性による）起業を応援しながら、リーダーとなる人材を育てています。

環境の保護

ロータリー会員は、プロジェクトを立ち上げ、つながりを生かして政策や方針の変更を促し、未来を形づくる計画を立てます。環境問題においても同じアプローチで取り組んでいます。

セッション2 資料3

「ロータリーの目的」の変遷

1906年1月	シカゴ・ロータリークラブ定款が初めて制定される。この時点では目的（綱領）を兼ねた僅か二箇条に纏められた定款であった。 第1条 本クラブ会員の事業上の利益の増大 第2条 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進
1906年12月 (1907年1月という説もある)	定款に第3条「シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める」が追加された。
1910年	全米16クラブの連合体として全国ロータリークラブ連合会が結成され、最初のロータリーの目的（綱領）が制定された。 ＜ロータリーの目的（綱領）1910年＞（5項目の綱領） 1. アメリカ全土に加盟ロータリークラブを結成することによって、ロータリーの原則を拡大発展させること 2. アメリカ全土の加盟ロータリークラブの業務と原則を統一すること 3. 市民としての誇りと忠誠心を喚起しかつこれを奨励すること 4. 進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること 5. 加盟ロータリークラブの個々の会員の事業上の利益を増大すること
1912年	アメリカ以外の国にロータリーが拡大され、連合会の名称が、国際ロータリークラブ連合会と変更されたことを機会に、目的（綱領）が抜本的に改正されると共に、この年度から、国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領）とロータリークラブの目的（綱領）とに分離された。 ＜国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領） 1912年＞ 1. ロータリーの原則を標準化し、全てのロータリークラブが地元の事情に適應する範囲で、それを採択するように奨励すること 2. 世界の全ての商業中心地にロータリークラブを結成するように奨励推進すること 3. 既存するロータリークラブの活動と、在籍する会員および地域社会に対するクラブの価値を研究し、その結果得られた情報を全てのロータリークラブに明示すること 4. 広い友愛の精神と、各国各都市の事業および専門職種に従事するロータリアンと、加盟クラブの間の利益の調和を推進すること ＜ロータリークラブの目的（綱領） 1912年＞ 1. すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深め、各会員の職業を社会に対する奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること 2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めるよう奨励すること 3. 構想や事業運営方法の交換によって各会員の能率を増進すること

	<p>4. 奉仕の一つの機会として、また成功への道として、情理ある交友関係を推進すること</p> <p>5. 公共の福祉に対する各会員各自の関心を促し、かつ市の発展のために他の人々と協力すること</p>
1915 年	<p>標準クラブ定款および模範クラブ細則が採用されると共に、国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領）およびロータリークラブの目的（綱領）の一部が改正された。 （連合会 4 項目 ロータリークラブ 6 項目）</p> <p><国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領） 1915 年 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ロータリーの原則および活動を標準化し、普及すること 2. 世界の全ての商業中心地にロータリークラブを結成するように奨励、推進、監督すること 3. 既存するロータリークラブの活動と、在籍する会員および地域社会に対するクラブの価値を研究し、その結果得られた情報を全てのロータリークラブに明示すること 4. 偏見のない親睦の精神をロータリアン同士およびロータリークラブ間に推進すること <p><ロータリークラブの目的（綱領） 1915 年></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深め、各会員の職業を社会に対する奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること 2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めるよう奨励すること 3. 構想や事業運営方法の交換によって各会員の能率を増進すること 4. 奉仕の一つの機会として、また成功への道として、情理ある交友関係を推進すること 5. クラブの地域社会の公共の福祉に対するクラブ会員の関心を高め、かつ、市、社会、商工業の発展のために他の人々と協力すること 6. 同僚や社会一般のために奉仕したいという意欲を起こすよう会員を鼓舞すること
1918 年	<p>カンザス・シティ大会において、国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領）のみが、次のように改正された。</p> <p><国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領） 1918 年></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界中のすべての商業中心地にロータリークラブを結成するよう奨励し、推進し、監督すること 2. 地方的活動ではなく、全加盟ロータリークラブの仕事および活動を調整し、標準化し、かつ全般的に指導すること 3. 国際連合会自身の活動を通じ、また加盟ロータリークラブを通じて次の事項を鼓吹し育成すること <ol style="list-style-type: none"> a. 実業および専門職種における高い道徳的水準 b. すべての尊敬すべき事業の基礎としての奉仕 c. 地域社会の市民、商業、社会の繁栄および道徳の高揚に対する全ロータリアンの積極的関心 d. 成功を助け、かつ奉仕の一つの機会として広範な交友関係の増進 e. ロータリアンの能率と有用性を高める手段として、構想および

	<p>事業運営方法の相互交換</p> <p>f. すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深め、各ロータリアンの職業を、社会への奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること</p> <p>4. 専ら全ロータリアンのみの使用と利益のために、国際ロータリーの徽章、その他の記章を創案し、採択し、保存すること</p>
1919年	<p>ソルトレーク・シティ大会で、標準ロータリークラブ定款が改正され、ロータリークラブの目的（綱領）と国際ロータリークラブ連合会の目的（綱領）とが統合された。（4項目）</p>
1921年	<p>エジンバラ大会で、アメリカ本土を離れて始めてスコットランドで国際大会が開催されたことを記念して、目的（綱領）に国際奉仕に関する条文が加えられた。（5項目）</p> <p><ロータリーの目的（綱領） 1921年></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界中のすべての商業中心地にロータリークラブを結成するよう奨励し、推進し、監督すること 2. 地方的活動ではなく、全加盟ロータリークラブの仕事および活動を調整し、標準化し、かつ全般的に指導すること 3. 国際連合会自身の活動を通じ、また加盟ロータリークラブを通じて次の事項を鼓吹し育成すること <ol style="list-style-type: none"> a. 実業および専門職種における高い道徳的水準 b. すべての尊敬すべき事業の基礎としての奉仕 c. 地域地域社会の市民、商業、社会の繁栄および道徳の高揚に対する全ロータリアンの積極的関心 d. 成功を助け、かつ奉仕の一つの機会として広範な交友関係の増大 e. ロータリアンの能率と有用性を高める手段として、構想および事業運営方法の相互交換 f. すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深め、各ロータリアンの職業を、社会への奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること 4. ロータリーの奉仕の理想に結ばれた、あらゆる国の実業人と専門職業人の親交を通じて国際間の平和と親善の推進に助力すること 5. 専ら全ロータリアンのみの使用と利益のために、国際ロータリーの徽章、その他の記章を創案し、採択し、保存すること
1922年	<p>ロスアンゼルス大会において、国際ロータリークラブ連合会が、国際ロータリーと改称され、定款、細則が抜本的に改正されたことに伴い、ロータリーの目的（綱領）も大幅に改正された。（6項目）</p> <p><ロータリーの目的（綱領） 1922年></p> <p>ロータリーの目的（綱領）は次の事項を奨励かつ育成するにある</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. すべての尊ぶべき事業の基礎として奉仕の理想 2. 実業および専門職業の道徳的基準を高めること 3. ロータリアンすべてがその個人、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること 4. 奉仕の機会として知り合いを広めること 5. あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること

	<p>と、そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること</p> <p>6. ロータリーの奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、理解、親善と国際間の平和を増進すること</p>
1935 年	<p>1927 年のオステンド大会で、目標設定計画 Aims and Objects Plan に基づく四大奉仕の分割が決定したことから、1935 年、メキシコ・シティ大会において目的（綱領）が変更され、四大奉仕に対応した項目に整理された。前文と、四箇条の本文から成る（ロータリーの目的（綱領）となった。</p> <p><ロータリーの目的（綱領） 1935 年></p> <p>ロータリーの目的（綱領）は尊ぶべき事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 奉仕の機会として知り合いを広めること 2. 実業および専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識をふかめること。そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること 3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること 4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること
1951 年	<p>アトランティック・シティ大会において、国際ロータリーおよび標準ロータリークラブ定款が改正され、Objects of Rotary が Object of Rotary と単数に改められ、従来の四ヶ条の目的（綱領）が一ヶ条の本文と四つの付随項目に変更され、今日に至っている。</p> <p><ロータリーの目的（綱領） 1951 年 ></p> <p>ロータリーの目的（綱領）は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 奉仕の機会として知り合いを広めること 2. 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること 3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に、常に奉仕の理想を適用すること 4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門業務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること <p>現在の日本語訳（2012 年 日本訳のみ変更）</p> <p>ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：</p> <ol style="list-style-type: none"> 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること； 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

	<p>第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；</p> <p>第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。</p> <p>主な、訳語の変更点は、以下の通り。</p> <p>「綱領」を「目的」 「奉仕の理想」を「奉仕の理念」 「有益な事業」を「意義ある事業」 「世界的親交」を「世界的ネットワーク」に変更</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

目的（綱領）の翻訳については参考訳となっています。

出典：田中毅 PDG ロータリーの源流

ロータリーの目的（綱領）日本語訳の歴史

- 1921年 東京ロータリークラブが承認された当時の通信はすべて英文だった。
- その後、各地にロータリークラブが誕生。
- 1926年 大阪で開催された第1回全日本ロータリークラブ連合懇談会の議題に翻訳が取り上げられた。当時の邦文綱領はその後の公式訳文とは少し異なっていた。（例えば、奨励という言葉だったのが、後に鼓吹となった）
- 1928年 朝鮮、満州を合わせて第70地区として、RIより正式承認を受ける。
- 1934年 神戸ロータリークラブから、外国語のロータリー用語を廃止し、例会運営の外国模倣をやめて日本式に変え、ロータリーの綱領を解り易い日本語に変えようとする運動が起こる。
- 1936年 神戸で行われた地区大会で、大連ロータリークラブのロータリー宣言〔大連宣言〕を採択して、これを「ロータリーの綱領」に換えようという動議が提出され、大激論となる。
- 1939年 日本は朝鮮、台湾、満州を含む三地区（70・71・72）に分割され、その三地区の統轄機関として日満ロータリー連合会が結成された。
この連合会結成は、軍部の矛先をかわすために考えた最後の手段であり、米山梅吉より全権を委譲された芝染太郎【日本ロータリー史上最悪の受難期とされる1938～40（昭和13～15）年代に、日本のロータリークラブの「専任幹事」を務めた人。愛媛県の吉田出身で、東京RC会員。「英語の達人」であり、昭和初期には『Japan Times』の社長でもあった。1939年6月には、全権を委任され、一人アメリカのクリーブランド国際大会に出席。得意の英語を駆使して、日本ロータリーの生き残りを賭け「日満ロータリー連合会」を誕生させたことで知られる】が、密かに短刀を懐にしてチェス・ペリーとの交渉に臨んだ。
- 1940年 日本のロータリークラブはRIを脱退。

1949年「RIの定款・細則の厳守」、「RIへの義務の完全履行」、「各クラブはそれぞれRIに直結しているので、クラブが地区や国単位で固まって行動を起こさない」ことを誓約して、日本のロータリーは RI に復帰を許される。

1957年 手島知健RI理事【1952-54年度RI理事（日本人で3人目）。東京RC会員。あふれる国際性と洗練された物腰をもつ彼は、戦後、日本ロータリーが再出発したときの、大きなけん引役となった。かつて、RIの日本語翻訳決定権は彼に委譲されており、「四つのテスト（The Four-Way Test）」の翻訳をとりまとめ、定訳をつけたことでも知られている】に対して邦訳の決定権がRIより委譲されたが、同氏が病に倒れられてから宮脇 富氏に引き継がれ、現在の邦文はお二人の手になるものと言われている。
かつての京都・大阪（365）地区の地区大会懇談会で京都クラブが翻訳等について宮脇会員を前に幾多の指摘をしたという記録があるという。お二人のRI理事の手で翻訳された定款の原文は、1951年版の現行の条文である。

1970年7月

英文学者、弁護士、通信社、実業家の錚々たるロータリアンが集まり、会議を重ねて、日本語版手続要覧の邦文となる。

1985年頃

第4項のロータリアンを指し示す言葉の表現に変更が加えられている。
1970年、85年の邦文修正はどんな経過により、どんな手続きを経て行われたものかは不明。

2001年3月

当時の文献邦訳諮問委員は、佐藤千壽（東京東）、近藤正夫（東京城北）、津田進（川崎北）、土屋亮平（松戸）の各氏であったが、毎日発信される膨大な量の情報を翻訳する態勢は整っておらず、「RIのテーマ」や定款・細則の基本的な部分だけを担当していた。当時、その他の手続要覧、理事会や財団管理委員会議事録、国際協議会や各種会合の報告書等は、RI本部の日本語担当者（RI本部日本語課）が直接翻訳していた。

2012年1月

2010年ガバナー協議会・綱領等翻訳問題調査研究小委員会が設置され、約2年間の検討を経て、ロータリーの目的（綱領）の新しい日本語訳が日本のRI理事、ガバナー会、ガバナー協議会に提出され、その後、正式な日本語訳となった。ただし、1951年以来、英語の Object of Rotary（ロータリーの目的）自体は一度も変更されていない。

カリキュラムチーム編集

参考：田中毅 PDG ロータリーの源流
山片重房氏（東大阪みどり RC）

3 ロータリーの新しい流れ

2005年に誕生100年を迎え、国際ロータリーは新しい方針を出し、変化し始めています。

2007年にRIの戦略計画が発表され、現在では行動計画になっています。ロータリー財団は新しい補助金モデルを開始（2013年）し、補助金システムが変わりました。2016年規定審議会では、クラブ運営の大幅な柔軟性が導入されました。2019年規定審議会ではローターアクトの地位向上が決まり、2020年にはDEIが提唱されました。



セッションの目標

- RIの行動計画が何故重要なのか議論し理解する
- ロータリー財団の補助金システムの目指しているものを議論し理解する。
- DEIがどんなものなのか理解する。
- 今後のローターアクトクラブとロータリークラブの関係を議論する。

セッションの問い

- 1) 行動計画はロータリークラブに何をもたらしますか？
また、クラブはどのように対応するべきでしょうか。
- 2) ロータリー財団の補助金をクラブは、ロータリアンはどのように利用するのか議論しましょう。（パートI～パートIIIまでの財団の資料を参照してください。）
- 3) DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）はロータリーに何をもたらすのか
- 4) ローターアクトクラブの地位向上に、ロータリークラブがどう対応するか議論する。
 - ・2019年以降のローターアクトクラブの地位向上の進展を理解する。

セッション3 資料1

戦略計画委員会からのメッセージ

RI 理事、および戦略計画委員会元委員長 ステファニー A. アーチック

2017年に新たなロータリー戦略計画の立案に乗り出したとき、私たちが一番最初にしたこと、それは自分自身を見つめることでした。変わりゆく世界という現実を見据えながら、厳しい問いを自身に投げかけ、徹底的な自己評価を行ったのです。「ロータリーの現状はどうか」「ロータリーはどうあるべきか」「どうありたいのか」。こうした問いへの答えに対するギャップを明らかにした上で、私たちは、フォーカスグループ（座談会）やアンケート調査を通じて100万人以上の会員の意見をうかがいました。戦略計画に含まれている各目標は、ロータリーがビジョンを実現できるようにしたいと願うリーダー、会員、ロータリー参加者の方々からのフィードバックに基づいています。熱意と洞察をお寄せくださった皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げます。

ロータリーの新しい戦略計画は、これまでの計画とは異なっています。新しい計画には、力強い未来を協力して築くことへの行動を促す「行動計画」が含まれています。この計画を通じて、行動人が手を取り合い、価値観を同じくする者同士がつながり、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むために活動することで何が可能となるかを、私たちが認識することができます。

この計画は、ロータリーの伝統や価値観を払拭しようとするものではありません。その目的は、組織を強化することでロータリーの価値観を今後もずっと守ること、効果的な方策を用いることであらゆるレベルで組織を強化すること、ロータリーに参加するすべての人が有意義で価値ある経験ができるようにすること、そして、より大勢の人の暮らしと地域社会をより良くすることです。

私たちは、世界により大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかかわりを促し、適応力を高めて革新的になることを目指しています。今後数年間、これらの目標を達成するための数々のイニシアチブを模索、実施していきます。この行動計画はロータリーのビジョン実現に向けた国際ロータリーと組織全体の活動を主眼としていますが、その多くはクラブと地区のレベルにも当てはまります。

このため、各クラブでもこの行動計画と同じ優先事項を掲げていただくことが大切となります。クラブの計画を立てる際には、これらの優先事項とその概念を考慮してください。クラブを、そして会員の体験をできる限りベストなものに近づけるにはどうすればよいか考えてください。

クラブが地域社会に大きなインパクトをもたらす方法を考えたら、戦略計画立案ガイドをぜひご活用ください。クラブが独自の行動計画を立てる際、この資料を参考にすることで、ロータリー全体の優先事項と足並みをそろえ、共通目標を支えることができるでしょう。現会員や地域社会の人びとの参加を最も効果的に増やすため、各クラブの事情やニーズに合った行動計画を立ててください。私たちはロータリーの行動計画を実行するにあたり、大胆かつ野心的でありたいと考えています。クラブでも同じ姿勢で取り組んでいただけることを願っています。

この行動計画は皆さまからのお力を借りて形づくられたものです。この行動計画の下、力を合わせ、将来により良い世界を築くためにロータリーが大胆に取り組んでいくことができるでしょう。

ビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しております。

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change—across the globe, in our communities, and in ourselves. (2017年6月決定)

行動計画 (Action Plan)

この計画は、年度から年度へのビジョンの継続性をもたらし、共通目標の達成に向けた前進を可能とします。これが私たちの行動計画です。

私たちは「世界を変える行動人」として、強い目的意識を共有しています。

一世紀以上前、私たちは、人と人とのつながりを礎とする奉仕のリーダーシップという新しいモデルの先駆けとなりました。今日、このつながりは、世界に広がるネットワークとなって文化間、言語間、世代間、地域間に橋を渡し、より良い世界のビジョンを分かち合っています。

私たちは行動人として、このビジョンの実現には計画が必要であることを知っています。ロータリーの計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

行動計画の詳細

優先事項1：より大きなインパクトをもたらす (Increase our Impact)

行動人として、私たちは証拠に基づいて決定します。

奉仕プロジェクトから得られるデータをより効果的な方法で定義、測定、記録、分析するために必要な慣行、インフラ、能力を築いていきましょう。

優先事項2：参加者の基盤を広げる (Expand our reach)

行動人として、私たちはインクルージョンと積極的な参加を促し、世界に対する思いやりとビジョンを持っています。

新しい対象層の人たちとロータリーの価値観を共有し、仲間を募ってロータリーの力を体験してもらい新しい方法を生み出し、ロータリーがインクルージョンと参加を促しながら思いやりをもって世界のために大きな目標を掲げる団体であること実証していきましょう。

優先事項3：参加者の積極的なかかわりを促す (Enhance participant engagement)

行動人として、私たちは、時代や国を超えた関係を培います。

個人として、また地域社会の一員としてロータリーとともに何ができるのかを、あらゆる機会に伝えていきましょう。

優先事項4 適応力を高める (Increase our ability to adapt)

行動人として、私たちはロータリーを強化し、末永く続く変化をもたらす新しい視点や考え方を追求します。

地域社会によりよく奉仕するために、調査と革新を促し、リスクを恐れない文化を育てていきましょう。

セッション3 資料2

多様性、公平さ、インクルージョン（包摂）

Diversity, Equity, and Inclusion

ロータリーは、すべての人と尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注いでいます。ロータリーの会員は、ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。ロータリーは、開放的なコミュニケーションを育み、学びあい、支えあうことのできる環境を作り出すことに全力を傾けています。国によってロータリーでの体験は異なるかもしれませんが、不平等や偏見を生み出す力関係、歴史、構造は世界中に存在します。多様性、公平さ、インクルージョンは、世界的に重要な問題です。

国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、多様性、公平さ、インクルージョンの原則を採用し、ロータリーはあらゆる言動においてこれらの原則に従うための行動を起こしています。多様で、公平で、インクルーシブな組織となることで、ロータリーでの会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となり、ロータリーに参加したいと望む人たちにとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながります。

実践のためのガイドライン

国際ロータリー理事会は、ロータリーの文化にこれらの価値観をしっかりと組み入れるため、ロータリー内の DEI の状況評価および包括的計画の作成にあたる「多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）タスクフォース」を設置しました。タスクフォースは、ロータリーで初となる「多様性・公平さ・インクルージョンに関する調査」で世界 31,000 人の会員から集めた回答を基に、計画を作成しました。

ロータリーのコミットメントに関する声明

2021 年、国際ロータリー理事会は、DEI タスクフォースの協力の下、2019 年に採択した「多様性、公平さ、インクルージョンに関するロータリーのコミットメントの声明」をさらに強化しました。

DEI の行動規範

理事会は、ロータリーの中核的価値観を反映した新しい DEI の行動規範を承認しました。この行動規範は、誰にとっても協力的で、前向きで、健全な環境をロータリー会員が築き、維持するのを支える枠組みとなるものです。

クラブで多様性、公平さ、インクルージョンを推進する方法

多様性、公平さ、インクルージョンに詳しい地元の専門家を例会に招き、卓話をしてもらう。DEI の取り組みを支援する団体とつながり、プロジェクトやイベントを共同で行う。役割を任命する際には新しい人を起用し、こうした役職に含まれることの少ない人（若い人、会員歴の短い人、学友など）にリーダー職を勧める。

多様性、公平さ、インクルージョンについて対話をする。このような対話は気まずさや個人的な事柄を伴う場合があることを認めた上で、皆が学び、互いに耳を傾け、尊重する姿勢を身につける機会になるという共通の理解を築く。クラブに DEI 委員会を設置し、委員を選任する際には地域社会を反映させることを念頭に入れる。委員会は、地元市民とともに、学び、分かち合い、奉仕できる機会を特定する。

多様性、公平さ、インクルージョンに関する ロータリーのコミットメント声明

2021年6月理事会

「多様性」は、長年にわたるロータリーの中核的価値観であり、これからも私たちが互いに、そして地域社会と接する際の礎となるものです。ロータリーの組織文化がすべての側面で DEI を反映し、体現するようにするには、まだ多くのことを学び、実行しなければならないと私たちは理解しています。

RI 理事会は6月の会合にて、DEI タスクフォースからの指針に基づき、ロータリーが採択した2019年のDEI（多様性、公平さ、インクルージョン）声明の見直しと強化を行い、ロータリーが組織として多様性、公平さ、インクルージョン（包摂）の原則を尊重し、実践するためのさらなるステップを取りました。その結果として新たな「多様性・公平さ・インクルージョン（包摂）へのコミットメント」(a new Commitment to Diversity Equity and Inclusion)が下記の通り採択されました：

「ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。」

DEIの行動規範

ロータリーの中核的価値観：親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映したものであり、ロータリアンおよびローターアクター（世界ほぼすべての国におり、100以上の異なる言語を話す会員）であることに伴う責任を説明したものです。ロータリー会員はこの規範を守り、組織の成長とともにこの規範を発展させていくことに真摯に取り組んでいます。

中核的価値観と同じく、ロータリアンとローターアクターが、互いに、そしてロータリープログラム参加者、学友、プロジェクトのパートナー、地域社会の人びとと接する際に、この行動規範を身をもって示すことが求められます。

この行動規範は特に、すべてのクラブ、地区、ゾーン、国際ロータリーの会合、研修、行事をはじめ、会員がロータリーを代表するあらゆる場において、および My ROTARY とソーシャルメディアにおいて適用されます。

期待事項

すべてのクラブ会員、およびロータリープログラムの参加者、学友、プロジェクトのパートナー、ロータリー代表者を含む参加者は、この行動規範を遵守し、他者に配慮し、誰もが尊重され大切にされる協力的かつ前向きで健全な環境に寄与することが求められています。

他者を尊重する言葉を使う

- 初対面の人には自己紹介をし、希望する人称代名詞（he/him/his, she/her/hers, they/them/theirs）など、自分を指す際にどのような言葉が使われることを望むかを説明する。人の呼び方は、言いやすいニックネームではなく、本人が希望する名前で呼ぶ。
- 大勢のグループの前で話す際には、ジェンダーの前提を避けるために、中性的な言葉を使う。
- 相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- 言葉の使い方を意識し、地域にあわせて順応させる。ある言葉遣いが、文化によって容認される場合もあれば、容認されない場合もある。
- 文化によって翻訳不可能な俗語・隠語や慣用句の使用を避けたり、その意味を丁寧に説明したりすることで、ロータリーの多様な文化と言語を共有する
- わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。
- 相手の文化的背景、信仰、性的指向、ジェンダー、その他の特性に関心がある場合には、こうした情報を共有することに抵抗がないかどうかを尋ねる。そのトピックが会話の内容と関連がない場合、尋ねるのを控える。
- 世代間の対話を促す雰囲気は助長し、人を年齢で言い表すのを避ける。

サポートを示す

- 他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- 不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする形でその行為に対処する。
- ロータリー会員としてこの行動規範を守り、これに沿った文化をクラブで築き、問題が起きた場合はこれに対処する。

□ 温かく迎えるインクルーシブな環境を助長する

- バリアフリー対策ができていない会場、同時通訳、字幕、および／または筆記、そのほかのリソースを必要に応じて提供することによって、直接対面式またはオンラインで実施するいかなる会合、行事、活動にも、すべての会員と参加者が全面的に参加できるようにする。
- クラブまたはプログラムの慣習を見直し、特定のグループに対して侮辱的または排他的な活動は中止または変更する。
- 温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- 可能な限り、アイコンタクト、表情、口調、個人空間、ジェスチャー、(体の)姿勢といった非言語的なコミュニケーションに注意を払い、それがいかに人と接する能力や共感する能力に影響するかを意識する。
- さまざまな宗教における重要な日を認識し、それらの慣習に従っている人びとが参加できるように配慮した形で行事や活動の予定を組む。
- 人の食事制限や健康上の制限について知っておく
- クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。または、地域社会のパートナー団体と関わりあう。

多様性を重んじる

- 障害者に対するクラブでの認識、理解、受容を高める。
- 一つの文化や宗教と関連する奉仕プロジェクトや行事ばかりを実施するのではなく、多様な文化や宗教の行事を祝う。
- 多様性と関連する重要な日を認識し、尊重する。
- 特定の人びとを固定概念にあてはめたり、からかったりすることを避ける。
- 異なるジェンダーを認識し、尊重する。

行動規範に関する質問と懸念

行動規範に関する質問や懸念、または行動規範に反する行為があったと感じた場合、Eメールでご連絡ください (DEI.Inquiries@rotary.org)。

成人ハラスメントの問題

ロータリー章典に従い、ロータリーは現在、会合、行事、活動においてロータリアンまたはローターアクターがかかわるハラスメントの問題を報告するための以下の方針を定めています：

ロータリーは、いかなる形のハラスメントもない環境を維持することに力を注いでいる。ハラスメントとは大まかに定義すると、個人またはグループを、あらゆる特性 1 (年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認) に基づいて、言葉であれ身体的であれ、中傷、侮辱、または攻撃する言動を指す。成人がかかわるハラスメントのいかなる申し立てについても通知を受けた場合、またはハラスメントを受けたと感じた場合、以下のステップに従ってください：

1. 身の安全が脅かされていると感じる場合は、警察に相談する。
2. クラブ役員 (クラブ会長または幹事)、地区リーダー (地区ガバナーまたは地区ガバナーエレクト)、あるいはゾーンのリーダー (RI 理事) に通知する。
3. 問題について国際ロータリーのクラブ・地区支援室 (cds@rotary.org) に報告する。
4. 青少年がかかわるハラスメントまたは虐待の申し立てはすべて、72 時間以内に国際ロータリーに報告 (youthprotection@rotary.org) しなければならない。

(ロータリー章典「会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境」から引用)

セッション3 資料3

ローターアクトの方針に関する変化の経緯

- 2014年10月 理事会は、ローターアクターのRI人頭分担金を支払うことを規定する件を2016年規定審議会提案として決定。その後、2015年1月理事会で取下げ。
- 2015年1月 理事会は、ローターアクトクラブと言う若者のためのクラブを設立し、人頭分担金を課す件を2016年規定審議会提案として一時承認後、再度取下げ。
- 2016年4月 2016年規定審議会がローターアクターが正会員となることを認めることを採択。(2重会員が認められる)
- 2018年1月 理事会は **PETS** や**地区研修会議**にアクトクラブの代表者を派遣することを推奨し、その費用をロータリークラブや地区が支援すること奨励。
- 2018年4月 **2019年国際協議会**にアクト代表を公式に招待すること(60名)を決定。
- 2018年10月 理事会は、**地域リーダー (ARC、ARRFC)**に**現・元アクター任命**を推奨。さらに、**財団補助金をアクトクラブが申請**でき、またアクト会員の財団への寄付の新たな認証制度設けることをTRFに要請。
- 2019年4月 2019年規定審議会(修正動議)で、**ローターアクトクラブのRI加盟が承認**。
- 2019年4月 理事会は、ローターアクトクラブが新たにインターアクトクラブを提唱できること、大学を基盤としたローターアクトクラブと地域社会を基盤としたローターアクトクラブを独自の参加戦略を持った別のロータリープログラムとして分離すること、さらに**ローターアクトの年齢制限を削除することなどを検討**することを決定。
- 2019年4月 管理委員会は**ローターアクトの寄付認証**を承認。少なくとも5名のローターアクトクラブ会員が50米ドル以上を寄付する場合、財団から特別な感謝状がクラブに贈られる。
- 2019年7月 理事会は**ローターアクト地位向上タスクフォース**を設置し、下記を検討。
- ・ ローターアクトの人頭分担金の検討(金額と時期)
 - ・ 財団プログラムへのローターアクトの参加
 - ・ コミュニケーションと変更管理計画
 - ・ ロータリー章典41.040節(また関連する節)の見直し
 - ・ ローターアクトの状況変化でもたらされるその他すべてテーマ
- 2019年10月 ローターアクト定款の変更。2020年7月より有効(**年齢制限廃止**など)
- ・ **提唱クラブなしのローターアクトクラブ結成**を可能にする。
 - ・ ローターアクトクラブを提唱クラブとするローターアクトクラブの結成を可能にする。
 - ・ **ローターアクトの年齢上限を解除**する(ただし若い成人のプログラムとして維持する)。
 - ・ すべての地区委員会にローターアクターを加えることをロータリー地区に強く奨励する。
 - ・ ローターアクターの人頭分担金の額を設定するためを引き続き検討する。
 - ・ **2021年7月1日付**で新しいローターアクトクラブの加盟金50米ドルを廃止する(ローターアクト人頭分担金が設定された場合)。
 - ・ **RI委員会のアドバイザー**としてローターアクターを任命するよう今後のRI会長に奨励する。
 - ・ ロータリーとローターアクトのクラブ管理とコミュニケーションをより容易にする携帯アプリの開発を模索する。

- ・ ローターアクトに関して以下の目標を設定する：
 - 2022年までに、報告されたローターアクターの数を100パーセント増やす
 - 2022年までに、報告されたローターアクターのうち、ロータリークラブに入会する人の数を20%増やす
 - 2029年までに、報告されたローターアクターの数を100万人に増やす
- ・ ロータリー章典のアクトクラブの記述が大幅変更(2020年7月より有効)
 - スポンサー、会合や活動、研修などすべての項目が新たになった。

- 2020年1月 理事会は、**2022年7月1日よりアクターの人頭分担金徴収8ドル決定。(ただし、大学基盤のクラブは5ドル)。**
年齢上限撤廃については、更にそれを明確化し、クラブ細則で上限を定めることができ、義務化しないことに修正。
- 2020年6月 2022年7月1日付で、ローターアクトクラブが**グローバル補助金プロジェクトで援助国側提唱者または実施国側提唱者になること**(ただし、ローターアクトクラブがグローバル補助金で以前にロータリークラブと一緒に活動したことがあることを条件とする)を許可することに同意。
- 2020年11月 標準ローターアクトクラブ定款を改正し、**ローターアクトクラブに名誉会員をおくことができ**(会員が2つ以上のローターアクトクラブの名誉会員に選ばれることを認める)また、**ローターアクトクラブが衛星クラブを設置できる**事が決定。さらに、新ローターアクトクラブ設立のための12人という創立会員の推奨人数を奨励することが決定された。
2022年規定審議会に、**ローターアクターがRI委員会委員を務めることができる件とRI審議会でローターアクターが代表議員となることを規定する件**を理事会提案とする。
- 2021年4月 現・元ローターアクターに対し、既存ロータリークラブへの入会を促進するか、または、将来の新クラブ設立を支援する戦略を立てるよう、地区ローターアクト委員長ならびに地区会員増強委員長に奨励しました。
- 2021年11月 **アクターのロータリーへの完全一体化を進める**ことが理事会で決定。
章典に、**ロータリークラブとローターアクトクラブの両方が、新しいロータリークラブを提唱することができる**が追加される。
- 2022年1月 Jones 会長エレクトは、ローターアクトの力をさらに高め、パートナーとしての関係を強固なものにすることを訴え、一例として、**会長代理の任務の最大10%を「資格を有する」ローターアクターに提供すること**、さらに、RIの「環境の保全計画グループ」の委員会にローターアクトのリーダーを4人選出し、ロータリアンのリーダー4人と共に重点分野の立ち上げを進めることを発表。
- 2022年2月 RI 審議会でローターアクターが代表議員となることを規定する件を撤回。
- 2022年4月 規定審議会において、ローターアクターをRI委員会委員に指名してもよい件(RI細則)及び、ローターアクターがロータリークラブの例会に出席できる件(RI細則)が採択された。さらに、ローターアクトの年齢制限を設ける制定案(40歳以下または30歳以下)はすべて否決された。
また、理事会で、ローターアクト会員増強運営計画に関する新しい項目が追加されたことにより、ローターアクト人頭分担金に関するロータリー章典が改正された。

- 2022年6月 オブザーバーとして理事会に出席するローターアクト代表を任命するよう会長に要請。
- 2022年6月 2022年ロータリー国際大会（米国テキサス州ヒューストン）では、マリア・バレンティナ・マルティネス・ベロさん（Ing. Boris Water ローターアクトクラブ、ベネズエラ）、イグナシオ・ゴンザレスさん（Oriente de Talca ローターアクトクラブ、チリ）がローターアクトとして初めて、**超我の奉仕賞を受賞した。**
ローターアクト初のロータリー公共イメージ・コーディネーター（RPIC）（2022-25年度）としてデンマークのフィリップ・フリント Philip Flindt さんが選ばれた。
- 2022年7月 ロータリー財団に寄付を行ったローターアクトクラブに贈られる寄付達成証の条件が、これまでよりも柔軟になった。
2022年7月より、会員が合計で100ドルをロータリー財団に寄付したローターアクトクラブに、寄付達成証が贈られる。寄付を行う会員の最低人数の要件はなくなり、会員は、グループとしてまたは個人として寄付を行うことができる。この変更は、ローターアクトの基盤拡大へのロータリーのコミットメントの一環として加えられたもの。
さらに、2022年7月より、ローターアクトクラブは提唱者として、グローバル補助金を申請でき、地元または海外での奉仕活動を支援できる。
- 2022年8月 2021-22年度寄付達成証を270のローターアクトクラブが受理した。
この達成証は、一年度に少なくとも5名の会員がロータリー財団に合わせて50ドル以上を寄付したローターアクトクラブに贈られるもの。
2021-22年度のこれらのクラブからのロータリー財団への寄付額は、合計で79,000米ドル以上となった。2019-20年度以来、ローターアクトからの財団への寄付は454,000ドルを上回った。
- 2023年10月 2022-23年度、少なくとも合計100ドルを寄付したローターアクトクラブに対する達成証が、640以上のローターアクトクラブに贈られた。
これらのクラブは昨年合計で242,000ドル以上を寄付。これは、2021-22年度の約87,000ドルのほぼ3倍に相当。
地区ローターアクト代表をガバナー補佐の地位と同等にすることにより、地区ローターアクト代表の役割を強化することの影響を検討し、2024年10月理事会会合で報告するよう、ラーニング委員会に要請する。

ローターアクトに関する 2022 年規定審議会の結果

- **制定案 22-16 (台湾提案)**
ローターアクターの年齢制限を設ける件
18～40 歳のローターアクターにより構成されるものとする。

審議結果：否決 (183 : 292)
- **制定案 22-17 (インド提案)**
ローターアクターの年齢制限を設ける件
30 歳以下の若い成人により構成されるものとする。

審議結果：否決 (212 : 268)
- **制定案 22-18 (理事会提案)**
ローターアクターが RI 委員会の委員となれることを明文化する件
ローターアクターがあらゆる RI 委員会に応募し、委員を務めることができるようにする。

審議結果：採択 (393 : 79)
- **制定案 22-63 (理事会提案)**
ローターアクトクラブが立法案と決議案を提案し、ローターアクターが投票権を有する審議会議員となることを許可する件

ローターアクトクラブが規定審議会に立法案を提出することを認めること、および、審議会においてローターアクターたちを代表して、34 人のローターアクターが投票権をもつローターアクト議員となれる。

撤回 (2022 年 2 月理事会で撤回)
- **制定案 22-84 (ドイツ提案)**
ローターアクターがロータリークラブの例会に出席することを許可する件
ローターアクターもロータリークラブやロータリークラブの衛星クラブの例会に出席できる。

審議結果：採択 (426:45)

セッション3 資料4

2022年規定審議会理事会提案制定案

制定案 22-71

クラブの管理の試験的プロジェクトについて規定する件

提案者：

RI 理事会

Merimbula ロータリークラブ（オーストラリア、第 9705 地区）

国際ロータリー細則を次のように改正する。

第 14 条 管理上の集団と管理上の地域単位

14.020. 監督

地理的に隣接する 2 つ以上の地区から成る区域内のクラブについて、ガバナーによる監督のほかに、他の監督方法を理事会が追加設定することができる。理事会が監督方法を設定する場合、理事会が手続規則を定めるものとし、この手続規則は、関係地区内クラブと国際夫会の承認を得なければならない。

14.030. 試験プロジェクトを通じた監督

理事会は、影響を受けるすべての地区から承認を得ることを条件に、クラブを監督する方法として試験プロジェクトを創設できる。RIBI 内および/またはオーストラリアまたはニュージーランドを含むゾーン内にあるクラブのみを、試験プロジェクトに含むことができる。理事会は、下記のセクションに沿っていないこのような地区を対象としたガバナンスの規則と手続きを決定できる：

- (a) 7.020. および 7.030. (立法案の提案と承認)；
- (b) 8.030. および 8.040. (決議案の提案と承認)；
- (c) 15.020. - 15.060. (地区会合と地区資金)；および
- (d) 16.030. (ガバナーの任務)

(続く条項は、該当する番号に振り直す)

(本文終わり)

趣旨および効果

本制定案の目的は、理事会がロータリー世界の二つの地域における試験的取り組みを支援できるようにすることである。この取り組みは、以下の二つの地域の既存のクラブ、ロータリアン、ローターアクターを支援する革新的方法に焦点を当てる：

- 1) グレートブリテンおよびアイルランド
- 2) 現在ロータリーの第 8 ゾーンとして特定されているゾーンの一部である、ニュージーランド、オーストラリア、特定の太平洋諸国

ロータリー世界のほかの地域は、この試験的プログラムの一部とはならない。また、この

試験的取り組みはいかなる形でもクラブ構成に影響を与えるものではなく、より地域的な支援と地域的なガバナンス構成を導入するための新たな方法を試すこととなる。

いずれの地域も、試験的取り組みへの参加に関心を示している。これら二つの地域では、過去 10 年間に会員数が大幅に減少した。クラブの平均人数も大きく減少しているほか、会員の平均年齢は上昇し、これらの地域の地区の全体的な健全性が脅かされている。何も行動を起こさないことの代償は大きくなる。

本制定案は、社会が変化するペースと、テクノロジーが私たちの生活に与える影響の増加に適応していくための取り組みである。現在、世界的な組織は、より機敏に動き、リーダー層と草の根とがより直接的なつながりを持てるよう、そのほとんどが組織構造の階層を大きく減らしている。しかし、ロータリーの構造は、長年の間にボランティアの階層と役割が増えた結果、序列構造に膨らんでしまっている。

本制定案では、効率性を高め、会員へ提供するプログラム、提供物、ツールを地域化し、会員のリーダー職をより管理しやすく、実行しやすいものとするための新たな方法を模索する新たなモデルを試すこととなる。

財務上の影響

本制定案は RI に財務上の影響を及ぼす可能性があるが、現時点でその額を特定することはできない。かかる費用は、理事会がこの試験的プロジェクトをどのような形に構築するかにより左右されると思われる。オーストラリアとニュージーランドを含むゾーンにおける試験的取り組みの年間の初期費用は、約 110,000 米ドルである。経費には、より地域化した支援構造、テクノロジーの向上、一時的な職員の支援が含まれる。しかしながら、直接対面式研修の削減や新構造を支援する職員にかかる費用の削減で、一部相殺される可能性がある。

(審議結果) 採択 324 : 150

4 クラブを元気にしよう

クラブ活性化の必要性と手順

国際ロータリーという世界的ネットワーク組織の基本単位はそれぞれのクラブです。クラブ活性化はクラブが永続するための最重要課題です。居心地がよいだけのクラブから元気で活気に満ちたクラブに飛躍するには何が必要か考えましょう。



セッションの目標

- あなたのクラブの現状（強み・弱み）を真摯に分析する。
- クラブのビジョン・戦略計画づくりが元気なクラブにするための突破口になることを理解する。
- 元気で活気に満ちたクラブへの道筋を考える。

セッションの問い

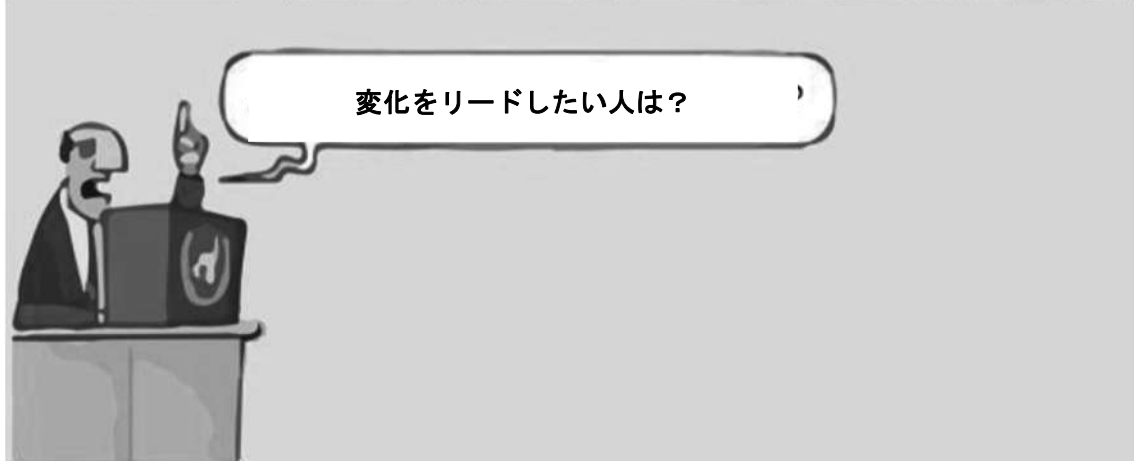
- 1) なぜクラブ活性化（元気なクラブづくり）が必要なのでしょう？
「今居心地がよいクラブなのだから何もする必要がない」という考えの会員にどう応えますか？
- 2) あなたのクラブの強み（特長）は？ 逆に弱みは？（クラブの現状分析と把握）
クラブの強み・弱みを測定・分析したことがありますか？
会員がクラブの現状をどのように考えているか、生の声（本音）を聞いたことがありますか？
→ 「会員満足度調査」（パートⅠセッション5資料2：P31～41）、
「クラブの健康チェック」（パートⅡセッション6資料2：P101～112）、
- 3) クラブのビジョン（10年以上先の地域社会におけるクラブのありたい姿）をみんなで話し合ったことがありますか？ それはなぜ必要なのでしょう？
あなたのクラブの理想のクラブ像、理想の会員像の要素を列挙してみてください。
- 4) クラブの現状と「理想像」のギャップを埋めてゆくには何が必要か考えましょう。
あなたのクラブを元気で活気のあるクラブにしてゆく重要優先課題は何ですか？
あなたはどのような具体的ステップでクラブ活性化を進めたいですか？
ビジョンを実現するための戦略計画（3～5年の行動計画）をつくってみましょう。
→ 「元気なクラブとなるためのステップ」（パートⅡセッション3資料4：P85）
「戦略計画立案ガイド」（パートⅡセッション1資料3～5 P58～63）

参考資料：「ビジョンレポート2020 本編・資料編」

（日本のロータリー100周年 ビジョン策定委員会 編 2021年6月）

セッション4 資料

変化したい人は誰ですか？



R L I 研修セミナーテキスト (2023 - 2025 年度版)

翻訳・監修：R L I 日本支部

発行者：R L I 日本支部委員長 北 清治

発行：2024 年 7 月 1 日

事務局：第 2750 地区ガバナー事務所

電話：03-3436-2750

U R L：https://rli-japan.org

Email：rlijapan.mainoffice@gmail.com